

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：システム推進課 担当者名：和田・藪崎・田中・藤岡・高橋・片岡

(単位:千円)

	7年度 A	6年度 B	増△減(A-B)
予算額	981,781	1,379,424	△ 397,643

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
1 パスモ2025年度施策	178,029

(1 事業目的・内容)

【事業目的】

ICカード「PASMO」の機能改善等を他事業者と統一するためのシステム改修

【内容】

パスモではお客様の利便性向上として、PASMOの利用範囲拡大やサービス向上に取り組んでおり、2025年度(年度末)は他社線の駅名変更・運賃改定等の対応を予定しております。これに伴って本市で設置しているパスモ対応機器のソフトウェア改造作業を行います。

【作業完了予定】

令和7年度末

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

 有
 無

(5 補助対象の有無)

 有
 無

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：システム推進課 担当者名：和田・藪崎・田中・藤岡・高橋・片岡

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
6 自動駅務機器用AVR更新作業委託	
(1) 事業目的・内容 【事業目的】 各駅には、自動駅務機器(券売機・チャージ機・精算機・改札機・窓口処理機・定期券発行機)が設置されており、乗車券類の販売、運賃の收受、乗り越し精算、及びホームへの入出場処理を行っています。券売機室に設置されているAVR(自動電圧調整器)は、電力を駅務機器に安定して供給するために、必要不可欠なものです。このAVRは、平成3年に設置されてから33年が経過(期待寿命15年)しているため、今後の安定動作が全く保証できません。既にAVRを構成する部品は製造販売されておらず、定期的なメンテナンスや修理が不可能なことから、今回更新をします。 【内容】 対象:新羽駅、センター南駅、センター北駅 AVRの更新 システム停電対応	
(2) 前年度から変更・見直した点	
(3) 根拠法令・規程、現場の意見等	
(4) 除却資産の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	(5) 補助対象の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
7 多目的デジタル案内板の検証環境構築	
(1) 事業目的・内容 【事業目的】 多目的デジタル案内板は、ブルーラインとグリーンラインの全駅に設置されており、列車の運行情報(他社線含む)や交通局からのお知らせ等をお客様に提供しています。現在、多目的デジタル案内板への情報入力は総合司令所で実施していますが、検証環境が無いため、実際に駅のディスプレイに表示された内容を確認して入力内容の確認を行っています。このため、検証環境を導入することで、事前にディスプレイに表示される内容を確認できるようになり、お客様への正確な情報提供を図ります。 【内容】 検証環境サーバ設置 ネットワーク設定変更	
(2) 前年度から変更・見直した点	
(3) 根拠法令・規程、現場の意見等 現場からの要望	
(4) 除却資産の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	(5) 補助対象の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：システム推進課 担当者名：和田・藪崎・田中・藤岡・高橋・片岡

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
10 経路時刻表検索システム等改修業務委託	
<p>(1) 事業目的・内容</p> <p>【事業目的】 経路検索、時刻表検索、バス接近情報、列車走行位置等の情報提供の改善を行います。 バス・地下鉄の運行情報の発信について改善を行います。 運行情報を発信する業務について、現場オペレーションを改善します。</p> <p>【内容】 経路・時刻表検索やバス接近情報、列車走行位置等の情報を提供している経路時刻表検索システムと、バスや地下鉄の運行情報を発信している緊急情報システムの改修を行います。</p> <p>(2) 前年度から変更・見直した点</p> <p>(3) 根拠法令・規程、現場の意見等</p> <p>(4) 除却資産の有無</p> <p><input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p> <p>(5) 補助対象の有無</p> <p><input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>	

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
11 事務改善システム仕様変更業務委託	
<p>(1) 事業目的・内容</p> <p>【事業目的】 事務の効率化</p> <p>【内容】 人事給与・旅費管理・財務会計のシステムにおいて、制度改正等の改修を実施します。</p> <p>(2) 前年度から変更・見直した点</p> <p>(3) 根拠法令・規程、現場の意見等</p> <p>(4) 除却資産の有無</p> <p><input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p> <p>(5) 補助対象の有無</p> <p><input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>	

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：システム推進課 担当者名：和田・藪崎・田中・藤岡・高橋・片岡

(単位：千円)

【事業内容】	7年度予算額
12 市庁舎ネットワーク機器更新	
<p>(1 事業目的・内容)</p> <p>【事業目的】 交通局内におけるYCANのネットワークの状態を正常に維持します。</p> <p>【内容】 新羽車両基地～市庁舎間で通信を行うために市庁舎及び新羽車両基地に設置してあるファイヤーウォール、L2、L3スイッチ等の機器更新を行います。</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p>(4 除却資産の有無) (5 補助対象の有無)</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 無 </p>	

(単位：千円)

【事業内容】	7年度予算額
13 仮想サーバ更新	
<p>(1 事業目的・内容)</p> <p>【事業目的】 仮想サーバはYCAN端末を運用するために必要なアプリケーション(SKYSEA、Windowsアップデートなど)を複数実装しています。導入してから5年が経過しており、サーバの保守可能期限が切れるため更新をします。</p> <p>【内容】 ・サーバの更新 ・アプリケーションの移行</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p>(4 除却資産の有無) (5 補助対象の有無)</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 無 </p>	

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：資産活用課 担当者名：大場、岩島、石黒

(単位:千円)

	7年度 A	6年度 B	増△減(A-B)
予算額		3,465	

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
1 広告管理システム改修	
(1 事業目的・内容) 広告管理システムの機能を改善・追加することで、事務改善を図ります。	
(2 前年度から変更・見直した点) 最低賃金及び物価等の上昇を踏まえ、増額しました。	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無) <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	(5 補助対象の有無) <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：営業課(高速) 担当者名：井ノ上

(単位:千円)

	7年度 A	6年度 B	増△減(A-B)
予算額	5,782	9,250	△ 3,468

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
1 授乳スペースの設置	5,782

(1 事業目的・内容)

令和6年7月から、仲町台駅構内に個室型の授乳スペースを設置し、小さなお子さまを連れられたお客様が授乳やおむつ替えなどを行う際に利用できる設備として運用しています。

令和6年度は、利用実績等の効果検証を行い、事業の必要性を判断するための実証実験期間として位置付けていたため、当該設備を取扱事業者からレンタルしていました。

運用開始以降、一定の利用実績があることを鑑み、本事業に対するニーズがあると判断したため、当該設備を購入し常設します。

また、現在、市営地下鉄全40駅のうち、当該設備を含む授乳スペースが設置されているのが4駅という状況を踏まえ、小さなお子さまを連れられたお客様にも安心してご利用いただくための取組として、一部の駅に授乳スペースを新たに設置します。



個室型の授乳スペース(仲町台駅)

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：運転課 担当者名：川畑

(単位:千円)

	7年度 A	6年度 B	増△減(A-B)
予算額	10,121	49,500△	39,379

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
1 個人型起床装置の増備	
<p>(1 事業目的・内容) 起床装置とは、設定した時間になると寝ている者の半身を強制的に起こす装置であり、各乗務管理所及び信号扱所、仮泊駅等の乗務員が仮眠をとる施設に設置し乗務員が寝坊することを防止しています。 設置している起床装置のうち、乗務管理所・信号扱所に設置している集中型起床装置は機器の更新が必要な状態ですが、更新費用が高額であるため、集中型起床装置は更新を行いません。 集中型起床装置の故障や仮眠室の増床の際に個人型の起床装置を使用するため、個人型の起床装置の増備を行います。</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p>(4 除却資産の有無) (5 補助対象の有無)</p> <p><input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>	

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
2 IP告知送信機及びIP告知端末の更新	
<p>(1 事業目的・内容) 総合司令所から各駅への情報伝達手段として、IP告知送信機及びIP告知端末を使用しています。 各種端末に経年劣化による不具合が生じているため、端末を更新します。</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p>(4 除却資産の有無) (5 補助対象の有無)</p> <p><input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>	

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：駅務管理所 担当者名：磯貝 鈴木 竹内

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
3 電気式給湯器 更新	
(1 事業目的・内容)	
<p>地下鉄の地上駅以外は、電気式給湯器により温水の使用をしています。 経年劣化により電気式給湯器が故障した際、代替品の購入を経費から行っていましたが、現在、電気式給湯器の価格が1台で10万円以上となり、経費で予算執行ができないため、建築改良費に購入費を計上します。</p>	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)
<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額					
4 インターホンの設置						
(1 事業目的・内容)						
<p>案内所業務軽減を目的として、駅事務室から遠隔対応できるよう、R6年度中にネットワークITV設置が完了する駅に、カメラ付きインターホンを設置します。</p> <p>設置予定駅 新横浜、三ツ沢上町、三ツ沢下町、横浜、高島町、阪東橋、上大岡、踊場、湘南台 計9駅</p>						
(2 前年度から変更・見直した点)						
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)						
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)					
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無					
(6 年次表)						
	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：駅務管理所 担当者名：磯貝 鈴木 竹内

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
5 大型モニターの購入	
(1 事業目的・内容)	
<p>実機研修室での授業の際にはプロジェクターを使用して資料を投影していますが、教科書を読むための明るさを確保すると画面が見えません。 つきましては、研修環境の改善を目的とし、大型モニターを購入します。</p>	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額					
6 バックヤード防犯カメラの設置						
(1 事業目的・内容)						
<p>駅事務室や券売機室、女性職員施設などのバックヤードにおける犯罪抑止及びプライバシーの保護のため、防犯カメラを設置します。 7年度は締切業務担当5駅に設置、8年度は残りの主要駅ほか1駅、以降中間駅5駅を目安に順次設置していきます。</p> <p>R7年度設置予定駅・・・新横浜、上大岡、戸塚、センター北 R8年度設置予定駅・・・あざみ野、関内、湘南台、日吉、中間駅 R9年度設置予定駅・・・中間駅5駅 R10年度設置予定駅・・・中間駅5駅 R11年度設置予定駅・・・中間駅5駅 R12年度設置予定駅・・・中間駅5駅 R13年度設置予定駅・・・中間駅5駅 R14年度設置予定駅・・・中間駅5駅</p>						
(2 前年度から変更・見直した点)						
<p>業者による現地調査を行った上での見積もりを参考に積算。 未調査の駅に関しては、設置台数を精査し、設置作業費は見込み額で計上。</p>						
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)						
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)					
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無					
(6 年次表)						
	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事 業 費	7,560					
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：上永谷乗務管理所 担当者名：小山 英昭

(単位:千円)

	7年度 A	6年度 B	増△減(A-B)
予算額		0	

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
1 上永谷車両基地 停止位置標識増設	
<p>(1 事業目的・内容) 上永谷車両基地検車庫線、車両停止標識手前での停車(車停交代)については、停止位置目標がなく、以前より経験年数の少ない運転士を中心に「停止操作に不安を感じる」といった声がヒヤリハット情報等によりあがっております。 運転士が停止位置を誤ることにより車両停止標識を冒進した場合、当該運転士は当局からの措置に留まらず、免許停止等の重い行政処分が科せられることになり、運転士にとっては切実なエラーリスクとなっており、早急な対策が必要です。</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点) 停止位置標識増設に伴い予算額を増加</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等) 令和6年2月に当該事例がヒヤリハットであがったことを契機に、5月に関係各所と現場確認を実施し、7月にはブルーラインのすべての運転士に対してアンケート調査を実施し、ブルーライン全体で59%の運転士が第一種停止位置目標の設置を希望しており、これは対策として最も有効と思われます。</p> <p>(4 除却資産の有無) (5 補助対象の有無)</p> <p><input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>	

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：佐田東・成嶋

(単位:千円)

	7年度 A	6年度 B	増△減(A-B)
予算額	1,311,591	4,051,463	△ 2,739,872

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
1 4000形2次車製造	

(1 事業目的・内容)

ブルーライン既存車両3000形シリーズは、車体や台車の製造年数が経過し寿命を迎えつつあります。

S形の台車は2000形からの流用品で約44年となり、今後、更新不可能な機器や部品の発生に伴い故障対応も困難になることが想定されるため、新型車両への置き換えを実施することとします。

発注形態は、WTO政府調達協定に基づく一般競争入札であり、広い範囲の製造請負者が入札可能となります。海外メーカーなど新規者の参入機会が広がると共に、近年の技術革新に伴う様々な新技術も検討し導入方法や範囲を十分精査したうえで、将来的な視点を持った車両仕様とします。

全体工程は、令和6年度後期の契約目標とし令和12年までの予定です。なお納入数量については、既存車両の廃車工程や受注者の生産能力等を考慮しながら段階的に編成数を決めていきます。

工程

年度		R5	R6	R7・8	R9	R10	R11	R12	合計
新型車両	準備	検討	検討 発注	設計・製造					
	納入予定				1編成	3編成	3編成	1編成	8編成
既存車両	廃車予定				

(2 前年度から変更・見直した点)

新規

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・ブルーライン車両改良投資計画(平成20年度～平成40年度)
- ・既存車両の寿命に伴う車両安全確保のため

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：佐田東・成嶋

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
3 3000R形機器更新	0

(1 事業目的・内容)

3000R形は2003年に製造され、現在14編成(84両)が運用しています。当該車両は2023年で製造から20年が経過したため、2022年までに電機品の一部機器更新を実施しましたが、2035年頃まで車両を使用する計画となっています。電子部品の劣化や使用部品の製造終了が想定されるため、電機品の機器更新を実施します。

(1)更新計画

- ・令和6年度 契約・設計・製造
- ・令和7年度 設計・製造
- ・令和8年度 4編成施工
- ・令和9年度 6編成施工
- ・令和10年度 2編成施工
- ・令和11年度 2編成施工

(2)更新対象装置

- ・VVVF装置 ・ATC/O装置 ・列車無線装置 ・放送装置 ・一般電気装置
- ・ブレーキ装置 ・空調装置 ・補助電源装置 ・表示装置

(2 前年度から変更・見直した点)

- ・継続事業(債務負担設定済)
- ・変更なし

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・車両安全確保のため
- ・車両老朽化や電機品の製造終了に対応するため

(4 除却資産の有無)

- 有
- 無

(5 補助対象の有無)

- 有
- 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：佐田東・成嶋

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
4 ブルーライン車内防犯カメラ設置	[Redacted]

(1 事業目的・内容)

列車内でお客様の安全を脅かす事件が相次いで発生しており、車内安全強化のため、2022年より運用を開始したブルーライン4000形車両に車内防犯カメラの導入をおこないました。地下鉄車内の更なる防犯対策強化のため、既存車両への設置・拡大について、試行導入を行い検討・実施します。

・更新計画

	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
3000N (6編成)	試行導入の実施	既存車への設置 → → → → →		
3000R (14編成)				
3000S (6編成)				
3000V (1編成)				
4000 (8編成)	全車導入完了	更新の検討	→ → → → →	→ → → → →

- ①3000A形は対象外とします。
- ②防犯カメラタイプはリアルタイムカメラを採用します。



(2 前年度から変更・見直した点)

- ・継続事業(単年度)
- ・対象編成

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

令和3年8月の小田急線、10月の京王線車内で発生した傷害事件を受け、各種非常用設備の表示の共通化、車内における防犯関係設備の充実にに向けた議論が行われ、その中で他人に危害を及ぼすおそれのある行為などを抑止する効果を高めるために車内防犯カメラの設置を義務付ける規程の改正が検討され、令和5年10月に規程の一部が改正されます。

- ①適用範囲 新幹線の車両又は輸送密度10万人以上の線区を走行する車両
⇒横浜市交通局では、高速鉄道1・3号線(ブルーライン)該当
- ②適用車両 省令の施工の日前に製造に係る契約が結ばれた車両については、車内防犯カメラの設置義務付けの適用対象外とする。
⇒横浜市交通局では、今後契約するブルーライン車両が設置義務に該当

(4 除却資産の有無)

- 有
- 無

(5 補助対象の有無)

- 有
- 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事 業 費	34,100	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：佐田東・成嶋

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
5 3000形ATO制御装置伝送カード購入	0

(1 事業目的・内容)

ATO制御装置は製造から20年が経過し、2018年に機器の一部更新をおこないましたが、更新対象外である伝送カード(TRC基板)を起因とする不具合が多く発生しています。【R3年度 1件、R4年度 1件、R5年度 2件、R6年度 4件※R6年7月現在】
対応策として2021年にTRC基板およびCPU基板(TRC対応基板)を予備として7編成分14セット購入し、故障処置をおこなっていますが、令和6年度は7月の時点で4件の故障が発生しており、予備残数8セットとなりました。今後も故障件数の増加が想定されるため、TRC基板およびCPU基板の購入をおこないます。購入枚数は今年度故障実績(1ヶ月に1セット)を参考に12セット購入します。

(2 前年度から変更・見直した点)

- ・新規事業(単年度)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・安全性向上
- ・車両性能維持

(4 除却資産の有無)

- 有
- 無

(5 補助対象の有無)

- 有
- 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：佐田東・成嶋

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
6 10000形2次車機器更新	0

(1 事業目的・内容)

10000形2次車は平成25年度(2013)の製造からの期間経過により各種搭載機器の劣化が進んでいます。
近年電子部品の劣化による故障が頻発しているため、列車の安全運行のためには搭載機器の更新が必要です。

更新計画

- ・令和6年度(2024) 契約
- ・令和7年度(2025) 製造
- ・令和8年度(2026) 第17編成施工
- ・令和9年度(2027) 第16編成施工

更新対象装置

- ・VVVF(主回路制御装置)
- ・SIV(補助電源装置)
- ・ATC(自動列車制御装置)
- ・デジタルサイネージ装置
- ・ATO(自動列車運転装置)
- ・ブレーキ電気品
- ・YTM(列車制御管理装置)
- ・車内案内表示装置
- ・車外案内表示装置
- ・ITV(対列車画像伝送装置)

(2 前年度から変更・見直した点)

- ・継続事業(債務負担設定済)
- ・変更なし

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

各種搭載機器の劣化が進んでいます。近年電子部品の劣化による故障が頻発しているため更新が必要。

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：佐田東・成嶋

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
7 10000形車両列車無線装置更新	0

(1 事業目的・内容)

グリーンラインでは、発報機能の2重化として携帯防護無線機を携行して運行しています。この携帯防護無線機が、現行無線方式では製造できなくなったこと(修理対応不可)、及び地上装置の老朽化が進んでいることから新方式への機器更新を実施します。

・更新機器

①携帯防護無線機



②移動局装置

- ・制御ユニットCPU基板(循環改修)
- ・無線ユニット(新製)



・更新計画

	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027
協議・設計	12ヶ月			
機器製作	手配～出荷:20ヶ月			
試運転対応			初編成2ヶ月/量産展開7ヶ月(2編成/月更新)	
新システム稼働				

(2 前年度から変更・見直した点)

- ・継続事業(債務負担設定済)
- ・変更なし

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・車両安全確保のため
- ・車両老朽化や電機品の製造終了に対応するため

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：佐困東・成嶋

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
8 10000形車両フランジ塗油器改良	0

(1 事業目的・内容)

塗油装置は車両の台車に取り付けられている装置で、車輪のフランジ部へスプレーにより油を吹き付け、車輪のフランジ摩耗やレールの摩耗抑制を行う装置です。
以前より塗油装置ノズル部やホースとの結合部より漏油が多発しております。漏油により車輪に適切に塗油ができないと、想定以上のフランジの摩耗や、走行中に車輪の軋み音等が発生する恐れがあるため、改良を行います。

<搭載車両>

第1, 2, 7, 14編成の計4編成

(2 前年度から変更・見直した点)

・新規事業(複数年)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

・車両性能維持のため

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：佐田東・成嶋

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
9 10000形車外表示装置予備品購入	0

(1 事業目的・内容)

10000形車両の車外表示装置の当該製品の製造終了に伴い、今後の故障対応等の保守に必要な予備品を購入します。

対象装置：10000形車両用 正面行先表示装置、運行番号表示装置、側面行先表示装置

(2 前年度から変更・見直した点)

- ・継続事業(債務負担設定済)
- ・工程変更(R7納入→R8納入)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・車両安全確保のため
- ・車両老朽化や電機品の製造終了に対応するため

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：佐困東・成嶋

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
10 ブルーライン車両管理・運用管理システム更新	53,856

(1 事業目的・内容)

車両管理システムはサーバを利用したシステム構成により、サーバ上にデータベースを構築し車両データ(車両走行キロ等)を一括管理しています。サーバ装置及び端末装置は納入から16年が経過しており、修理対応が出来なくなっております。運用管理システムは定期検査の計画および日々の運用計画を作成し、ネットワークにて各所(上永谷・新羽車両基地)とデータの共有をおこなっています。サーバ装置及び端末装置は納入から7年経過しており、故障・不具合が多く発生しています。両システムは車両運用維持のため更新が必要です。更新についてはサーバ装置、端末装置を共通化する事が可能であるためトータルコストの低減を目的とし、更新とあわせて共通化します。

・システム更新

◀ 既設 ▶

(1) 車両管理システム

1	サーバ装置	上永谷検車区
2	端末装置	上永谷検車区
3	端末装置	修繕工場
4	端末装置	車両課

(2) 運用管理システム

1	サーバ装置	上永谷検車区
2	端末装置	上永谷検車区
3	端末装置	上永谷基地信
4	端末装置	新羽検車区
5	端末装置	新羽基地信

◀ 更新後 ▶

(1) 車両・運用管理システム共通

1	サーバ装置	上永谷検車区
2	端末装置	上永谷検車区
3	端末装置	上永谷基地信
4	端末装置	修繕工場
5	端末装置	車両課
6	端末装置	新羽検車区
7	端末装置	新羽基地信

・サーバ装置
2台→1台
・端末装置
7台→6台

・更新計画

令和6年度 契約/仕様調整・調達/製作
令和7年度 納品

・費用比較: 単位 千円

車両管理システム更新	60,000	車両管理・運用管理システム共通更新	50,400
------------	--------	-------------------	--------

(2 前年度から変更・見直した点)

- ・継続事業(債務負担設定済)
- ・変更なし

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・車両運用維持のため

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費		53,856				53,856
債務負担設定	55,440					55,440

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：佐田東・成嶋

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
11 上永谷検車区列車無線装置試験機	0

(1 事業目的・内容)

- 列車無線試験機は、重要部・全般保全検査等で列車無線機の試験で使用しています。
 現在、上永谷・新羽検車区に各1台ありますが、製造からの期間経過により、経年劣化が発生しています。
 また、メーカーによる年次点検を実施しており、下記の報告を受けているため、新規試験機を購入します。
- ・製造終了部品が複数あり、故障発生時の原因箇所によっては、修復が不可能であること。
 - ・継続的な年次点検への対応が不可であること。(製造からの期間経過により保守対応が不可)
 - ・装置(内臓基板等)への負担があることや交換部品の手配ができないものがあり、オーバーホール・修繕が難しいこと。
 - ・平成17年度(2005)製造



(2 前年度から変更・見直した点)

- ・継続事業(複数年、昨年度事業見送りにより、債務負担設定が必要)
- ・工程変更(R7納入→R9納入)
- ・詳細仕様変更(簡素化)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・車両性能維持のため
- ・車両安全維持のため

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：佐困東・成嶋

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
12 3000RS形運転状況記録装置読出装置更新	1,000

(1 事業目的・内容)

運転状況記録装置は列車の速度やブレーキの動作状況等の運転状況を記録する装置です。福知山線の事故を受け平成18年7月に省令の一部を改正し、運転状況記録装置の設置が義務づけられました。

運転状況記録読出装置(PC)は運転状況記録装置に内蔵されているCFカードを取外しデータを読み、出力する装置です。3000RS形運転状況記録読出装置は導入から14年(上永谷検車区)、7年(*1 新羽検車区)が経過しており、3000R形車両は令和19年まで使用する計画となっているため、計2台の更新をおこないます。(納期 約6ヶ月) *1新羽検車区は平成30年度開設時に設置【使用OS 上永谷WindowsXP 新羽検車区Windows8 ※サポート切れ】



運転状況記録読出装置PC

列車種別	列車番号	区間	種別	速度	ブレーキ	制動	加速	減速	停車	出発	到着	通過	その他
C	0001	10 1000	普通	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C	0002	10 2000	普通	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C	0003	10 3000	普通	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C	0004	10 4000	普通	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C	0005	10 5000	普通	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C	0006	10 6000	普通	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C	0007	10 7000	普通	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C	0008	10 8000	普通	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C	0009	10 9000	普通	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C	0010	10 1000	普通	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C	0011	10 2000	普通	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C	0012	10 3000	普通	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C	0013	10 4000	普通	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C	0014	10 5000	普通	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C	0015	10 6000	普通	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C	0016	10 7000	普通	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C	0017	10 8000	普通	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C	0018	10 9000	普通	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C	0019	10 1000	普通	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C	0020	10 2000	普通	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

運転状況データ

(2 前年度から変更・見直した点)

- ・新規事業(単年度)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・安全性向上
- ・車両性能維持

(4 除却資産の有無)

- 有
- 無

(5 補助対象の有無)

- 有
- 無

令和7年度 建設改良費 事業計画書

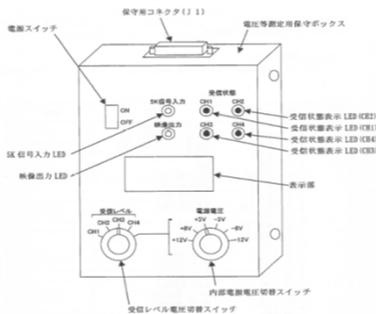
予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：佐田東・成嶋

(単位：千円)

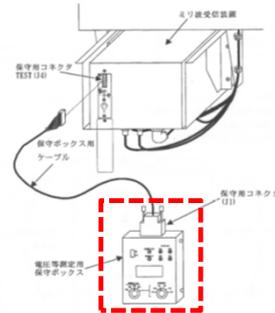
【事業内容】	7年度予算額
13 ミリ波受信装置試験器保守ボックス購入	0

(1 事業目的・内容)

ミリ波受信装置は乗務員が車両ドアの開閉に際して、乗降客の安全を確保するため、ホーム映像を運転室のモニタ画面に表示するシステムです。故障処置や保守点検において電圧や受信レベルを検査する際に試験器保守ボックスを使用する必要があります。当該試験器は、予備品が無く上永谷検車区の1台で対応しているため故障時の対応、機器校正をおこなう事が出来ないため、予備品の購入が必要です。



・ミリ波受信装置保守ボックス



・ミリ波受信装置との接続状態

- ・前々年度(R4年度)故障履歴
故障件数 6件(上永谷対応4件、新羽対応2件)
車両交換 3件(上永谷基地入区2件、新羽基地入区1件)

- ・スケジュール
令和6年度 契約・製造(30カ月)
令和7年度 製造
令和8年度 納品

(2 前年度から変更・見直した点)

- ・継続事業(債務負担設定済)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・車両性能維持のため
- ・車両安全維持のため

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：佐田東・成嶋

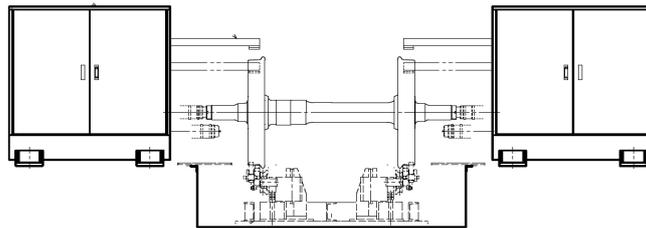
(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
14 上永谷修繕工場超音波探傷装置更新	

(1 事業目的・内容)

超音波探傷装置は、3000形車両の輪軸に傷等が発生していないかを確認する装置です。ブルーライン車両の全重検にて使用しています。本事業は、老朽化した超音波探傷装置を更新するものです。当該装置は、製造から約17年経過し、各部の劣化により不具合が毎年発生しており、都度の修理対応を行っています。特に制御部はOSにwindows2000を使用しており、このPCに不具合が発生した場合、代替部品が入手できないため、修理対応ができず、また、当該設備の製造業者は事業を撤退しており、今後の修理等の継続的な保守ができません。故障・修理中は使用できないため、軸に亀裂がないかどうか等の確認ができず、検査(全重)が停止し、運用を確保することができません。また新重要部保全検査を申請するためには軸の垂直探傷、局部探傷をすることが条件のひとつであり、横浜市交で使用している軸の専用プログラムを施した超音波探傷装置が必要です。上記の理由から、超音波探傷装置の更新を行います。

- ・2005年度設置
- ・全重検委託業務貸与設備



超音波探傷装置

(2 前年度から変更・見直した点)

- ・継続事業(債務負担設定済)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

故障発生により、適正な検査を実施することができない場合、車両を検査から出場させることができず、運用確保ができません。

(4 除却資産の有無)

- 有
- 無

(5 補助対象の有無)

- 有
- 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：佐田東・成嶋

(単位：千円)

【事業内容】	7年度予算額
<p>15 上永谷修繕工場台車洗浄装置</p> <p>(1 事業目的・内容) 台車洗浄装置は、車両点検時に取外した台車枠等を洗浄するものであり、次工程へ移行する前処理に使用しています。設置から約29年経過し、劣化によるエア漏れや圧力計等の動作不良、モータポンプの破損等の不具合が多く発生しています。台車洗浄装置が故障して使用できない場合、台車枠等を洗浄できず次工程に進めないため、車両検査が中断となることから装置の更新が必要です。設置は1994年(H6)から29年経過。</p>  <p>(2 前年度から変更・見直した点) ・継続事業(令和5年度に債務負担設定済) ・年度別予算額見直し(一括完成払いに変更)</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等) ・車両整備維持のため ・車両安全維持のため ・車両環境維持のため</p> <p>(4 除却資産の有無) <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p> <p>(5 補助対象の有無) <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>	

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：佐田東・成嶋

(単位：千円)

【事業内容】	7年度予算額
16 上永谷修繕工場スタッカークレーン更新	59,400

(1) 事業目的・内容

本スタッカークレーンは、上永谷修繕工場の予備部品や材料の保管に使用している第三倉庫立体格納庫に設置してあります。2024年1月、クレーンを動かす制御盤等が故障し、部品の製造終了により修理不可能な状態です。倉庫に保管されている機器の取り出しもできず、必要なタイミング(車両故障等)に必要な機器の交換ができない可能性が考えられます。車両の適切な整備体制の確保及び資産の有効活用のため、部分更新(制御盤等)を行います。併せて、「労働安全衛生法」「機械の包括的な安全基準に関する指針」「JIS安全規格」に基づいた安全対策を施します。

・平成16年(2004年)設置 設置から19年

・倉庫保管機器

高圧補助機器箱、台車中継弁箱、板バネ、軸箱体、基礎ブレーキ装置(M)ブレーキ装置、ブレーキテコ、制輪子ツリ 台ワク内外側、ツリアイテコモノリンク組立、設置スイッチ箱、軸箱コロ軸受、軸箱コロ軸受 など

・倉庫仕様

縦6段、横14区画の棚を2列配置(合計168区画)

・保管状況

- 1, 2F : 定期的に入場で使用する部材を保管
3~6F : 使用頻度が少ない部材(周期的に交換しない、異常時のみ交換)を保管



(2) 前年度から変更・見直した点

- ・継続事業(債務負担設定済)
・変更なし

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等

- ・職員の安全確保
・立体格納庫の健全化

(4) 除却資産の有無

- 有
 無

(5) 補助対象の有無

- 有
 無

(6) 年次表

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総額
事業費		59,400				59,400
債務負担設定	59,400					59,400

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：佐田東・成嶋

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
--------	--------

17 上永谷修繕工場連結器組立装置更新

(1 事業目的・内容)

連結器組立装置は、車両間を連結する連結器を組立てる装置です。
ブルーライン車両の全重検にて使用しています。本事業は劣化した連結器組立装置を更新するものです。
当該装置は、製造から約32年経過し装置フレームの湾曲等、各部の劣化が進んでおり修理も不可能となっています。故障した場合、連結器整備を外注へ出す必要があり、入場工程に遅れが生じ、運用に支障をきたす恐れがあります。また、当該装置の設計は古く、作業時の安全性があまり考慮されていません。
上記の理由から、作業員の安全性も考慮され且つ省スペース化が図れる装置へ更新を行います。



・1992年導入

(2 前年度から変更・見直した点)

・新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

故障した場合、連結器整備を外注へ出す必要があります。入場工程に急な変更が生じてしまうため運用計画の確保が難しくなります。

(4 除却資産の有無)

 有
 無

(5 補助対象の有無)

 有
 無

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：佐田東・成嶋

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
18 上永谷車両基地スクリーコンプレッサ更新	

(1 事業目的・内容)

スクリーコンプレッサは圧縮空気を作る機械で、車輪削正の際の気噴や検査の際の機器の気噴、空制装置の試験、車両へのエアの供給などの様々な業務に用いられています。
 上永谷修繕工場では既設3台のコンプレッサのうち2台が設置から約30年が経過しており、そのうちの1台が故障により停止しています。機器の製造から時間が経過しているため、生産が終了している部品も多く修理は困難です。
 今後、更にコンプレッサの故障が発生すると、検査業務に支障をきたす恐れがあるため、車両の安全性確保のために老朽化した2台を更新します。



(2 前年度から変更・見直した点)

- ・新規事業(複数年)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・車両運用維持
- ・車両安全性確保
- ・車両性能維持

(4 除却資産の有無)

- 有
- 無

(5 補助対象の有無)

- 有
- 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：佐困東・成嶋

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
19 スクリューコンプレッサ更新	9,768

(1 事業目的・内容)

新羽車両基地内のコンプレッサ2台は、設置から約27年経過しており、経年劣化による故障が断続的に発生しています。生産が終了している部品も多数あり応急的な修理を行いながら使用しています。同装置が故障した場合、車両の検査・整備ができず運用への影響が生じることが懸念されることから更新を行います。

(2 前年度から変更・見直した点)

・継続事業(債務負担設定済)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

・車両運用維持のため

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費	6,600	9,768				16,368
債務負担設定	9,768					9,768

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：佐田東・成嶋

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
<p>20 車輪転削盤制御用PC更新</p> <p>(1 事業目的・内容) 川和車両基地に設置している車輪転削盤の構成装置であるデータ記録システム用PCは設置から8年以上が経過し、搭載OSのサポート切れやPC及び周辺機器の経年劣化が発生しています。 当該装置は車輪削正の詳細データ・帳票管理を行うものです。 このPCには車輪転削盤専用のソフトウェアが導入されており、本装置故障時の代替機を保有しておりません。 定期的・臨時的な車輪削正を実施するため、本PC(周辺機器含)を更新します。</p> <p>【車輪転削盤】 車両の車輪を削る装置です。日々の走行により車輪には踏面の摩耗、傷(フラット)等が発生します。 削正により、適正な車輪形状を維持します。</p> <p>【対象設備】 ・川和車両基地 車輪転削盤 H19年度(2007)設置</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点) ・新規事業(単年度)</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p>(4 除却資産の有無) (5 補助対象の有無)</p> <p><input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>	

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：佐困東・成嶋

(単位:千円)

【 事業内容 】	7年度予算額
21 川和車両基地立体格納庫制御盤更新	0

(1 事業目的・内容)

川和検修庫内に設置されている立体格納庫で、車両の予備品等を格納しています。
 設置から約17年が経過しており、制御盤部品の改廃等により今後故障した際に修繕ができない状態となっています。
 故障時、メーカーも現状の装置の予備品を保有していないため、中古品等での仮復旧処置となるため、故障の再発の可能性
 あるだけでなく、部品入手までの期間、装置が使用できなくなります。
 装置が使用できなくなると、緊急の故障対応や、全重検等の検査業務が滞り、車両運用に影響を及ぼす可能性があるため、
 制御盤を更新します。

(2 前年度から変更・見直した点)

・新規事業(複数年)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

・車両運用維持

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：佐困東・成嶋

(単位：千円)

【事業内容】	7年度予算額
22 川和車両基地12tクレーンテレコン購入	
<p>(1 事業目的・内容)</p> <p>12tクレーンは全重検の際に、台車と車体を切り放すために使用する大型クレーンで、テレコンは地上で本クレーンを遠隔操作するための送信機です。</p> <p>製造から約16年が経過しており、スイッチ類の接触不良、本体ケースのひび割れ、破損により防水・防塵性能が低下しているだけでなく、その他更新が必要な部品が多々あります。</p> <p>特に受信機のリレーは交換周期目安が3年なのに対し、前回交換から既に8年以上が経過しています。</p> <p>本送信機が故障すると、車両検査ができなくなり、車両運用に影響を及ぼす可能性があるため、更新します。</p> <p>テレコン2台(No.1、No.2)</p>	
<p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <p>・新規事業(単年度)</p>	
<p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p>・車両運用維持</p>	
<p>(4 除却資産の有無)</p> <p><input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>	
<p>(5 補助対象の有無)</p> <p><input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>	

令和7年度 建設改良費 事業計画書

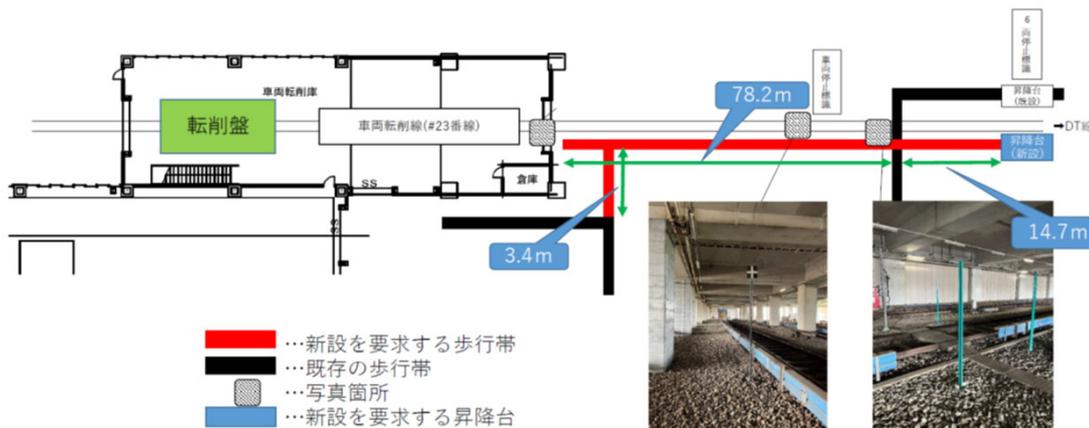
予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：佐田東・成嶋

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
23 新羽車両基地職員通路増設	

(1 事業目的・内容)

新羽車両基地に職員通路を増設します。
 ブルーラインの車輪削正は上永谷車両基地と新羽車両基地で担っていましたが、上永谷車両基地の車輪削正盤が老朽化により、修理不能となり継続使用ができなくなり、今後は新羽車両基地のみで車輪削正作業を担うことになりました。
 新羽車両基地での車輪削正作業は、歩廊及び昇降台の設置が無い場所を職員が往来せざるを得ない環境でしたが、今後、新羽車両基地での車輪削正の頻度が増える事が想定されますので、歩廊及び昇降台の設置をして安全に作業できる環境を整えます。



(2 前年度から変更・見直した点)
なし

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)
特になし

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位:千円)

	7年度 A	6年度 B	増△減(A-B)
予算額	4,433,536	5,114,757	△ 681,221

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
1 高圧配電線更新工事	

(1 事業目的・内容)

【工事の目的】

高圧配電線(ケーブル)は、当局の付帯変電所から、各駅の電気室へ電気を供給するための電力ケーブルです。更新計画中の区間は、高圧配電線を格納しているコンクリートトラフが、塩害により激しく腐食し、ケーブルが露出している部位があります。(対象区間:横浜~三ツ沢下町)
また、敷設・運用より40年が経過していることから、高圧配電線の信頼性が低下しつつあると考えられます。そのため安定した電力供給の維持を目的に、高圧配電線およびコンクリートトラフの更新を実施します。

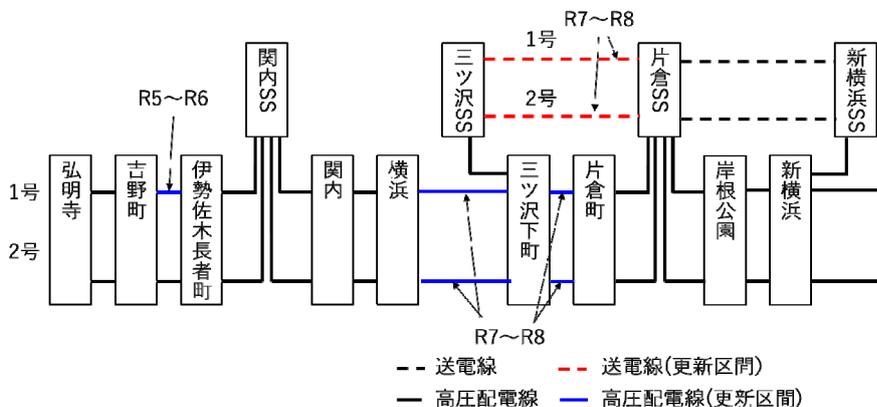
【課題】

工事の大半は夜間の軌道内を占有する工事のため、関係箇所との調整を密にし工事を行う必要があります。また高圧配電線は停止させる事ができないため、高圧配電線の仮設等を行いながら、慎重に工事を実施します。仮設に係る費用の低減のため、送電線と同じタイミングで更新します。

★高圧配電線更新計画

区間	亘長	設置	経過年数	R5	R6	R7	R8	R9	R10
吉野町E/R~伊勢佐木長者町E/R(上り)	1400	1997	27	●	●				
横浜E/R~片倉町	8800	1984	40			●	●		
片倉S/S~新横浜S/S	5800	1984	40					●	●
舞岡S/S~上永谷E/R	4400	1984	40						●

※上下線の更新の場合は亘長を2倍している



一部が破損しているコンクリートトラフ

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

■ 有 1997-20-00253
□ 無

(5 補助対象の有無)

□ 有
■ 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総額
事業費	145,131					
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
2 弘明寺駅電気室更新工事	

(1 事業目的・内容)

電気室更新のための機器更新工事を実施します。

弘明寺駅電気室は、昭和47年の開業以来、52年稼働しており、補修部品の入手やオーバーホール等の修繕が困難な状況です(更新の目安:約30年)。万一、電気室の機能に故障が発生した場合、駅の電力供給が行えないばかりか、信号保安装置等、列車の運行に必要な装置への電力供給が行えなくなり、運行支障が発生してしまい、その結果、多くのお客様にご迷惑をおかけすることにもなります。

また、電気室で使用している変圧器についてはPCB含有の機器のためPCB特措法に基づく処分期限(令和8年度末)までに機器の更新を実施し、既設変圧器を処分する必要があります。
このことから弘明寺駅電気室について、機器更新工事を実施いたします。

★工事計画

対象電気室	設置年	経過年数	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
弘明寺駅	1972	52	●-----●	●-----●		●.....●	●.....●	●.....●

- 基本設計 ●-----●
- 実施設計 ●-----●
- 工事 ●.....●



弘明寺駅電気室のPCB含有変圧器

(2 前年度から変更・見直した点)

令和5年度発注工事が2度の不調のため、計画を変更

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

PCB含有の機器のためPCB特措法に基づく処分期限(令和8年度末)までに機器の更新を実施し、既設変圧器を処分する必要あり

(4 除却資産の有無)

- 有
- 無

(5 補助対象の有無)

- 有
- 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費	40,000					
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位：千円)

【事業内容】	7年度予算額
3 笹下変電所機器更新工事	47,036

(1 事業目的・内容)

笹下変電所は1977年製であり、製造から47年が経過し機器の劣化が進行しています。製造中止となった部品も多く、健全な機能を維持することが困難となりました。全面的な機器の更新を行い、設備の信頼性の向上を図ります。更新に伴い、機器配置等が変更となるため換気設備、照明設備や電線路設備、電力管理システム改修等の改修も併せて実施します。

【課題】

・整流器用遮断器が1台故障中であり、修理不可のため片系運用している

【検討事項】

更新工事に当たっては、方法を検討することで、費用の削減を図ります。



主配盤設備

【事業計画】

件名	令和2年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
	実施設計		契約・機器製作	機器製作	工事	
笹下変電所機器更新						
笹下変電所電力管理システム変更						

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有 1977-20-00043、1977-20-00072、1992-20-00047
 無 1993-20-00148、1999-20-00042、1999-20-00068
 1999-20-00265、2001-20-00260、2001-20-00421
 2009-20-00287、2009-20-00288、2009-20-00289
 2009-20-00304、2009-20-00327、2009-20-00343
 2009-20-00365、2018-20-00321
 1995-20-00161、1999-20-00011

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総額
事業費	560,700	47,036				607,736
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
4 茅ヶ崎変電所機器更新工事	0

(1 事業目的・内容)

茅ヶ崎変電所の機器は1992年製で製造後32年経過しており、部品の製造中止により故障時の修理が困難な状態のため、更新を実施します。更新にあたっては変電機器、建物電気設備(照明)、防災設備、機械設備を更新する必要があり、合わせて電車線路、電力管理システムの改修を行います。



66kV 特別高圧受電設備



主配盤設備

【事業計画】

件 名	令和4年度	令和5年度	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
	基本設計・実施設計		工事					
茅ヶ崎変電所機器更新工事	●————●————●————●————●————●————●————●							
茅ヶ崎変電所電線路改修工事					●————●————●————●			
茅ヶ崎変電所電力管理システム変更					●————●————●————●			
電力会社工事					●————●			

(2 前年度から変更・見直した点)
令和6年度に入札不調となった場合の次年度契約分を追加

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位：千円)

【事業内容】	7年度予算額
7 上永谷車両基地き電監視盤ほか更新	0

(1 事業目的・内容)

上永谷車両基地の検車庫用直流開閉器盤、現地操作盤及びき電監視盤の更新計画の設計を行います。
上永谷車両基地検車庫用直流開閉器盤(以下、C盤)及び現地操作盤(以下G盤)は、昭和52年に設置されました。現在、47年経過しており、劣化が進行しています。また修理に必要な補修部品等も既に生産が中止されており、故障等の不具合が発生した場合に修理対応に多くの時間を要してしまう状況です。
また、直流開閉器の状態を監視しているき電監視制御盤についても本体及び制御線の経年劣化が進んでいるため、C盤及びG盤更新を含めて更新します。

【主な不具合】

●経年劣化による本体の発錆や腐食 ●可動部の動作不具 ●スイッチの接触不良 ●配線の絶縁抵抗の低下

【C盤】

上永谷車両基地には、車両を点検するための点検線があります。点検線内には、点検中の列車に直流750Vを送るための「栓受」と呼ばれる設備があります。

C盤は、「栓受」の直流750Vを開閉するための直流開閉器盤で、電磁接触器1台で構成されています。

【G盤】

G盤は、C盤に収納されている電磁接触器を遠方の点検線で開閉操作するための現地操作スイッチ盤です。

【MC盤】

C盤の上位に存在し、サードレールを開閉するための直流開閉器で、高速度遮断器で構成されています。

【き電監視制御盤】

MC盤の状態を監視し、基地構内の直流750Vの入切状態を監視しています。

【事業計画】

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度以降
基本設計						
実施設計	●————●					
更新工事			●————●			



現地操作盤



直流開閉器盤

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総額
事業費	55,374					
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位：千円)

【事業内容】	7年度予算額
8 駅照明更新工事	

(1 事業目的・内容)

駅照明の消費電力を削減しCO2の排出を抑止することを目的に、蛍光灯のLED化を駅の改修や老朽化対策等に合わせ、周囲の機器への影響及び安全性に配慮しながら調査や導入を実施しています。
令和9年度までに接客部の照明のLED化率100%を目指し、駅に設置されている蛍光灯のLED化を進めます。
(現状のLED化率 59%)(令和5年度実績)

【更新計画】

駅	灯数	電力削減量 (kWh/年)	CO2削減量 (t/年)	令和7年	令和8年
高田	516	53638	24.5	←→	←→
北山田	313	32536	14.9	←→	←→
東山田	219	22765	10.4	←→	←→
センター北	202	20998	9.6	←→	←→
関内	85	8836	4.0	←→	←→
中田	225	23389	10.7	←→	←→
立場	170	17672	8.1	←→	←→
蒔田	260	27027	12.4	←→	←→
下飯田	197	20478	9.4	←→	←→
日吉	602	62578	28.6	←→	←→
日吉本町	340	35343	16.2	←→	←→
中山	626	65073	29.7	←→	←→
吉野町	160	16632	7.6	←→	←→
高島町	152	15800	7.2	←→	←→



(2 前年度から変更・見直した点)

照明LED化の目標年度の前倒しに伴い、計画を変更
蒔田駅は建築工事と同時に施工予定
工事平準化対策として契約時期を変更

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市地球温暖化対策実行計画(市役所編)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有 公営企業債(脱炭素化事業)対象事業
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総額
事業費	283,302					
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
9 基地照明更新工事	

(1 事業目的・内容)

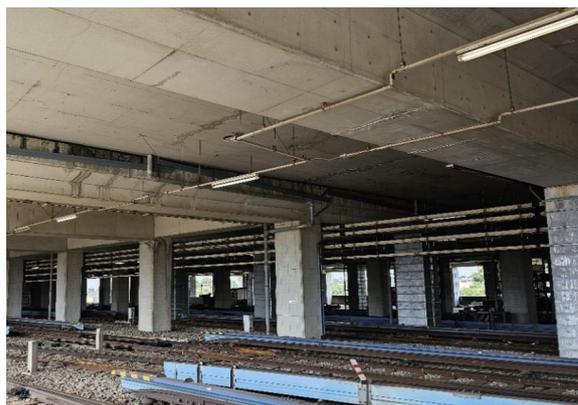
新羽車両基地の蛍光灯をLEDに更新します。

車両基地1階及び3階のLED化、2階にある車両の留置線にて使用している蛍光灯器具及びケーブル、分電盤について更新を行います。

基地2階について、天井部からの漏水の影響で防水対応でない器具の故障が多発しており、劣化も進行していることから防水仕様のLED器具にて更新を行います。

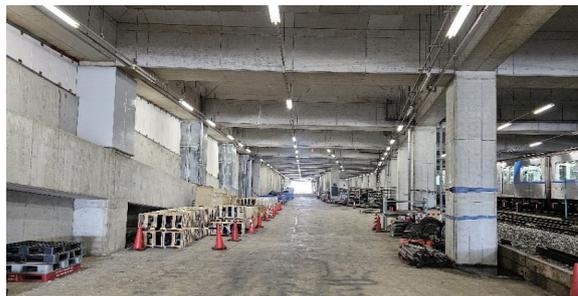
また、1階から3階の各居室等に関してもLED化を行うことでCO2及び電気料金の削減を図ります。

新羽車両基地			
消費電力	灯数	合計	1日(12時間)の電力量
FLR40W	3189	128kW	1536kWh
FLR20W	11	0.2kW	
FLR40W 相当	3189	64kW	768kWh
FLR20W 相当	11	0.1kW	
電力量			768kWh
CO2量(年間)			120t-CO2



【更新計画】

	令和7年	令和8年
設計委託	←→	
更新工事		←→



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有
- 無

(5 補助対象の有無)

- 有 公営企業債(脱炭素化事業)対象事業
- 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費	88,000					
債務負担設定	60,000					

令和7年度 建設改良費 事業計画書

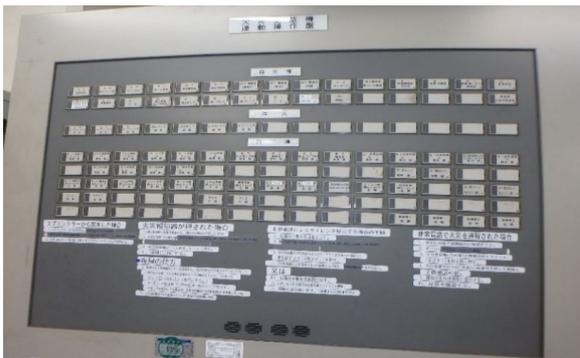
予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
10 防災設備更新工事(基本・実施設計)	

(1 事業目的・内容)

あざみ野駅の防災設備(火災受信機、防災監視盤)の更新のための設計委託を実施します。
 火災受信機は、設置から30年以上が経過し、修理に必要な部品の入手が困難となっており、一旦故障が発生してしまうと修理対応に時間を要する懸念があります。更新し、安全性の維持に努めます。
 防災監視盤はすでに修理に必要な部品が生産中止となり、故障した際に修理ができない状態となっています。
 防災監視盤はあざみ野駅開業当初から設置しており、排煙設備系スイッチ類、非常電話設備、駅構内の照明スイッチが一体型となっているため、単独での更新ができず、修理がしにくいいため、それぞれ独立した盤に更新します。



火災受信機



防災監視盤

●自動火災報知設備について

居室等に設置されている感知器が熱や煙を感知し、受信機に火災信号などを送り知らせます。また受信機は警報を発し、火災地区を表示し地区ベルなどを鳴動させ建物内に居る人に火災の発生を知らせる設備です。設備は、受信機・発信機・中継器・表示灯・地区音響装置・感知器などの機器から構成されます。

(2 前年度から変更・見直した点)
直営設計から外注設計に変更

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- 根拠条例(設置基準)
消防法第17条、消防法施行令第21条、その他、横浜市火災予防条例第51条等、防火対象物の用途・規模に応じて設置し、点検・維持を行う義務がある。

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費	48,000					
債務負担設定	72,000					

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位：千円)

【事業内容】	7年度予算額
11 区分開閉器更新工事	0

(1 事業目的・内容)

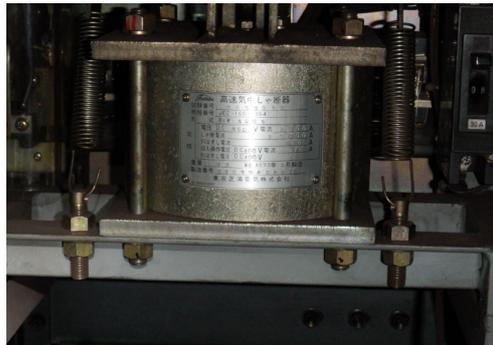
区分開閉器は、電力回路を安全に開閉する設備です。
 上大岡駅に設置している直流区分開閉器は、製造から48年が経過しております。
 本設備は列車走行用の電力開閉器であり、電気事故等発生時に回路を遮断するほか、平日の営業運転終了後にいち早く不要な区間の電力供給を停止する部分き電停止に用いるため、保守作業や工事を効率良く行うために欠かせない設備です。

既設設備には以下の課題があるため、更新を行います。

- ・老朽化により機器の故障リスクがある
- ・機器故障時には部分き電停止が行えず、保守作業や工事の作業可能時間が短くなってしまふ



開閉器盤外観



遮断器外観

【事業計画】

設置年	経過年数	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度以降
上大岡駅	1975年 / 49	●	●	●	●		
弘明寺駅	1972年 / 52	●	●	●	●		
阪東橋駅	1972年 / 52		●	●	●	●	
桜木町駅	1975年 / 49		●	●	●	●	
横浜駅	1975年 / 49			●	●	●	●
三ツ沢上町駅	1984年 / 40			●	●	●	●

● ● 開閉器購入
● ● 開閉器設置工事

(2 前年度から変更・見直した点)
 開閉器購入と設置工事を分割発注するよう計画を変更しました。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目 款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	担当 所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村
---	---------------------------------

(単位：千円)

【事業内容】 12 隧道照明更新工事	7年度予算額
-------------------------------------	--------

(1 事業目的・内容)

ずい道(トンネル)内の照明器具をLED照明器具に更新します。

ブルーライン及びグリーンラインのずい道内の照明器具は、鉄道に関する技術上の基準を定める省令の避難設備として設置しています。非常時の際は、速やかに点灯するものとし、設計・運用されている照明器具です。
 また、トンネル内は保守職員が点検のために昼夜歩行するため、これらの照明器具を常時点灯(24時間365日)として運用しています。

【LED化による効果(令和7年度工事分)】

消費電力の削減量(予定):年間292,584kWh
 CO2削減量(予定):年間131t
 蛍光灯交換にかかる保守点検(年間約90日:全線):LED化により大幅減が見込める

【今後の計画】

年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業計画	灯数	1344	1387	1209	1274
	区間	湘南台～上永谷	上永谷～伊勢佐木長者町	片倉町～あざみ野	中山～日吉
		伊勢佐木長者町～横浜	横浜～片倉町		
進捗率(予定)		25.8%	52.4%	75.6%	100.0%

ブルーラインは令和8年度に、グリーンラインは令和9年度にLED化が完了する予定です。



ずい道照明(イメージ)

- (2 前年度から変更・見直した点)
 工事の平準化対策として、令和8年度完成工事を令和7年度中の発注・契約に変更
 照明LED化の目標年度の前倒しに伴い、計画を変更
- (3 根拠法令・規程、現場の意見等)
 鉄道に関する技術上の基準を定める省令
 第二十九条 (地下駅等の整備)
 2 地下駅等には、施設の状況に応じ、必要な消火設備、避難設備その他の火災対策設備を設けなければならない。
 横浜市地球温暖化対策実行計画(市役所編)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有 公営企業債(脱炭素化事業)対象事業
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総額
事業費	280,000					
債務負担設定	110,000					

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
13 上永谷駅電気室更新工事	

(1 事業目的・内容)

電気室更新のための工事を実施します。

上永谷駅電気室は、昭和50年の竣工以来、49年稼働しており、補修部品の入手やオーバーホール等の修繕が困難な状況です（更新の目安：約 30年）。万一、電気室の機能に故障が発生した場合、駅の電力供給が行えないばかりか、信号保安装置等、列車の運行に必要な装置への電力供給が行えなくなり、運行支障が発生してしまい、その結果、多くのお客様にご迷惑をおかけすることにもなります。
このことから上永谷駅電気室について、機器更新を実施致します。

★委託発注計画

対象電気室	設置年	経過年数	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
上永谷駅	1976	49	●	●	●	●	●	●

基本設計 ●●●●●●●●
実施設計 ●●●●●●●●
工事 ●●●●●●●●



開放型負荷盤
(印加部が露出している為、保守作業時に感電の恐れがある)

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)



(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費	18,590					
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位：千円)

【事業内容】	7年度予算額
14 横浜駅電気室更新工事	570,000

(1 事業目的・内容)

ブルーラインの電気室は駅の大規模改修に合わせて設備更新を実施してきましたが、設備の老朽化により機器の更新が必要とされる電気室のうち、駅の大規模改修の予定がなく竣工から40年以上が経過した電気室について、機器更新を進めていきます。

横浜駅電気室は、開業以来、48年稼働しており、補修部品の入手やオーバーホール等の修繕が困難な状況です(更新の目安：約30年)。万一、電気室の機能に故障が発生した場合、駅の電力供給が行えないばかりか、信号保安装置等、列車の運行に必要な装置への電力供給が行えなくなり、運行支障が発生してしまい、その結果、多くのお客様にご迷惑をおかけすることにもなります。

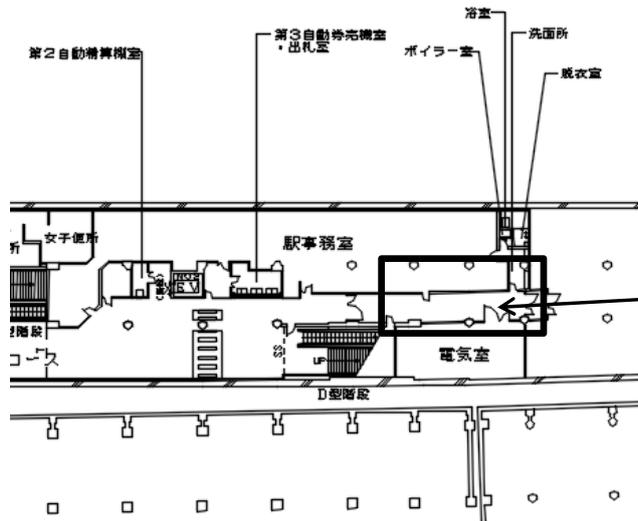
更新にあたっては、安全に配慮し、高効率機器を導入し、省エネルギー化にも取り組むこととします。

基本設計 ●●●●●●
実施設計 ●●●●●●
工事 ●●●●●●

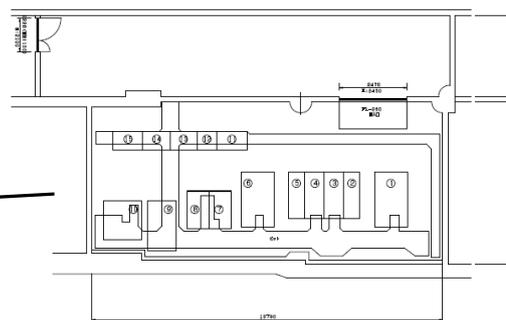
★委託発注計画

対象電気室	設置年	経過年数	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
横浜駅	1975	48	●	●			●	●	●	●

横浜駅B2F



横浜駅電気室



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総額
事業費	171,000	570,000				741,000
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位：千円)

【事業内容】	7年度予算額
15 新横浜変電所直流開閉器部分更新	132,000

(1 事業目的・内容)

新横浜変電所は昭和58年の開業以来、使用開始から30年以上が経過し機器の劣化が進行しています。令和2年度に真空遮断器の更新を実施しましたが、直流き電設備である直流遮断器も老朽化が進んでおり更新が必要な状態となっています。直流遮断器が故障すると電車に電気を供給するために電気の投入、解放ができず営業線に多大な影響を与えるため更新を実施します。

【事業計画】

計画内容	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
	契約・機器製作	工事	工事	工事	
当初計画(変電所一式更新)					10億前後規模
今回の計画(部分更新延命)					部分更新により 10数年の延命

【延命化の目的】

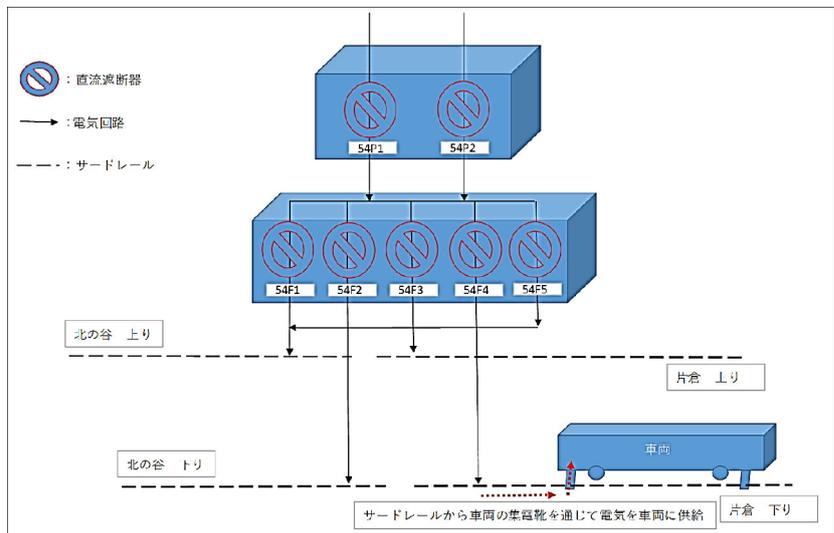
- ・真空遮断器が更新済みのため、直流遮断器のみの更新で10数年の延命ができます。
- ・直流遮断器はき電線路に電気を送るために必要な設備で故障すると、き電線路に電気を送ることができなくなり、車両に電気が供給されなくなります。確実な運行のために更新が必要です。



直流き電盤



直流遮断器



概要図

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費		132,000				132,000
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位：千円)

【事業内容】	7年度予算額
16 舞岡変電所機器更新工事	

(1 事業目的・内容)

舞岡変電所は1986年製であり、製造から38年が経過し機器の劣化が進行しています。製造中止となった部品も多く、健全な機能を維持することが困難となりました。全面的な機器の更新を行い、設備の信頼性の向上を図ります。更新に伴い、機器配置等が変更となるため換気設備、照明設備や電線路設備、電力管理システム改修等の改修も併せて実施します。

【課題】

電力会社からの受電を担う受電変電所であり、機器故障時の影響範囲が大きい

【検討事項】

- 適切な工期設定を行い、費用の平準化を図ります。
- 直流電源設備など一部設備は既設流用とし、費用を削減しています。



主配電盤

【事業計画】

件 名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
舞岡変電所機器更新		発注	機器製作	工事			
舞岡変電所電線路改修工事				発注	工事		
舞岡変電所電力管理システム変更							
電力会社工事							

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位：千円)

【事業内容】	7年度予算額
17 吉田町中間ポンプケーブル他更新工事	

(1 事業目的・内容)

戸塚電気室から吉田町中間ポンプ室に電気を供給するケーブル及び開閉器の更新をします。
 地下鉄トンネル内の雨水・湧水を排出する設備として吉田町中間ポンプがあります。
 現在、全てのポンプが始動した場合、電動機用の過電流遮断器が解放してしまう状態が発生しており、電動機の容量に見合った遮断器およびケーブルの更新が必要です。
 排水ポンプが停止した場合、トンネル内の排水が行われなため、軌道内等浸水などにより電車線路や信号設備への支障が発生し運行が出来なくなるなど多大な影響があります。

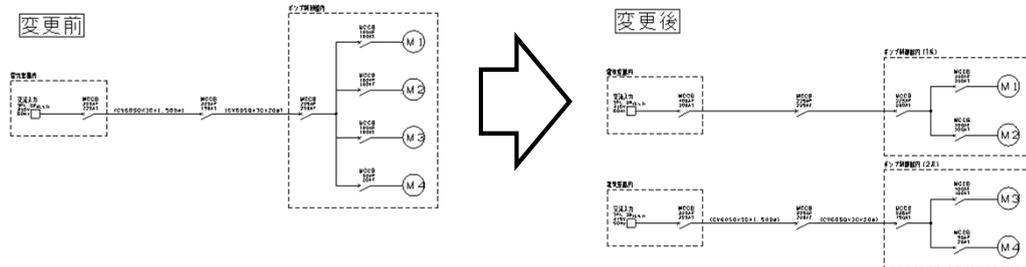
【更新内容】

- ・ケーブルを再選定すると共に、1条化から2条化(1系・2系)に変更し電源分離化をする。
- ・遮断器再選定をし、保護協調を考慮する。

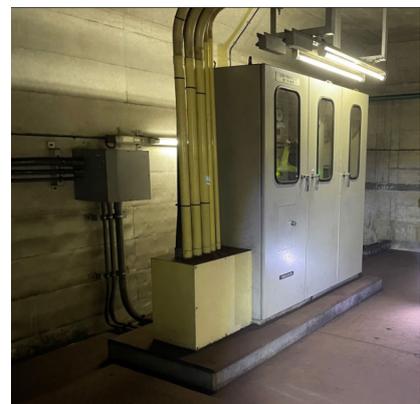
【補足】

- ・ポンプ制御盤に関しては、電源分離化(1系・2系)を実施し設備が停止した場合の警報装置(軽・重故障)等を追加する。

【対策図】



ポンプ制御盤



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総額
事業費	12,000					
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

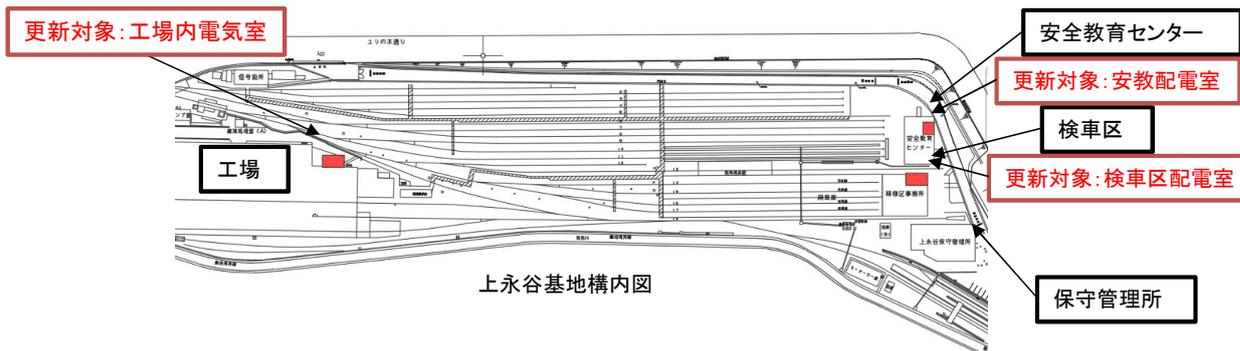
(単位：千円)

【事業内容】	7年度予算額
18 上永谷基地電気室ほか更新工事	0

(1 事業目的・内容)

上永谷車両基地の電気室及び配電盤室の更新を行います。

上永谷基地電気室は、1976年製であり、48年稼働しています。老朽化が進行しており、補修部品の入手やオーバーホール等の修繕が困難な状況です（更新の目安：約30年）。万一、電気室の機能に故障が発生した場合、基地の電力供給が行えなくなり、信号保安装置等、列車の運行に必要な装置が停止する恐れがあります。基地機能が停止してしまうと、本線の列車運行も困難となります。



対象電気室	設置年	経過年数	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年
上永谷車両基地	1976	50	●	●	●	●	●

基本設計 ●●●●●
実施設計 ●●●●●
工事 ●●●●●

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総額
事業費	29,590					
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位：千円)

【事業内容】	7年度予算額
19 上永谷基地帰線自動開閉器購入	19,800

(1 事業目的・内容)

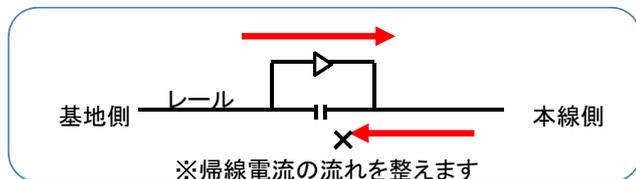
上永谷基地の帰線自動開閉器は帰線電流の迷走防止・基地内走行レールの電位上昇防止等を目的に設置されています。本設備には低濃度PCBが使用されており、令和8年度末までの処分が義務付けられています。機器製作期間が長期化しており、処分期限に向けて早めの更新を行います。

【機器仕様】

- ・ 定格：750V/600A 油量：90 L 1989年製
4台

【事業計画】

令和5年度	令和6年度	令和7年度
機器製作	機器製作	納入



帰線自動開閉器

(2 前年度から変更・見直した点)

- (3 根拠法令・規程、現場の意見等)
 ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法
 (令和9年3月31日までの処分を義務付け)

(4 除却資産の有無)

- 有 1988-20-00049
 無 1989-20-00086

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総額
事業費		19,800				19,800
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
20 下飯田変電所22kV開閉設備更新工事	

(1 事業目的・内容)

下飯田変電所の22kV開閉設備は機器の寿命である動作回数1万回を超えており、信頼性が低下しています。令和5年7月には遮断器の部品の一部が故障し、湘南台～立場間で通常運行に影響を与えるなど、実際に不都合も発生しています。

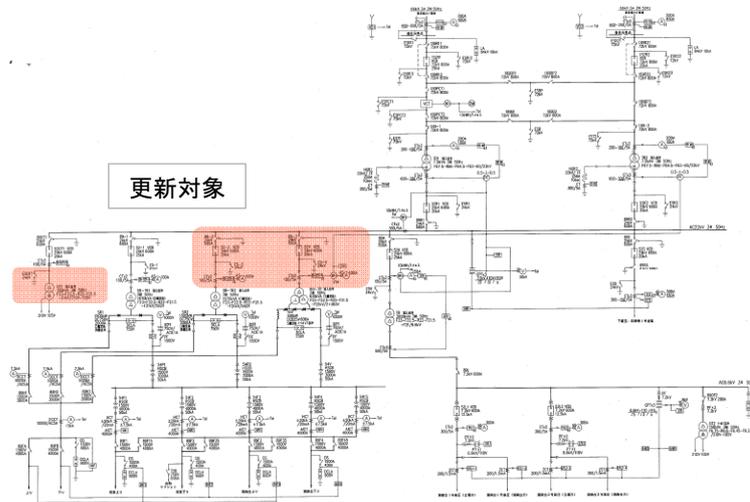
当該製品はメーカーでも生産が中止しており、再度、故障した際には復旧は困難です。

【更新内容】

22kV開閉設備を部分更新します。

【検討事項】

変電所の一括更新とせず、寿命に達した機器のみ更新することで、コスト削減、平準化を図ります。



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
-------------	--------

21 電気融雪器更新工事

(1 事業目的・内容)

電気融雪器設備(電気融雪器、センサー、制御盤、ケーブル等)の更新を行います。
 電気融雪器は地上の分岐部に設置し、分岐部の転換不良を防止するための設備です。
 降雪時に作動させることによりレールを加熱し、分岐部の雪を溶かすことで可動部への雪の堆積を防止します。
 設置から32年が経過し老朽化しており、列車の安全運行のため設備の更新を実施します。



電気融雪器



融雪器制御盤

【事業計画】

R7	R8	R9	R10	R11
新羽駅	センター北駅 (BL)	新羽基地	上永谷駅	上永谷基地

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
22 北の谷変電所機器更新工事(基本設計、実施設計)	35,000

(1 事業目的・内容)

北の谷変電所の機器を更新するための基本設計及び実施設計を委託します。
北の谷変電所に設置されている変電機器は更新時期を迎えており、更新にあたっては変電機器、建物電気設備(照明)、防災設備、機械設備の仕様の見直しをする必要があるため、基本計画について、基本・実施設計を委託します。



変圧整流設備

【事業計画】

件 名	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		基本設計・実施設計		工事
北の谷変電所機器更新工事	●————●		●————●	

(2 前年度から変更・見直した点)
契約額に変更

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費	26,000	35,000				61,000
債務負担設定	39,000					39,000

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
23 誘導灯更新工事	

(1 事業目的・内容)

蛍光灯および冷陰極管を使用している誘導灯の更新を行います。
 蛍光灯を使用している誘導灯については、令和9年度末で、蛍光灯の製造及び輸出入が禁止となり、保守が困難となります。
 冷陰極管を使用している誘導灯については、冷陰極管の生産が既に終了しており、保守部品の入手が難しいため更新を行います。

【事業計画】

令和7年度 中山駅～日吉駅、4号線の変電所、川和車両基地
 令和8年度 あざみ野駅～関内駅、3号線の変電所、新羽車両基地
 令和9年度 伊勢佐木長者町駅～湘南台駅、1号線の変電所、上永谷車両基地



蛍光灯を使用している誘導灯



LEDを使用している誘導灯

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有
- 無

(5 補助対象の有無)

- 有
- 無

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
24 レーザー式架線測定器購入	■

(1 事業目的・内容)

作業効率向上のため、レーザー式架線測定器を購入します。

グリーンラインでは、架空電車線から電気の供給を受けております。架空電車線は、列車の微細な振動や工事等で、本来の据え付け位置からずれが生じることがあります。ずれが生じると、電車に電力を供給できなくなる恐れがあります。このため、ずれを架線測定器で測定し、点検と調整を行い列車の運行の安全を保っています。

しかし、一般的な架線測定器では、現場で作業員が読み取った数値を記録者が帳票に記入し、事務所に戻ったあと帳票のデータをパソコンに入力する必要があり、工数が必要なだけでなく、読み間違いや聞き間違い、写し間違い等のミスが発生しやすい環境にあります。

このため、レーザー式架線測定器を導入を行いミスの削減と作業効率の向上を計ります。レーザー式架線測定器は、レーザー測定器で高さ方向を測定し、横方向は、メモリを画像認識により数値を読み取り、それぞれのデータを検査表に随時入力可能な測定器で、全国の鉄道会社や電車線路の工事会社で採用が進んでおります。

架空電車線



グリーンラインと架空電車線

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
-------------	--------

25 牛久保変電所部分更新委託

(1 事業目的・内容)

牛久保変電所における以下の機器について、更新を行い変電所全体寿命の延命を図ります。

【継電器】

変電所の制御および故障の監視を行う機器です。故障した場合、制御や監視が行えなくなり、列車の運行に影響します。令和6年度も継電器が故障しており、緊急で修理を行っています。全面的に更新することにより機器の安定化を図ります。

【直流開閉器】

電車に直接電気を供給する開閉器です、き電停止及び開始のたびに動作しており、使用頻度の高い機器です。機器の耐用である動作回数1万回を超えており、故障した場合、電気の投入・開放ができず、運行に影響を与えるため更新します。

【22kV開閉器】

直流開閉器同様、電車に直接電気を供給するための設備であり、使用頻度も高いです。また、予備器がなく、故障した場合は修理完了となるまで当該機器が使用できません。直流開閉器同様、機器の耐用である動作回数1万回を超えており、故障した場合の影響が大きいため更新します。更新においては、全数更新ではなく劣化状況に応じて部分的な更新とすることでコスト低減を図ります。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有
- 無

(5 補助対象の有無)

- 有
- 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
26 センター北変電所継電器更新工事	0

(1 事業目的・内容)

センター北変電所における以下の機器について、更新を行い変電所全体寿命の延命を図ります。

【継電器】

変電所の制御および故障の監視を行う機器です。故障した場合、制御や監視が行えなくなり、列車の運行に影響します。令和6年度には他の変電所において同型の継電器が故障しており、緊急で修理を行っています。全面的に更新することにより信頼性を回復します。



(参考写真)



(参考写真)

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有
- 無

(5 補助対象の有無)

- 有
- 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
27 高島町駅電気室更新工事(基本・実施設計)	

(1 事業目的・内容)

電気室更新のための基本・実施設計について、設計を委託します。

高島町駅電気室は、開業以来49年稼働しており、補修部品の入手やオーバーホール等の修繕が困難な状況です(更新の目安:約30年)。万一、電気室の機能に故障が発生した場合、駅の電力供給が行えないばかりか、信号保安装置等、列車の運行に必要な装置への電力供給が行えなくなり、運行支障が発生してしまい、その結果、多くのお客様にご迷惑をおかけすることにもなります。このことから高島町駅電気室について、機器更新のための設計を委託致します。

★委託発注計画

対象電気室	設置年	経過年数	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
高島町駅	1975	49	●-----●	●-----●	●-----●	●-----●

基本設計 ●-----●
実施設計 ●-----●
工事 ●-----●



変圧器

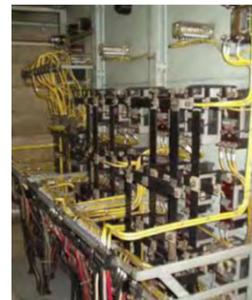


開放型負荷盤

(印加部が露出している為、保守作業時に感電の恐れがある)

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)



(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位：千円)

【事業内容】	7年度予算額
28 三ツ沢下町駅電気室更新工事(基本設計・実施設計)	

(1 事業目的・内容)

電気室更新のための基本・実施設計について、設計を委託します。

三ツ沢下町駅電気室は、昭和60年の竣工以来、40年稼働しており、補修部品の入手やオーバーホール等の修繕が困難な状況です(更新の目安：約30年)。万一、電気室の機能に故障が発生した場合、駅の電力供給が行えないばかりか、信号保安装置等、列車の運行に必要な装置への電力供給が行えなくなり、運行支障が発生してしまい、その結果、多くのお客様にご迷惑をおかけすることにもなります。
このことから三ツ沢下町駅電気室について、機器更新のための基本・実施設計を委託致します。

★委託発注計画

対象電気室	設置年	経過年数	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
三ツ沢下町駅	1984	40	●	●	●	●	●

基本設計 ●—●—●
 実施設計 ●—●—●
 工事 ●●●●●●



【参考写真：高圧盤】



【参考写真：負荷盤】

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 担当者名: 関口、辻、和田、大村

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
29 送電線更新工事	

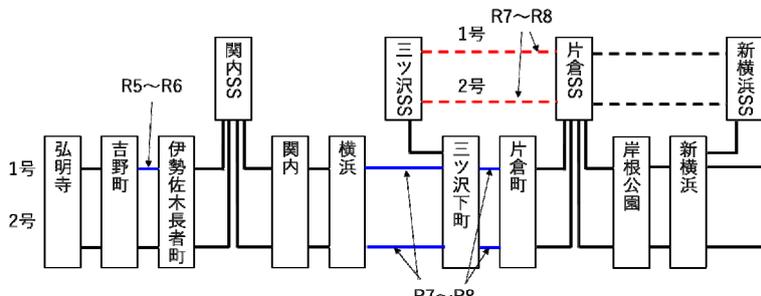
(1 事業目的・内容)

送電線は、電力会社より買電している当局の受電変電所から、き電変電所へ電気を供給するための電力ケーブルです。対象の送電線は敷設・運用から、40年が経過しており、ケーブルの信頼性が低下しつつあると考えられます。そのため安定した電力供給の維持を目的に、更新計画に基づき、送電線の更新を実施します。

送電線はき道内のトラフに布設しており、高圧配電線と隣接しています。作業効率化・費用低減のため、高圧配電線と同じタイミングで更新を行います。

更新計画

区間	延長	設置	経過年数	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
① 三ツ沢～片倉	6000	1984	40	●	●							
② 片倉～新横浜	5600	1984	40			●	●	●				
③ 新横浜～北の谷	6000	1992	32						●	●	●	
④ 北の谷～茅ヶ崎	5200	1992	32								●	●
⑤ 茅ヶ崎～牛久保	5600	1992	32									●



(2 前年度から変更・見直した点)

-- 送電線 - - - 送電線(更新区間)
— 高圧配電線 — 高圧配電線(更新区間)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

■ 有 1984-20-00392
□ 無 1984-20-00393

(5 補助対象の有無)

□ 有
■ 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位：千円)

【事業内容】	7年度予算額
30 上永谷駅電気融雪機用変圧器購入	

(1 事業目的・内容)

上永谷駅には凍結や降雪等による分岐器の転換不良を防止するために電気融雪器が設置されています。この電気融雪機に電気を供給するための変圧器は昭和61年製であり、使用している絶縁油に有毒なポリ塩化ビフェニル（PCB）が含有している可能性が高いことが判明しました。

PCB廃棄物は、PCB特別措置法により令和8年度までに処分を行うことが義務付けられているため、変圧器の更新を行います。



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)
PCB特別措置法

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
-------------	--------

31 戸塚駅電気室更新工事(基本設計・実施設計)

(1 事業目的・内容)

電気室更新のための基本設計および実施設計を委託します。

戸塚駅電気室は、昭和62年の竣工以来、38年稼働しており、補修部品の入手やオーバーホール等の修繕が難しい状況です(更新の目安:約30年)。万一、電気室の機能に故障が発生した場合、駅の電力供給が行えないばかりか、信号保安装置等、列車の運行に必要な装置への電力供給が行えなくなり、運行支障が発生してしまい、その結果、多くのお客様にご迷惑をおかけする恐れがあります。

また、戸塚駅は大規模改良工事が予定されており、大規模改良工事と合わせて電気室についても更新を行います。

★工事計画

対象電気室	設置年	経過年数	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
戸塚駅	1987	38	●	●	●	●	●	●

- 基本設計 ● — — — ●
- 実施設計 ● — — — ●
- 工事 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●



戸塚駅電気室

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有
- 無

(5 補助対象の有無)

- 有
- 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
32 運行管理システム改修作業(新羽)	13,420

(1 事業目的・内容)

運行管理システムは、運輸司令業務の効率化と旅客案内サービスの向上をはかるために、電子計算機を使用して列車の運行制御、運行実績記録、在線状況表示、案内放送および案内表示の制御を自動的に行う装置です。
本作業は新羽駅の信号保安装置(ATC装置・連動装置)更新に伴い、更新後の装置を正常に動作させるために運行管理システムの改修を行う必要があります。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」第9章 第87条第3項 運転保安設備の保持
横浜市高速鉄道信号通信設備整備心得

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事 業 費		13,420				13,420
債務負担設定	25,000					25,000

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位：千円)

【事業内容】	7年度予算額
33 信号保安装置更新工事(新羽車両基地)(実施設計)	24,024

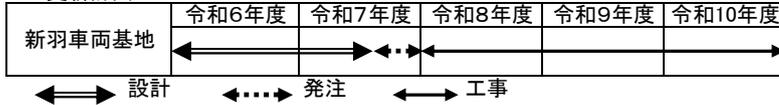
(1 事業目的・内容)

新羽車両基地の信号保安装置(連動装置、電源装置)は、運用開始後約28年経過しています。これまでに、装置の安定稼働と長寿命化を図るため、設置後15年を目途に主要部品の更新(オーバーホール)を行い、重大事故や運行障害に直結する故障の発生を防ぎ、安全性を確保してきました。

- しかし、設置から29年が経過し、
- ・今後、故障の増加が予測されること
 - ・装置を構成する主要部品の中には、既に製造中止となっているものもあり、今後の修理対応が困難であること
 - ・装置内の配線やコネクタ等についても劣化が進んでいること
- などの理由から、装置の全面更新が必要です。

令和6年度から、更新する装置の仕様の検討や工事の積算を進めるため、設計業務を委託しており、令和7年度まで継続して事業を実施します。

■ 更新計画



(2 前年度から変更・見直した点)
継続事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)
「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」第9章 第87条第3項 運転保安設備の保持
横浜市高速鉄道信号通信設備整備心得

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費	11,898	24,024				35,922
債務負担設定	24,024					24,024

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
34 信号設備ユニット類更新作業(横浜)	0

(1 事業目的・内容)

①電子連動装置
 信号保安設備の一つである電子連動装置は、進路の構成や転つ機の鎖錠など、停車場において列車の安全運行を確保するための装置です。
 今回更新する横浜駅停車場の電子連動装置は、設置後約15年(2007年7月設置)が経過しており、電子連動装置の主要構成部品である各ユニットのコンデンサー、継電器その他の経年劣化部品(期待寿命10年)の更新を行うことで、信号保安設備の故障の未然防止および延命化を図ります。

②ATC装置
 信号保安設備の一つであるATC装置は、列車の在線位置を検知して、先行列車に衝突しないよう各区間の許容速度を決定して列車に送信し、列車の安全運行を確保するための装置です。
 今回更新する横浜停車場のATC装置は、設置後約15年(2007年7月)が経過しており、経年劣化部品(期待寿命10年)である各ユニット内のコンデンサー、ローターリースイッチ、電源コンバータ、継電器を更新することで、設備の機能維持および故障の未然防止を図ります。

③信号モニタ装置
 信号設備の一つである信号モニタ装置は、ATC装置や連動装置など各信号設備の状態を監視して故障や異常を表示するとともに、各信号設備の動作を記録して動作の解析や障害発生時の調査をおこなうためのモニタ装置です。
 今回更新する横浜停車場の信号モニタ装置は、設置後約15年(2007年7月)が経過しており、信号モニタ装置の主要構成部品であるファクトリーコンピュータはすでにメーカーのサポート期間も切れて交換部品が入手できず、修理ができない状態です。したがって、ファクトリーコンピュータや経年劣化部品(期待寿命10年)であるスイッチング電源や通信機器を更新することで、設備の機能維持および故障の未然防止を図ります。

R3年度 横浜信号機器室(設置後14年経過) 収益減少のため延期
 R4年度 横浜信号機器室(設置後15年経過) 収益減少のため延期
 R5年度 横浜信号機器室(設置後16年経過) 使用機材の長納期化の影響で延期
 R6年度 横浜信号機器室(設置後17年経過) 事業化
 R7年度 横浜信号機器室(設置後18年経過) 継続事業2年目
 R8年度 横浜信号機器室(設置後19年経過) 継続事業3年目(完了)

装置名	更新周期	2007										2027		
		平成19	令和1	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和17	令和18	
A T C ・ 連 動 ・ モ ニ タ	25年	設置			OH延期	OH延期	OH延期	OH予定	OH予定	OH予定			更新予定	更新予定
電源装置	25年	設置	BT済	OH済							BT予定	更新予定	更新予定	

BT：蓄電池のみ OH：ユニット類更新 更新：装置全体更新

(2 前年度から変更・見直した点)
 継続事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)
 「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」第9章 第87条 施設及び車両の保全
 横浜市高速鉄道信号通信設備整備心得

(4 除却資産の有無) (5 補助対象の有無)

有 有
 無 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費			330,000			330,000
債務負担設定	330,000					330,000

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
35 信号設備ユニット類更新作業(上永谷車両基地試運転線)	0

(1 事業目的・内容)

①ATC試験装置

信号保安設備の一つであるATC装置は、列車の在線位置を検知して、先行列車に衝突しないよう各区間の許容速度を決定して列車に送信し、列車の安全運行を確保するための装置です。

上永谷車両基地のATC試験装置は設置後約15年が経過しており、経年劣化部品(期待寿命10年)である各ユニット内のコンデンサー、ロータリースイッチ、電源コンバータ、継電器を更新することで、設備の機能維持および故障の未然防止を図ります。

②信号用電源装置

信号用電源装置は、ATC試験装置に安定した電力を供給するための装置です。

ATC試験装置と同様、設置後約15年が経過しており、経年劣化部品(期待寿命10年)である各ユニット内のコンデンサー、スイッチング回路等を更新することで、設備の機能維持および故障の未然防止を図ります。

R6年度 上永谷車両基地試運転線装置(設置後15年経過)

R7年度 上永谷車両基地試運転線装置(設置後16年経過)

R8年度 上永谷車両基地試運転線装置(設置後17年経過)



試験ATC送信架



直流電源装置

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

※車両基地の試運転線用設備で、営業線用設備ではないため、根拠法令なし

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費			106,832			106,832
債務負担設定	106,832					106,832

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
36 列車集中制御装置 中央装置延命化作業	

(1 事業目的・内容)

列車集中制御装置は、総合司令所からの制御情報を各駅の信号装置に送信するとともに、各駅の信号装置の状態を表示情報として総合司令所に送信するシステムです。
現在、中央装置に実装されているFAPCが、使用開始から10年経過しており、老朽化による故障が起こる恐れがあるため、FAPC内部の劣化部品の交換による延命化を図ります。



(2 前年度から変更・見直した点)
新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
37 1・3号線緊急停止装置改修委託	

(1 事業目的・内容)

緊急停止装置とは、駅のホームから旅客が転落するなど列車を緊急に停止させなければならない事態が発生した場合に、ホームに設置された押しボタンを扱うことで駅に進入、進出する列車を緊急停止させる装置です。
 旅客の安全確保のため非常に重要な装置ですが、すでに設置から20年が経過しており、経年劣化による動作不良が発生しています。しかし、不良の原因となっている装置内部の「水銀リレー」と呼ばれる部品は、環境規制の強化により、令和2年12月31日をもって製造禁止となっており、修理や新規購入は困難な状況です。
 このため、点検周期を年2回に増やし、不良箇所の早期発見を図っていますが、根本的な解決には改修が必要です。
 また、製作時の設計思想で、ボタンを2～3秒間押し続けなければならない仕様となっており、旅客が慌てて操作をした場合(ボタンを押してすぐに離れた場合)十分に動作しない可能性があるため、押した手ごたえのある押し込み式ボタンに装置を変更します。

R6年度	湘南台6台、立場6台、踊場6台、関内6台、桜木町4台	(5駅28台、予備2台)
◎ R7年度	下飯田6台、中田6台、港南中央6台、上大岡4台、弘明寺6台、蒔田6台、 阪東橋4台、センター南4台、センター北4台、あざみ野4台	(10駅50台、予備6台)
R8年度	舞岡6台、下永谷6台、伊勢佐木長者町4台、三ツ沢下町6台、中川6台	(5駅28台)
R9年度	三ツ沢上町6台、片倉町6台、岸根公園6台、新横浜4台	(4駅22台)

R9年度にて改修完了



緊急停止装置(既設)



緊急停止装置(新設)

(2 前年度から変更・見直した点)

交換のペースアップを図るため、R7年度は施工駅数を増やします。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)	{	2002-20-00183(港南中央)	(5 補助対象の有無)
		2001-20-00034の一部(上大岡)	
<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	{	2002-20-00181(弘明寺①)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
		2012-20-00317(弘明寺②)	
		2002-20-00179(蒔田)	
		2002-20-00175(阪東橋)	
		2001-20-00239の一部(センター南)	
		2001-20-00240の一部(センター北)	

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
38 4号線ホーム柵延命化のための部分更新	21,186

(1 事業目的・内容)

可動式ホーム柵は、プラットホームにおけるお客様の転落や列車との接触防止、また車両の戸挟みによる引きずり事故の防止のため、自動列車運転装置(ATO)を経由して車両と通信し、車両ドアと連動してドア開閉を行う装置です。グリーンラインの可動式ホーム柵は、平成20年3月に設置開始してから14年が経過しています。平成30年度から令和2年度にかけて、オーバーホールを実施し延命化を図っていますが、非常解錠ボタンおよび緊急停止ボタンについては、この作業の中では交換されていません。令和2年度には経年劣化した非常解錠ボタンが原因で障害が発生した実績があります。令和3年10月に他事業者で発生した車内傷害事件において、緊急事態発生時に可動式ホーム柵を軌道側から手で開けることの重要性が改めて認識されており、非常解錠ボタンが確実に動作することが必要です。また、緊急停止ボタンについては、お客様のホームからの転落や荷物等の投げ込みをはじめとして、列車を緊急に停止させる必要が生じた際に確実に動作することが必要です。これらの理由から、今回非常解錠ボタンおよび緊急停止ボタンの交換を実施します。



- ・非常解錠ボタン交換 48個×10駅=480個
- ・緊急停止ボタン交換 4個×10駅= 40個

なお、本件は令和5年度に実施予定でしたが、資材の長納期化の影響により、令和6年度から実施しています。

(2 前年度から変更・見直した点)

継続事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」第9章 第87条 施設及び車両の保全
横浜市高速鉄道信号通信設備整備心得

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費		21,186				21,186
債務負担設定	21,186					21,186

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村
(単位：千円)	
【事業内容】	7年度予算額
39 列車集中制御装置改修作業(新羽) その2	
<p>(1 事業目的・内容) 列車集中制御装置は、総合指令所からの制御情報を各駅の信号装置に送信するとともに、各駅の信号装置の状態を表示情報として総合指令所に送信するシステムです。 本作業は新羽駅の信号保安装置(ATC装置・連動装置)更新に伴い、更新後の装置を正常に動作させるために列車集中制御装置の改修を行う必要があります。</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点) 新規事業</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等) 「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」第9章 第87条第3項 運転保安設備の保持 横浜市高速鉄道信号通信設備整備心得</p> <p>(4 除却資産の有無) (5 補助対象の有無)</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 有 新羽信号機器室(R7) 1992-20-00387 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 無 </p>	

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位：千円)

【事業内容】	7年度予算額
40 下飯田安全報知箱無停電化	

(1 事業目的・内容)

安全報知箱とは横取り装置が動作した際にブザーを鳴動させることで、横取り装置の戻し忘れを防止する装置です。
また下飯田の脱線事故を受け、横取り装置は列車に対して信号を送信している自動列車制御装置(ATC)と連携しており、横取り装置動作中は、横取り装置がある軌道に停止信号を現示します。

【課題】

現在、下飯田に設置されている安全報知箱は、ずい道内のコンセント回路から電源を供給しています。コンセント回路が漏水や絶縁不良にて停電した際には、安全報知箱も停電するため、以下のリスクが生じます。

【安全報知箱の停電によるリスク】

①横取り装置の戻し忘れ

横取り装置を動作させた際のブザー鳴動ができなくなるため、横取り装置の戻し忘れに気が付かなくなるリスクがあります。

②停止信号の現示

安全報知箱が停電した場合は、横取り装置の実際の状態に関わらず、必ず停止信号を現示する仕様のため、運行支障のリスクがあります。

【対策】

安全報知箱の電源供給を、ずい道内のコンセント回路から無停電電源装置に切り替えます。無停電電源装置に接続することにより、停電後もバッテリーによる動作(無停電化)が可能となり、定時運行の安定化が期待されます。



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位：千円)

【事業内容】	7年度予算額
41 軌道モーターカー購入	

(1 事業目的・内容)

更新を計画している保守用モーターカーは、製造から25年が経過(1998年製造)し、故障が頻発しており修理部品の入手が困難な状況です。

そのため、経年故障の修理対応に苦慮することや、修理期間中はモーターカーが使用できないため、工事時期にも支障を及ぼすなどの問題が生じます。

一方、地下鉄の電気、信号、通信や機械を始めとする様々な設備の老朽化も進行しており、保守作業が不可欠な状況となっています。地下鉄のトンネル内や駅の設備を保守する場合、設備の性質・保守時間上モーターカーでの作業が必要になります。そのためにもモーターカーの健全性確保が課題となっています。この課題を解決するためにモーターカーを更新し、安全で効率的な保守作業や緊急・災害時の機動力確保を行います。

また、新型のモーターカーは既存のものよりサイズが大きく、現在のモーターカー車庫に入らないため、車庫の改修を行います。



号車	保管場所	用途	製造年
3号車	上永谷	電力	1998
4号車		信通	1998
11号車		工事	2016
12号車	新羽	電力	2018
13号車		信通	2019
14号車		工事	2020

①既存のモーターカー車庫を改修し、新型のモーターカーを格納できるようにします :R7契約、R7支払い

②モーターカーを購入します(工事用のトロを含みます) :R7契約、R8支払い

R6	R7	R8
MC庫設計	MC庫改修	
	MC製造	納車

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総額
事業費	5,000					
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
42 ブルーライン案内表示器更新	

(1 事業目的・内容)

案内表示器は、各駅のコンコースやホームに設置され、列車の行先や発車時刻を表示したり、列車の接近表示をするほか、列車の遅延情報や任意の案内文章なども表示している設備で、旅客サービスの向上を図るための案内設備です。

現在稼働中のブルーラインの案内表示器は、平成17年度から順次設置を進め、全駅のコンコースのほか、主要駅のホームに設置されました。その後、快速運転の開始に伴い、平成26年度には、それまで未設置であった箇所にも設置を行い、すべてのコンコース・ホームへの設置が完了しました。

初期に設置した表示器は、令和7年度で20年が経過し、機器の老朽化が進んでいます。特に、快速運転以前に設置した世代のものは、文字を表示させるLEDパネルや制御基板（中央装置と通信を行いLEDパネルの表示を制御するもの）に使用されている部品の製造が既に終了しており、故障しても修理や同一品の製造ができない状況であるため、保有している予備品の在庫が無くなると、故障した表示器の修理ができないため、旅客サービスを大きく低下させてしまいます。

既設の表示器は、ドットマトリクスLEDパネルを使用しており、基本的に文字色は赤・緑・橙の3色のみで、決められたサイズの文字情報しか表示できないものですが、更新後の表示器には、表現力が高く、ユニバーサルデザインへの配慮にも対応できる液晶ディスプレイタイプを採用します。

更新スケジュールの考え方は、設置時期の古いものから更新することを基本とし、予算の平準化を図るため、複数の発注単位に分割した発注としていく計画です。



【事業スケジュール】

	R7	R8	R9	R10	R11	R12	予定駅数
第1期							17駅
第2期							15駅

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
43 総合司令所放送卓交換作業委託	

(1 事業目的・内容)

総合司令所にはブルーライン用及びグリーンライン用の放送卓が設置されています。
この放送卓は全ての駅の放送装置と接続されており、司令員は、任意の駅のホームに対して、総合司令所から直接、肉声で放送をすることが可能となっています。

災害等により駅構内で混乱が発生している場合には、この放送卓を通して、司令員が直接、駅ホームにいるお客様や駅係員に呼びかけを行う等の利用が想定されており、保安上重要な設備です。
また、終車後の「き電停止放送」(線路内への立ち入りが可能となったこととの連絡)は、動作確認も兼ねて、この放送卓から行われており、通常業務としても毎日使用しています。

ブルーラインでは総合司令所開設(平成14年)から、グリーンラインでは開業当初(平成20年)から使用し続けており、現時点で重大な故障は発生していないものの、経年により部品劣化が進んでいるものと考えられます。※1
(※1…この放送卓は特注品であり、メーカー推奨交換周期は設定されていませんが、放送先である駅放送設備(非常放送設備)のメーカー推奨交換周期は一般に12年です。)

以上の理由から、設備の予防保全のため、ブルーライン用及びグリーンライン用の放送卓を新しいものに交換します。



ブルーライン放送卓



グリーンライン放送卓



(2 前年度から変更・見直した点)

新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

総合司令所からの要望による

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
44 1・3号線運行管理システム 対ATO伝送装置交換作業委託	

(1 事業目的・内容)

運行管理システムは、運輸司令業務の効率化と旅客案内サービスの向上をはかるために、電子計算機を使用して列車の運行制御、運行実績記録、在線状況表示、案内放送および案内表示の制御を自動的に行う装置です。

ブルーライン運行管理システムでは、システムがATO(自動列車運転)装置と連携することで、次のような機能を実現しています。

- ◆次駅の到着予定番線などのダイヤ情報を、車上ATO装置(列車に搭載されたATO装置)に伝送する。
- ◆車上ATO装置から列車番号等の情報を受け取り、ダイヤとの照合に使用する。
- ◆出発表示器を制御し、出発時機を運転士に知らせる。
- ◆列車がドアを開けたタイミングでホームの案内放送を流す。

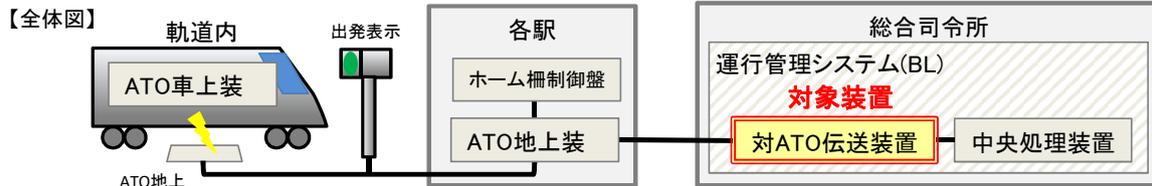
連携が行えない場合は次のような影響があります。

- ◇出発表示器が点灯しなくなる。(ワンマン支援機能が利用できないため運転士の負担増)
- ◇列車がダイヤと異なる列車番号・種別・行先を表示していても警告が出ない。(旅客サービス低下、他の業務へ支障の恐れ)
- ◇車内放送でどちらのドアが開くかの案内ができなくなる。(旅客サービス低下)
- ◇案内放送のタイミングがずれる。(旅客サービス低下)

対ATO伝送装置は、運行管理システム中央処理装置と各駅のATO装置との通信を仲介するもので、両者を連携するために重要な装置ですが、ワンマン運転化に先立ち平成18年度から稼働しており(稼働開始から19年)、装置を構成する計算機の製造は打ち切られており、部品が入手できないため修理もできない状況となっています。

以上の理由から、輸送の安定性を維持するため、対ATO伝送装置を新規に製作し、交換します。

交換は2か年かけて実施し、1年目に機器製作及び工場試験、2年目に交換作業を行います。



(2 前年度から変更・見直した点)

新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

- 有 2007-20-00798, 2007-20-00799, 2007-20-00813
 有
- 無
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位：千円)

【事業内容】	7年度予算額
45 4号線運行管理システム 中央及び駅装置交換作業委託	

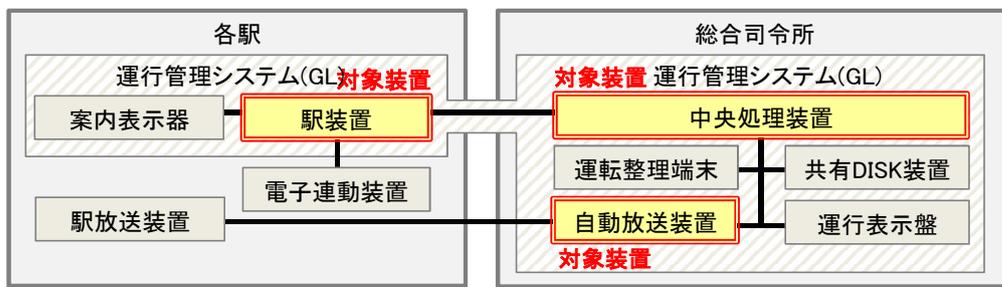
(1 事業目的・内容)

運行管理システムは、運輸司令業務の効率化と旅客案内サービスの向上をはかるために、電子計算機を使用して列車の運行制御、運行実績記録、在線状況表示、案内放送および案内表示の制御を自動的に行う装置です。

グリーンライン運行管理システムは、中央装置・駅装置のどちらもグリーンライン開業(平成20年)から運用しており、メーカーの交換推奨期間は15年のところ、稼働開始から17年が経過しています。システムを構成する計算機の製造は既に打ち切られており、部品が入手できないため修理が不可能となっている基板が装置内に存在します。
以上の理由から、運輸の安定性を維持するため、これらの機器を新規に製作して交換します。

グリーンラインの運行管理システムの特徴として、総合司令所に中央処理装置を、各駅に駅装置を設置する構成となっています。中央処理装置は、駅装置を通して各駅の信号機器等と直接通信しています。
中央処理装置と駅装置の間は保安に関する重要な情報の伝送を行っており、新旧の機器や通信方式が混在した場合には予期しない動作をする恐れがあるため、中央処理装置及び駅装置の両方を交換します。

また、自動放送装置についても、既設のモデルは製造が打ち切られているため、中央処理装置の通信方式に対応した機種に交換します。



(2 前年度から変更・見直した点)

新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

- | | | |
|---------------------------------------|---|---------------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 有 | 2007-20-03377, 2007-20-03387, 2007-20-03386 | <input type="checkbox"/> 有 |
| <input type="checkbox"/> 無 | 2007-20-03385, 2007-20-03384, 2007-20-03383 | <input checked="" type="checkbox"/> 無 |
| | 2007-20-03374, 2007-20-03381, 2007-20-03389 | |
| | 2007-20-03379, 2007-20-03378 | |

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位：千円)

【事業内容】	7年度予算額
46 1・3号線音声系ネットワークほか機器更新作業委託(横浜駅ほか)	0

(1 事業目的・内容)

音声回線用の光LAN装置は、ブルーライン、グリーンライン、及び車両基地の全箇所に設置されていて、音声系光ネットワークを構築しています。これらは、列車運行に関する列車無線設備、総合司令所からの指令電話設備、鉄道電話設備、及びお客様案内放送等に使用されていて、安全運行とお客様サービスにおいて必要不可欠な設備です。

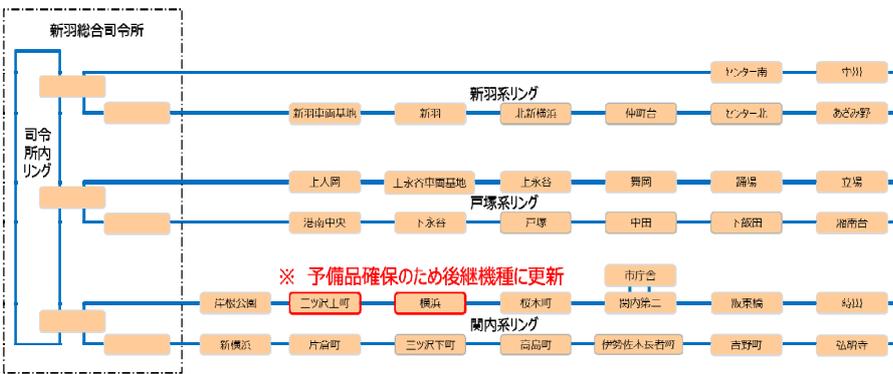
この音声系ネットワークを構成する光LAN装置の内、ブルーラインに設置のものは設計から10年が経過しており、メーカー保守製品の製造が終了しているため、故障が発生した場合は、長期間の動作停止となる場合があります。

以上の理由により、横浜駅・三ツ沢上町駅の光LAN装置を後継機種に更新し、撤去品を予備品として確保します。

また、YCANネットワークと総合設備ネットワークの誤接続が多発しており、その度に案内表示器やITVカメラ等の設備が停止し、お客様サービスや駅・司令所の業務に多大なる影響を及ぼしております。

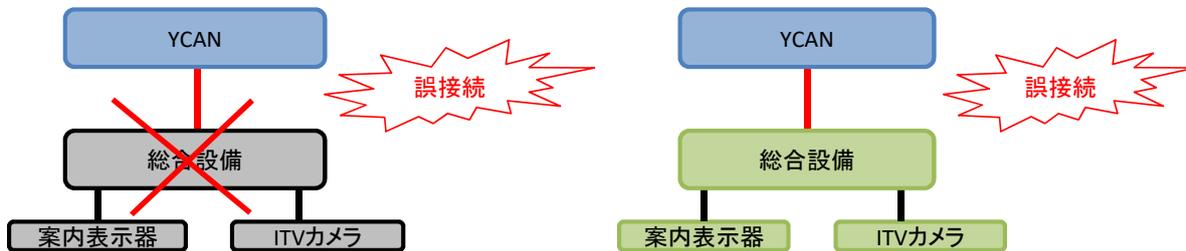
以上の理由により、万が一誤接続が発生した場合でも案内表示器やITVカメラなどの設備が停止しないようにするため、総合設備ネットワークの設定変更を行います。

【音声系ネットワーク機器更新作業】



【総合設備ネットワーク設定変更作業】

現状：YCANと総合設備を誤接続した場合、総合設備が停止する。変更後：YCANと総合設備を誤接続した場合でも総合設備は停止しない。



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

信号通信設備整備心得
通信設備更新計画

(4 除却資産の有無)

■ 有
□ 無

(5 補助対象の有無)

□ 有
■ 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
47 放送装置更新(中山駅・高田駅)	33,000

(1) 事業目的・内容

【目的】

老朽化した放送設備では修理部品が製造中止となり、故障が発生した場合は長時間に渡り駅全体の放送が停止してしまいます。また、非常放送装置が停止すると、火災時等の警戒放送ができなくなり、乗降促進放送も鳴動しなくなり、消防法違反と列車運行支障となります。
よって、放送設備の機能を維持し、駅の放送業務と旅客案内サービスを維持します。

【目標】

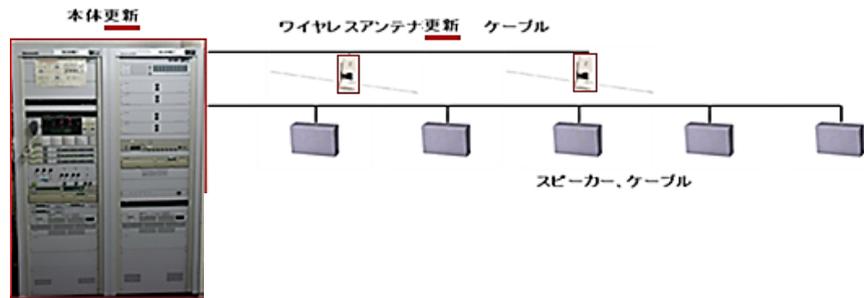
機器の更新について、推奨更新周期が12年です。今後は故障頻度の多くなる15年～18年程度を目安に更新計画表をもとに更新を行います。
軽度な不具合等が出た場合は、部品の交換・修理等することで機器の延命措置をしてきましたが、設置後16年以上が経過している高島町・吉野町については、R5年度に更新の発注を行います。

【課題】

現在の放送設備は現行消防法に対応済みのため最小限の設備の更新とし、スピーカーやスピーカーケーブルは既設を再使用してコスト縮減を図りつつ、計画的に放送装置の更新を進捗させます。

【機器構成】

非常放送機・本体	更新
スピーカー	更新
ケーブル類	対象外
ワイヤレス機器	更新
自火報連動盤	対象外



【更新計画】

R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
戸塚 R04更新予定	高島町 H16更新	中山 R07更新	中山 R07更新			
(中山) H19導入	吉野町 H16更新	高田 R07更新	高田 R07更新			
	(中山) H19導入					
	(日吉本町) H19導入					
	(日吉) H19導入					
事業費	55,000	55,000				

※()は予算化できなかった駅

※4号線の更新は、3台ずつ行わないと2台ずつでは、経過年数が22年かかってしまいます。(最長20年)

(2) 前年度から変更・見直した点

施工時期平準化を目的とした施工期間1年未満工事の債務負担設定を適用

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等

消防法および横浜市火災予防条例

(4) 除却資産の有無

(5) 補助対象の有無

■ 有 中山 2021-20-00078 放送設備
□ 無 高田 2021-20-00113 放送設備

□ 有
■ 無

(6) 年次表

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総額
事業費	22,000	33,000				55,000
債務負担設定	33,000					33,000

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
48 放送装置更新(東山田駅ほか2駅)	

(1 事業目的・内容)

【目的】

老朽化した放送設備では修理部品が製造中止となり、故障が発生した場合は長時間に渡り駅全体の放送が停止してしまいます。また、非常放送装置が停止すると、火災時等の警戒放送ができなくなり、乗降促進放送も鳴動しなくなり、消防法違反と列車運行支障となります。

よって、放送設備の機能を維持し、駅の放送業務と旅客案内サービスを維持します。

【目標】

機器の更新について、推奨更新周期が12年です。今後は故障頻度の多くなる15年～18年程度を目安に更新計画表をもとに更新を行います。

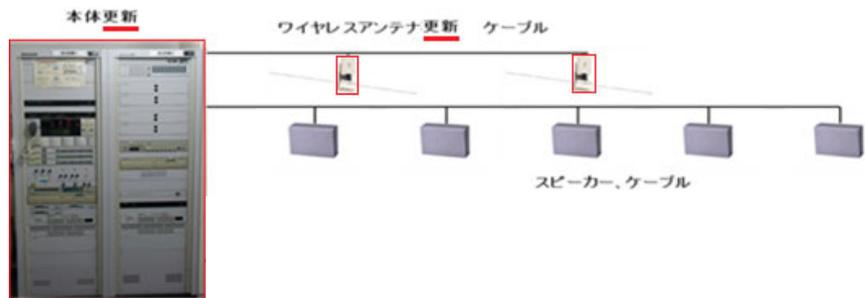
軽度な不具合等が出た場合は、部品の交換・修理等することで機器の延命措置をしてきましたが、設置後16年以上が経過している中山駅他1駅については、R6年度に更新の発注を行います。

【課題】

現在の放送設備は現行消防法に対応済みのため最小限の設備の更新とし、スピーカーやスピーカーケーブルは既設を再使用してコスト縮減を図りつつ、計画的に放送装置の更新を進捗させます。

【機器構成】

非常放送機・本体	更新
スピーカー	対象外
ケーブル類	対象外
ワイヤレス機器	更新



【更新計画】

R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
戸塚 R04更新	高島町 H16更新	中山 H19導入	東山田 H19更新	センター南 H19更新	日吉 H19導入	あざみ野 H24更新
(中山) H19導入	吉野町 H16更新	高田 H19導入	北山田 H19導入	センター北 H19導入	日吉本町 H19導入	中川 H24更新
	(中山) H19導入		川和町 H19導入	都筑ふれあいの丘 H19更新	横浜 H20更新	桜木町 H22更新
	(日吉本町) H19導入					
	(日吉) H19導入					
事業費	55,000	55,000				

※()は予算化できなかった駅

※4号線の更新は、3台ずつ行わないと2台ずつでは、経過年数が22年かかってしまいます。(最長20年)

(2 前年度から変更・見直した点)

施工時期平準化を目的とした施工期間1年未満工事の債務負担設定を適用

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

消防法および横浜市火災予防条例

(4 除却資産の有無)

■ 有	東山田	2021-20-00113	放送設備
□ 無	北山田	2021-20-00106	放送設備
	川和町	2021-20-00273	放送設備

(5 補助対象の有無)

□ 有
■ 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位：千円)

【事業内容】	7年度予算額
49 ITVカメラネットワーク化工事(中川駅ほか)	

(1 事業目的・内容)

【目的】

現在、GL全駅とBL主要駅のホーム映像は司令所から監視することができますが、今後はその対象を拡大し、司令所がいち早く駅の様態を把握し、乗務員や駅係員に的確な指示が出せるよう整備していきます。

また、お客様が駅構内で不審物や不審者を発見した場合や、トラブル発生時、急病人を見かけた際に、迅速に駅係員に連絡が出来るよう連絡手段を確保します。

【目標】

- ・BLの駅は非監視部が多く存在するため、ホームを含め監視範囲を増加させます。
- ・BLではアナログカメラとネットワークカメラが混在している駅があり、カメラの監視や保守業務が煩雑になっています。また、現在設置されているアナログカメラは老朽化がすすみ、故障が発生した場合はカメラが長期間停止する場合があります。

そこで、ネットワークカメラに更新・統合することにより、監視機能の強化及び効率化を図りつつ、高画質化します。

【課題】

現在設置されているアナログカメラは製造が終了している物もあり、故障が発生した場合は長期間監視できない場所が生じます。このため、ITVカメラのネットワークカメラ化を順次進めていきます。令和7・8年度は、更新計画に基づき、中川駅、伊勢佐木長者町駅、吉野町駅、蒔田駅、弘明寺駅、港南中央駅についてITVの更新とインターホンの設置を行います。

また、ネットワークカメラ化のために構築する駅構内のネットワークを利用し、IPインターホンを設置します。



駅の様態を、既設ネットワークを利用して司令所や駅事務室で監視



R5・R6予定	R6・R7予定	R7・R8予定	R8・R9予定
三ツ沢上町	仲町台	中川	センター北
三ツ沢下町	新羽	伊勢佐木長者町	センター南
横浜	北新横浜	吉野町	関内
高島町	岸根公園	蒔田	上永谷
踊場	片倉町	弘明寺	下永谷
湘南台	中田	港南中央	舞岡
			下飯田

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)
駅務管理所からの要望

(4 除却資産の有無)

■ 有
□ 無

(5 補助対象の有無)

□ 有
■ 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位：千円)

【事業内容】	7年度予算額
50 ITVカメラネットワーク化工事(仲町台駅ほか)	

(1 事業目的・内容)

【目的】

現在、GL全駅とBL主要駅のホーム映像は司令所から監視することができますが、今後はその対象を拡大し、司令所がいち早く駅の状況を把握し、乗務員や駅係員に的確な指示が出せるよう整備していきます。

また、お客様が駅構内で不審物や不審者を発見した場合や、トラブル発生時、急病人を見かけた際に、迅速に駅係員に連絡が出来るよう連絡手段を確保します。

【目標】

- ・BLの駅は非監視部が多く存在するため、ホームを含め監視範囲を増加させます。
- ・BLではアナログカメラとネットワークカメラが混在している駅があり、カメラの監視や保守業務が煩雑になっています。また、現在設置されているアナログカメラは老朽化がすすみ、故障が発生した場合はカメラが長期間停止する場合があります。

そこで、ネットワークカメラに更新・統合することにより、監視機能の強化及び効率化を図りつつ、高画質化します。

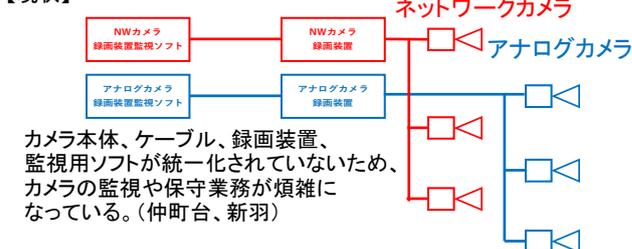
【課題】

現在設置されているアナログカメラは製造が終了している物もあり、故障が発生した場合は長期間監視できない場所が生じます。このため、ITVカメラのネットワークカメラ化を順次進めていきます。令和6・7年度は、更新計画に基づき、仲町台駅、新羽駅、北新横浜駅、岸根公園駅、片倉町駅、中田駅についてITVの更新とインターホンの設置を行います。

また、ネットワークカメラ化のために構築する駅構内のネットワークを利用し、IPインターホンを設置します。

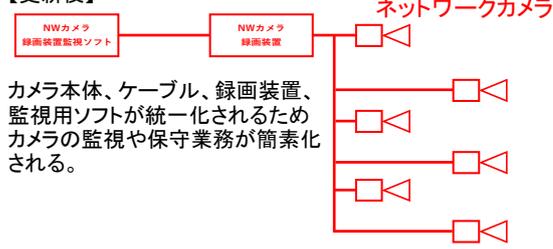


【現状】



カメラ本体、ケーブル、録画装置、監視用ソフトが統一化されていないため、カメラの監視や保守業務が煩雑になっている。(仲町台、新羽)

【更新後】



カメラ本体、ケーブル、録画装置、監視用ソフトが統一化されるためカメラの監視や保守業務が簡素化される。

R5・R6 予定	R6・R7 予定	R7・R8 予定	R8・R9 予定
三ツ沢上町	仲町台	中川	センター北
三ツ沢下町	新羽	伊勢佐木長者町	センター南
横浜	北新横浜	吉野町	関内
高島町	岸根公園	蒔田	上永谷
踊場	片倉町	弘明寺	下永谷
湘南台	中田	港南中央	舞岡
			下飯田

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)
駅務管理所からの要望

(4 除却資産の有無)

- 有
- 無

(5 補助対象の有無)

- 有
- 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費	69,149					
債務負担設定	95,474					95,474

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
51 4号線列車無線装置更新	0

(1 事業目的・内容)

● グリーン列車無線装置

列車無線装置は、安全の確保と円滑な運行管理を保つために司令所一列車間で情報を伝達するための無線装置です。通話以外の主な機能として、

- ・ 一斉停止(司令所から全列車を緊急停止させる)
- ・ 非常通報(乗客が客室に設置されている非常通報装置から司令所を呼び出す)
- ・ 一斉放送(司令所から各列車に一斉に放送する)
- ・ 地震通報(地震発生時に各列車へ自動通報する)
- ・ 防護発報(事故発生時等、運転士が近辺の列車を停止させる。ワンマン運転での必須機能)等があります。

● 地上装置更新について

本装置は平成19年3月の開業以来使用しており、現行の列車無線装置に対応できる携帯防護無線機の増設・修理が困難となっています。

携帯防護無線機が不足するとグリーンラインでワンマン運転が行えず、運用に多大な影響を及ぼします。また中央装置・基地局等の地上装置も老朽化していることから、これらの機器を更新します。



中央装置
(司令所機器室)



基地局
(信号通信機器室)



携帯防護無線機

【事業計画】

年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
経過年数	17	18	19	20
地上装置		機器製作	機器設置	試験調整 ★新旧切替 旧装置撤去

(2 前年度から変更・見直した点)

令和7年度～令和9年度までの事業費の割り振りを変更

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令 60条

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費			443,300	284,207		727,507
債務負担設定	727,507					727,507

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
52 1・3号線対列車画像伝送装置更新工事	0

(1 事業目的・内容)

本設備はワンマン運転の支援設備で、ホーム撮影用CCTVカメラで撮影したお客様の乗降画像を、ミリ波送信装置を使用した無線電波で車上传送するものです。運転士は、運転台の車上TVモニター装置に映し出される映像を確認し、ホーム柵及び列車扉の開閉操作を行います。

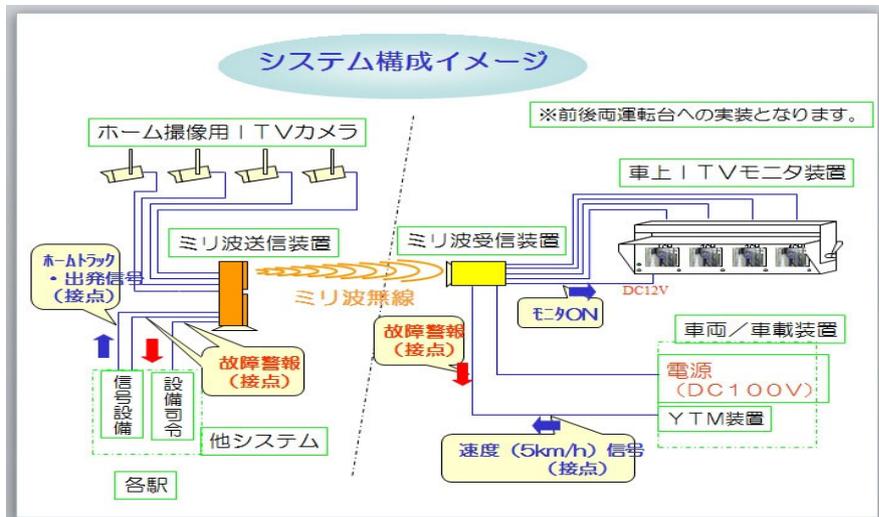
現在ミリ波送信装置は設置から16年経過しています。そのため故障頻度が高くなっており、保守作業(メンテナンス)に支障が生じている状況です。

また、対列車画像伝送装置が故障した場合、安全上の理由からホーム柵及び列車扉の開閉操作に駅員が必ず立ち会うことになり、ワンマン運転や駅業務に支障が生じます。

以上の理由により、ミリ波送信機、分岐架(カメラ映像分配器)を更新します。

なお、コロナ禍の影響によりミリ波送信装置は機器納期に2年を要するため、1・3号線全線の更新には計4年を要することを見込んでいます。

【ミリ波送信機】



(2 前年度から変更・見直した点)

令和7年度～令和9年度までの事業費の割り振りを変更

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

信号通信設備整備心得

(4 除却資産の有無)

- 有 対列車画像伝送装置
- 無 2007-20-00569
- 2007-20-00571～00586
- 2007-20-00593～00594
- 2007-20-00605～00606
- 2007-20-00608～00618

(5 補助対象の有無)

- 有
- 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位：千円)

【事業内容】	7年度予算額
53 列車接近警報装置更新	75,603

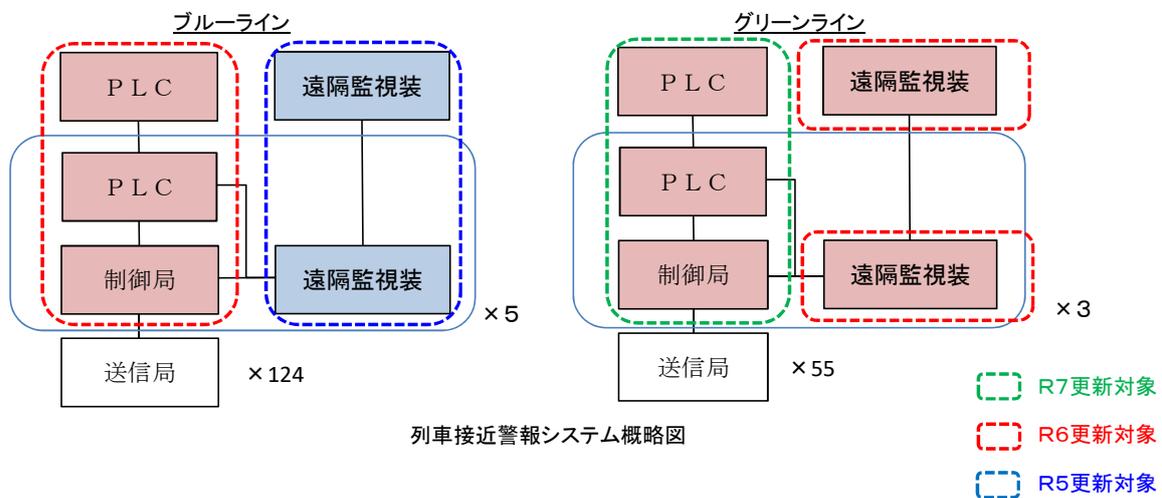
(1 事業目的・内容)

概要

列車接近警報装置は、営業中に保守作業員が軌道内に立ち入る際に端末を持ち運び、司令所中央装置から伝送された列車接近情報を基に各駅基地局の送信局から端末に列車接近を警報し、保守作業員が安全に待避するための装置です。
列車接近警報装置は、設置からBLで14年、GLで10年が経過しており、遠隔監視装置やPLC(制御装置)の修理ができない状況になっているため、保守作業(メンテナンス)に支障が生じている状況です。

更新計画

R5に主にサーバー・PCで構築されBL遠隔監視装置の更新を行います。(発注済)
R6は主PLC(制御装置)で構成されたBLの全制御局と、GLの遠隔監視装置の更新を行っています。
R7はGLの全制御局の更新を予定しております。
※当初はR6をBL、R7をGLの更新で計画していましたが、一括更新とすることにより費用を削減しました。



列車接近警報システム概略図

(2 前年度から変更・見直した点)
更新計画の見直し

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)
信号通信設備整備心得

(4 除却資産の有無)

- 有 列車接近警報装置
- 無 2009-20-00192~00193
- 2009-20-00195
- 2009-20-00672
- 2009-20-00683
- 2009-20-00686
- 2012-20-00206~207
- 2012-20-00210
- 2012-20-00260~00261

(5 補助対象の有無)

- 有
- 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総額
事業費	113,322	75,603				188,925
債務負担設定	75,548					75,548

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位：千円)

【事業内容】	7年度予算額
--------	--------

54 保守用無線更新

(1 事業目的・内容)

保守用無線局は、保守上の業務連絡に用いるほか、大規模災害発生時などの緊急連絡手段として、総合司令部や各保守管理所に通信所を置くほか、保守管理所の緊急自動車への車載局や携帯局などが配備されています。

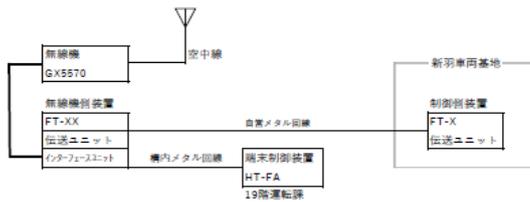
しかし、

- 本庁本部の基地局無線機は11年経過しており、老朽化が進んでいる。
 - 現在の機種は製造中止であり、修理パーツの供給体制に懸念が生じる。
- 以上のことから、無線局の更新を計画的に進めていきます。

新基地局無線機の仕様

- 無線部・遠隔部が専用の一体型ではなく、細分化されているため、部分的な拡張性が高い。
- 専用設計ではなく、汎用品であるため、コストが安い。

「よこはまこうつうほんぶ」
機器構成図



●課題

- ・各保守管理所に配置している基地局を古い物から順次更新していく。

保守用無線電話装置更新 (予定)

年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
更新内容	・横浜交通4局 ・上永谷構内27局 (乗管、信号扱所)	横浜交通本部 基地局	・上永谷基地局 ・新羽構内基地局	横浜交通 新羽基地局	・車載局8局	・車載局3局 ・携帯局7局
合計	31 局	1 局	2 局	1 局	8 局	10 局

●現況数量

- ・基地局 4局 【市庁舎25W、踊場10W、センター南10W、上永谷基地5W】

- ・移動局108局
 - （車載11局（上永谷4局、新羽4局、川和3局） 【25W、10W】）
 - （携帯97局（上永谷42局、新羽36局、川和16局、市庁舎3局） 【5W、1W】）

●保守無線系統図
(■構内無線系統図)



(2) 前年度から変更・見直した点

携帯局の更新が終わったため、基地局を順次更新していく

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等

電波法施行規則第2条
無線設備規則別表第3号

(4) 除却資産の有無

- 有
 無

(5) 補助対象の有無

- 有
 無

(6) 年次表

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総額
事業費	3,300					
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位：千円)

【事業内容】	7年度予算額
--------	--------

55 光LAN用無停電電源装置更新

(1 事業目的・内容)

光LAN装置は、列車無線、指令電話、自動案内放送などの音声データや、設備指令、ATOなどのデータを伝送する基幹光伝送路を構成する装置です。装置本体を設置してから10年以上が経過し、前回の鉛蓄電池の更新からも5年が経過します。無停電電源装置の機器寿命は10年であり、来年度は機器寿命を超えてしまうので、更新が必要です。このため、光LAN用無停電電源装置本体3台の購入・更新、1台のバッテリー交換、市庁舎用UPSバッテリー及び冷却ファン交換を行います。

光LAN用無停電電源装置 更新計画

単位：台

年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
台数	3	3	3	6	6

【更新予定】

光LAN用無停電電源装置 本体

桜木町駅

伊勢佐木長者町駅

阪東橋駅

光LAN用無停電電源装置 バッテリー

新横浜駅

UPSバッテリー及び冷却ファン交換作業

市庁舎19階通信機器室

市庁舎屋上無線局

(2 前年度から変更・見直した点)

機器価格の高騰に伴う費用の増
市庁舎UPSバッテリー及び冷却ファン交換作業の追加

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

所管電気区の要望
運転保安設備実施基準
信号通信設備整備心得
通信設備更新計画

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

- 有 無停電電源装置 桜木町駅 2015-20-00338 有
 無 無停電電源装置 伊勢佐木長者町駅 2015-20-00340 無
 無 無停電電源装置 阪東橋駅 2015-20-00341

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総額
事業費	5,662					
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
--------	--------

56 鉄道電話FAX子機更新

(1 事業目的・内容)

鉄道電話FAXは、指令所・駅事務室・保守区に設置されており、他社線運行状況の連絡、振替輸送の連絡、工事や作業予定の連絡等に使用する重要な設備です。

また、各所に設置している一部のFAXについては、メーカー保守部品の供給期間が終了しており、故障発生時に修理が行えない状況です。今後、経年劣化により故障発生頻度が高まり、多数発生時にはFAXを使用できず、お客様案内や地下鉄保守作業に支障する恐れがあります。

このため、更新計画に基づき、令和7年度は、10台の更新を行います。

上永谷電気区管内	全25台(内3台更新対象)
新羽電気区管内	全32台(内7台更新対象)
川和電気区管内	全14台(更新無し)
合計 全71台(内10台更新対象)	

【内訳】

項目	単位	単価	数量	合計
FAX子機	台		10	
税(10%)	式		1	
計				

(2 前年度から変更・見直した点)

機器価格の高騰にともなう費用の増

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

所管電気区の要望
信号通信設備整備心得
通信設備更新計画

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

- 有 あざみ野駅 2012-20-00232 新横浜駅2013-20-00550 有
 無 岸根公園駅 2013-20-00551 片倉町駅2012-20-00222 無
 三ツ沢上町駅 2013-20-00552 三ツ沢下町駅2013-20-00553
 横浜駅 2014-20-00189 港南中央駅 2012-20-00185
 上永谷駅 2012-20-00186 戸塚駅 2012-20-00187

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費	2,662					
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
58 総合司令所ITVモニタ移設	

(1 事業目的・内容)

【目的】

総合司令所ITVモニタは各駅に設置されているITVカメラの映像を監視するためにあります。司令所がいち早く駅の状態を把握し、乗務員や駅係員に的確な指示が出せるようモニタの配置を整備していきます。

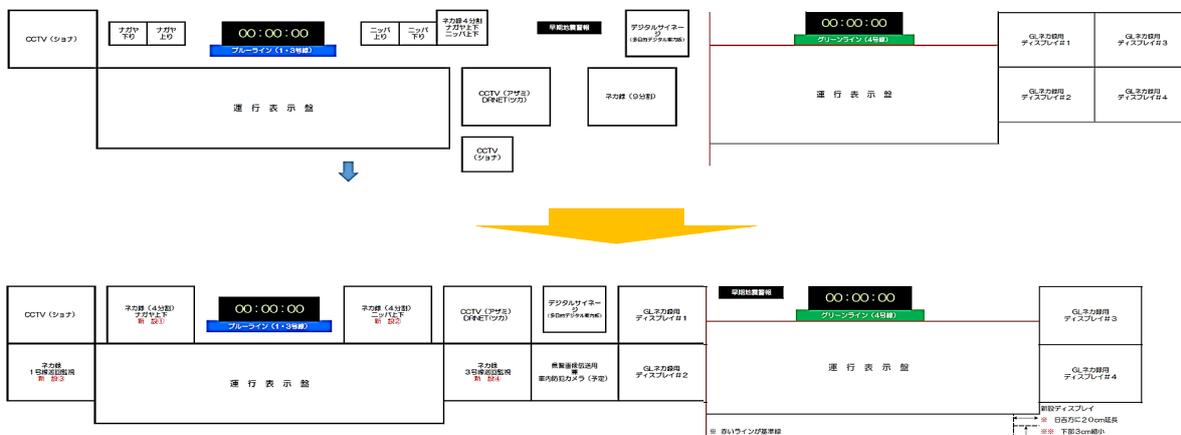
【内容】

- ・カメラ映像を一元化し、監視しやすくするため、大型のモニタを新設します。
- ・カメラ映像を運行表示盤に対応させるため、モニタを移設します。

【課題】

BLの運行表示盤上のモニタは23インチとなっており、表示できる映像数に限りがあります。表示できる映像数を増やし、司令所が指示を出しやすくするために現況モニタを撤去し、55インチのモニタを新設します。

現在、GLの運行表示盤の右側に監視用モニタが4枚並んでおり、運行表示盤に対応した映像表示になっていません。モニタを移設し、運行表示盤の両側に設置することで、運行表示盤の左のモニタで中山駅の映像、右のモニタで日吉駅の映像を監視できるようにし、運行表示盤に対応したモニタ配置にします。



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)
総合司令所の要望

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
-------------	--------

59 誘導通信線更新工事

(1 事業目的・内容)

誘導通信線は、安全の確保と円滑な運行管理を保つために司令所-列車間で情報を伝達するための通信用ケーブルです。
 1号線の誘導通信線のうち、戸塚～湘南台間は設置から26年、上永谷～舞岡間は設置から45年経過しており、地上部約6kmについては特に劣化が激しく、ケーブルの被覆が破れている状態です。このため、降雨時には絶縁抵抗が低下し、誘導雷による絶縁破壊や漏電により回線品質が劣化し、場合によっては司令所-列車間の通話ができなくなります。列車無線が使用できないと列車を運行させることができないため、予防保全としてケーブルを更新します。
 また、現在使用していない保安電話用のケーブルについても、順次撤去します。

誘導通信線 1号線明かり区間6kmをR7年度、R8年度の2か年で更新
 保安電話用ケーブル 誘導通信線更新と同区間を撤去

※平成5年度に開業した新横浜～あざみ野の明かり区間約12kmについては令和元年、2年、5・6年の3か年で更新完了しています (R5・6年度分については11月完了予定)

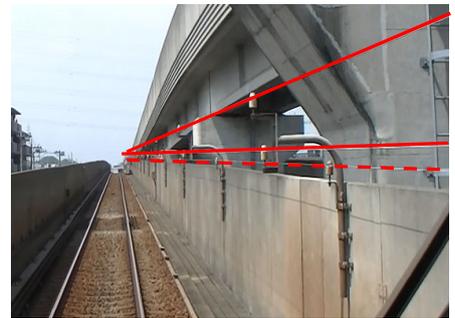
【内訳】

	数量
誘導線更新	3 km
保安線撤去	3 km
試験調整他	一式

【年次計画】

(単位:km)

年度	7	8	合計
誘導線更新	3	3	6
保安線撤去	3	3	6



— 誘導通信線
 - - - 保安電話

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令 11条、60条、86条

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、辻、和田、大村

(単位：千円)

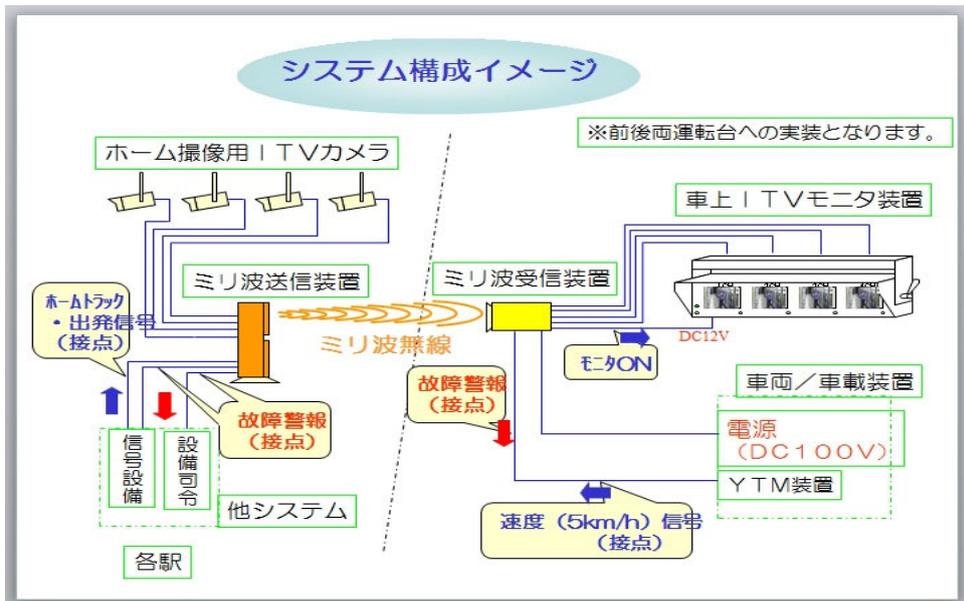
【事業内容】	7年度予算額
60 1・3号線CCTVカメラほか更新作業委託	0

(1 事業目的・内容)

本設備はワンマン運転の支援設備で、ホーム撮影用CCTVカメラで撮影したお客様の乗降画像を、ミリ波送信装置を使用した無線電波で車上传送するものです。運転士は、運転台の車上TVモニター装置に映し出される映像を確認し、ホーム柵及び列車扉の開閉操作を行います。

CCTVカメラは更新してから8年経過しています。そのため故障頻度が高くなっており、保守作業(メンテナンス)に支障が生じている状況です。CCTVカメラが故障した場合は、安全上の理由からホーム柵及び列車扉の開閉操作に駅員が必ず立ち会うことになり、ワンマン運転や駅業務に支障が生じます。

以上の理由により、CCTVカメラ更新します。乗降監視がしづらいため安全を確保できない駅については、CCTVカメラを増設します。また、CCTVカメラの更新に伴い、新しいカメラに適合した録画装置に更新します。録画装置を更新することにより、CCTVカメラの映像を駅事務室で確認できるようになるため、乗降監視用だけではなく防犯用にも用途が広がります。



【CCTVカメラ】



(2 前年度から変更・見直した点)
CCTVカメラの増設要望により更新計画を見直し

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)
信号通信設備整備心得
運転課からの要望

(4 除却資産の有無)

- 有 CCTVカメラ
- 無 2016-20-00667~00698

(5 補助対象の有無)

- 有
- 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：上永谷保守管理所 担当者名：笠原

(単位：千円)

	7年度 A	6年度 B	増△減(A-B)
予算額	6,300	0	6,300

(単位：千円)

【事業内容】	7年度予算額
1 庁用自動車更新(ディーゼル車)	
(1 事業目的・内容)	
<p>上永谷保守管理所で、主に地下鉄車両障害やシート汚損交換時の緊急出動に使用します。 現存車は平成15年購入。前回更新から21年経過しており、経年劣化に伴い修理費の増加、緊急時の使用に困難が生じていることから、更新することとします。</p>	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)
<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

(単位：千円)

【事業内容】	7年度予算額
2 庁用自動車更新(ハイブリッド車)	
(1 事業目的・内容)	
<p>上永谷保守管理所で、鉄道施設整備・補修のため出動に使用します。 現存車は平成20年購入。前回更新から16年経過しており、経年劣化に伴い修理費の増加、緊急時の使用に困難が生じていることから、更新することとします。</p>	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)
<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：川和保守管理所 担当者名：永田・高野

(単位:千円)

	7年度 A	6年度 B	増△減(A-B)
予算額	5,410	0	5,410

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額																				
1 応急自動車における次世代自動車等の導入(2台)																					
<p>(1 事業目的・内容)</p> <p>① 川和保守管理所電気区の軽自動車をHVの軽自動車に更新します。</p> <table border="0"> <tr> <td>【応急自動車概要】</td> <td>【更新後】</td> </tr> <tr> <td>・車両名称 日産 ADバン</td> <td>→ HV軽自動車</td> </tr> <tr> <td>・乗車定員 5人</td> <td>→ 4人</td> </tr> <tr> <td>・初度検査年月 平成25年11月</td> <td></td> </tr> </table> <p>② 川和保守管理所検修区の自動車をEVの軽自動車に更新します。</p> <table border="0"> <tr> <td>【応急自動車概要】</td> <td>【更新後】</td> </tr> <tr> <td>・車両名称 日野 デュトロ</td> <td>→ EV軽自動車</td> </tr> <tr> <td>・乗車定員 3人</td> <td>→ 4人</td> </tr> <tr> <td>・初度検査年月 平成15年9月</td> <td></td> </tr> </table> <p>「横浜市地球温暖化対策実行計画(市役所編)」では、貨物自動車は原則として次世代自動車等の導入することが示されています。また、一般公用車における次世代自動車等の導入割合を、2025年度において43%、2030年度において100%とすることが目標とされています。</p> <p>※次世代自動車等＝次世代自動車(電気自動車、プラグインハイブリッド自動車及び燃料電池自動車)及びハイブリッド自動車</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等) 「横浜市地球温暖化対策実行計画(市役所編)」</p> <p>(4 除却資産の有無) (5 補助対象の有無)</p> <table border="0"> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 有 (2003-20-00278)</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 有 公営企業債(脱炭素化事業)対象事業</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 無</td> <td><input type="checkbox"/> 無</td> </tr> </table>		【応急自動車概要】	【更新後】	・車両名称 日産 ADバン	→ HV軽自動車	・乗車定員 5人	→ 4人	・初度検査年月 平成25年11月		【応急自動車概要】	【更新後】	・車両名称 日野 デュトロ	→ EV軽自動車	・乗車定員 3人	→ 4人	・初度検査年月 平成15年9月		<input checked="" type="checkbox"/> 有 (2003-20-00278)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 公営企業債(脱炭素化事業)対象事業	<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 無
【応急自動車概要】	【更新後】																				
・車両名称 日産 ADバン	→ HV軽自動車																				
・乗車定員 5人	→ 4人																				
・初度検査年月 平成25年11月																					
【応急自動車概要】	【更新後】																				
・車両名称 日野 デュトロ	→ EV軽自動車																				
・乗車定員 3人	→ 4人																				
・初度検査年月 平成15年9月																					
<input checked="" type="checkbox"/> 有 (2003-20-00278)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 公営企業債(脱炭素化事業)対象事業																				
<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 無																				

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額				
2 電動自転車購入(1台)					
<p>(1 事業目的・内容)</p> <p>緊急時の現場移動手段として経年劣化した1台を更新します。</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p>(4 除却資産の有無) (5 補助対象の有無)</p> <table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 有</td> <td><input type="checkbox"/> 有</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 無</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 無</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 無
<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 有				
<input checked="" type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 無				

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：西村、近藤、日比野

(単位:千円)

	7年度 A	6年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	3,499,388	2,355,114	1,144,274

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
1 早期運行再開のための耐震補強工事	588,450

(1 事業目的・内容)

阪神・淡路大震災以前に構築された構造物については、旧運輸省通達により、耐震補強としてラーメン高架橋・橋脚のRC柱、開削トンネルRC柱の補強及び橋りょうの落橋防止対策を平成7年～15年度に実施し完了しています。
平成25年度からは、首都圏で想定されている大規模地震が発生した際に、列車が早期に運行再開するための耐震補強を実施しています。

早期運行再開のための耐震補強

- 事業区間 戸塚駅～あざみ野駅
- 耐震補強対象構造物 【高架部】ラーメン高架橋、橋脚 【地下部】開削トンネル
- 耐震補強の進め方 ①耐震補強の必要性を判断 (H25年度に実施)
②耐震補強工事の詳細設計 (H25年度から随時実施)
③耐震補強工事の施工 (H27年度から随時実施)

		H25年度～H27年度	H28年度～R6年度	R7年度	R8年度以降
詳細設計					
工事	【高架部】ラーメン・橋脚				
	【地下部】開削トンネル				



(2 前年度から変更・見直した点)

早期運行再開のための耐震補強工事は、経営状況及び補助金交付状況を考慮しながら引き続き事業を進めます。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

特定鉄道等施設に係る耐震補強に関する省令

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事 業 費	251,436	588,450				2,819,886
債務負担設定	519,742	984,584				3,004,326

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：西村、近藤、山田

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
2 土木構造物補修工事	811,688

(1 事業目的・内容)

主に塩害により劣化した土木構造物について、計画的に補修を行います。構造物検査及び日常点検の結果から選定した補修箇所について、補修方法を設計し、その後補修工事を行います。



▲劣化状況



▲補修状況

	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度以降
R7設計委託						
R9設計委託						
R4構築補修工事						
R5構築補修工事						
R6構築補修工事						
R7構築補修工事						
R7構築補修工事(その2)						
R8構築補修工事						
R9構築補修工事						
R10構築補修工事						
R11構築補修工事						

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費	327,680	811,688				3,119,368
債務負担設定	702,400	752,090				3,434,490

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：西村、近藤、日比野

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
3 宮元町シールドトンネル補修工事	1,131,050

(1 事業目的・内容)

吉野町～蒔田間の宮元町シールドトンネルは、開業後50年以上経過しており、主に塩害による経年劣化が見られるため、列車運行の安全性維持を目的として、計画的に補修を行っています。

宮元町シールドトンネルの補修計画

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
調査・設計委託	上下線							
補修工事	上下線							



▲RCセグメントの劣化状況



▲ダクタイルセグメントの劣化状況

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費	832,010	1,131,050				1,963,060
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

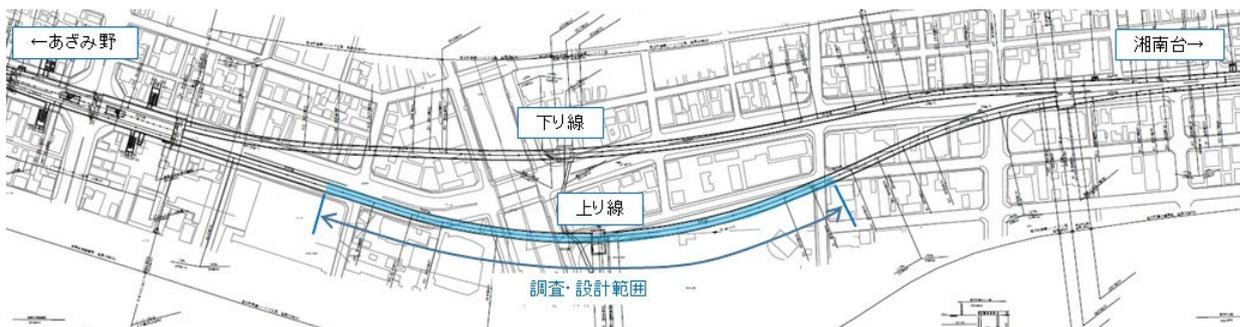
予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：西村、近藤、日比野

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
4 宮元町シールドトンネル補強調査・設計委託	40,827

(1 事業目的・内容)

宮元町シールドトンネルは、開業後50年以上経過しているため、経年によるシールドトンネルの変形の有無について調査を行います。変形の有無を特定するために内空断面測量を実施し、変形が認められた箇所については、構造解析を実施しシールドトンネルの健全度を診断します。診断後、補強が必要な箇所については、補強方法の検討も行います。



	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
調査・設計					
工事					

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費	18,000	40,827				58,827
債務負担設定	42,528					42,528

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：西村、近藤、深堀

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
5 平沼町シールドトンネル補修・補強	

(1 事業目的・内容)

高島町～横浜間の平沼町シールドトンネルは、昭和51年の開業から長期間経過しており、塩害及び経年による劣化が見られるため、列車運行の安全性維持を目的として計画的に補修を行っています。下り線は先行して平成25年に調査・設計を行い、補修工事を平成27年度～30年度の期間で実施しました。

今後は上り線をメインに下り線の未補修区間に対応するため、劣化状況を調査し結果に基づき補修及び補強の設計を行います。



▲ダクタイルセグメントの劣化状況



▲合成セグメントの劣化状況



▲合成セグメント補強完了



▲ダクタイルセグメント補修完了

(2 前年度から変更・見直した点)

過年度工事で未実施区間(下り線の100m)を優先して補修・補強工事を行う。
下り線の工事中に上り線の委託を行う。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費	28,000					5,116,000
債務負担設定						4,760,000

令和7年度 建設改良費 事業計画書

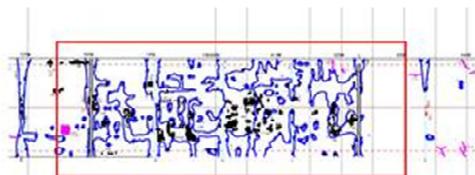
予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：西村、近藤、菊池

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
6 山岳トンネル補修工事	

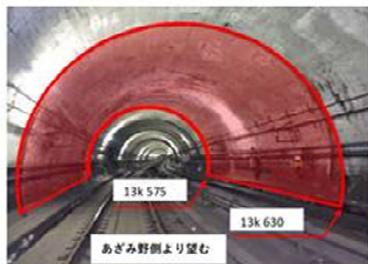
(1 事業目的・内容)

新羽～仲町台間の北の谷山岳トンネルは、開業後30年経過しており、コンクリートの浮き、ひび割れ等、経年劣化が見られるため、列車運行の安全性維持を目的として、補修を行います。



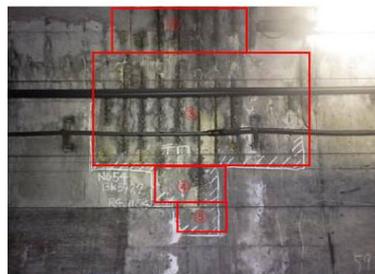
トンネル全体にコンクリートの浮き、鉄筋露出が見られる。

天井部



あざみ野側より望む

側壁部



(2 前年度から変更・見直した点)

契約年度の繰り越し

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費	169,000					
債務負担設定	253,290					

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：西村、近藤、山本

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
7 鳩害対策工事	

(1 事業目的・内容)

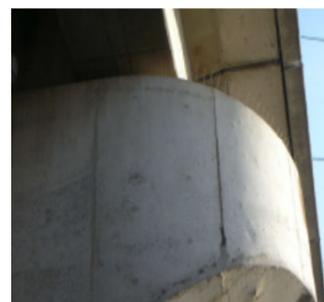
当局施設物に留まる鳩により、お客様や近隣住民への鳩フン被害が発生しているため、橋梁構造物等に鳩除け設備(ネット、スパイク)を設置し、鳩害対策を実施します。



鳩フン被害状況



鳩除けネット対策



鳩除けスパイク対策

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

電気課・上永谷・新羽・川和施設区から来年度予算の要望あり

- ①上永谷駅高架下信号機器室付近
- ②新羽車両基地出入庫線高架下
- ③川和町駅高架下駐車場付近

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費	6,333					50,333
債務負担設定	11,000					55,000

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：西村、近藤、戸辺

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
8 局所有の排水管補修	12,617

(1 事業目的・内容)

地下部の駅施設やポンプ室等から排出される汚水・排水は、地下から地上へポンプアップされ、高架部では樋で地上へ導水・集水されたのち、歩道下や道路下に敷設された局所有の排水管により公共下水管へ排出されます。

この局所有排水管は開業時から定期的な点検調査や補修工事を行っていなかったため、令和元年度に高島町駅付近の局所有排水管で破損が発生し緊急補修したことを期に、令和2年度に一部の局所有排水管の調査を実施し「クラック」「管の継手ずれ」等の補修が必要な管を複数確認しました。そのため、令和4年度から管更生による補修を実施しています。



	令和6年度	令和7年度	令和8年度
令和6年度排水管補修工事			
令和7年度排水管補修工事			
令和7年度排水管補修工事設計委託			

(2 前年度から変更・見直した点)

管更生を基本としていますが、管更生が適用できない箇所は開削工法での施工となり、土留めの計算等が必要になるため、設計委託費を追加します。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費	8,996	12,617				60,083
債務負担設定	9,557	18,470				58,027

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：西村、近藤、田中

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
--------	--------

9 トンネル坑口浸水対策

(1 事業目的・内容)

トンネル区間と高架区間の接続部にあるトンネル坑口は線路が地表面と同程度の高さとなります。その中で北新横浜及び青砥町の坑口部については大雨や河川氾濫などによる出水時に坑口からトンネル内への浸水の恐れがあることが確認されて、現地の詳細な調査を行いました。

調査結果を基に詳細な検討を行うとともに、浸水時の損害規模と復旧に係る期間と金額を検討します。



北新横浜坑口部



青砥町坑口部

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：岡田

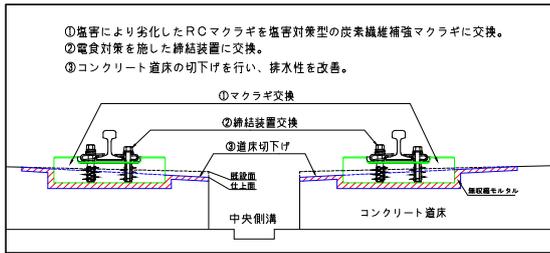
(単位:千円)

【 事業 内 容 】	7年度予算額
10 関内・桜木町間(下り)軌道改良工事	224,000

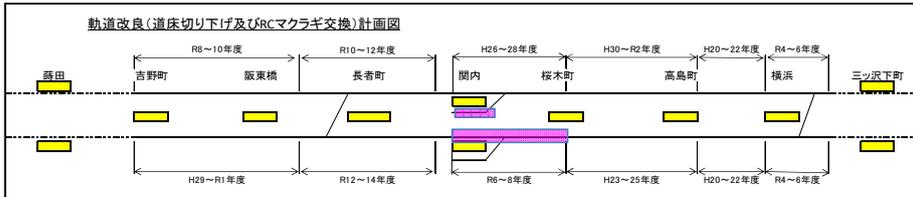
(1 事業目的・内容)

当該区間は海に近接しているため、漏水に含まれる塩分濃度が高く、塩害による鋼材の腐食により、レール、マクラギ、締結装置の損傷が著しく、列車走行の安全を確保することが困難な状況となっています。よって新しい軌道構造をもつ軌道への更新工事を行います。本工事は、令和7年度より工事に着手し、令和9年度に完成予定となっています。

(概要)軌道の防錆能力を向上させるため、マクラギ、締結装置を交換します。また、コンクリート道床の排水性を改善します。



(計画)本軌道改良事業は、塩害区間(横浜～吉野町間)の中で損傷の著しいか所を優先的に行っています。



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費	94,000	224,000				
債務負担設定	878,000					

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：岡田

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
11 関内長者間急曲線軌道改良工事	

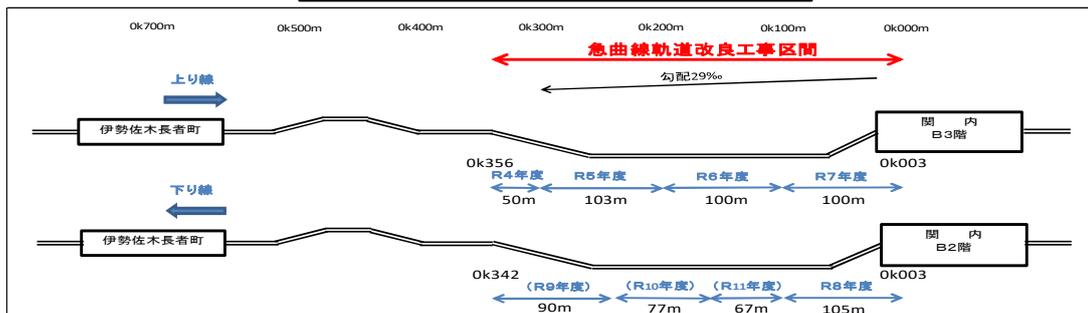
(1 事業目的・内容)

関内～伊勢佐木長者町駅間の曲線区間(R125)は急曲線であることや塩害部区間であることから、近年損傷が発生しており、保守作業に多くの労力を要しています。

安全性の向上及び保守作業の軽減を目的に、軌道部材の強化や防食等も含めた幅広い視点から実施した詳細設計をもとに検討した、軌道改良工事を実施します。



関内長者間急曲線軌道改良工事 計画表



事業費内訳

(千円)

	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度以降	総額
設計費	37,730	0	0	0				
材料費	0	11,068	16,222	31,992				
工事費	0	25,992	65,124	84,980				
合計	37,730	37,060	81,346	116,972				

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道土木実施基準、軌道整備心得、線路検査心得

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総額
事業費	116,972					610,663
債務負担設定	37,773					111,235

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：岡田

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
12 分岐器改良工事	262,766

(1 事業目的・内容)

交換計画について

- ・上永谷構内36・37分岐器改良工事： 改良工事(全交換)【R7・8年度施工】

今回、全交換する上永谷36・37SC 8番シーサスクロッシングは、敷設から31年が経過しており、交換計画の25年を超えるため優先して交換を行うものです。なお、クロッシングをマンガン製から振動・騒音対策のための溶接に適したレール製に改良します。

債務負担について

- ・令和7年度契約予定の上永谷36・37分岐器改良工事の支払いのため、令和8年度に債務負担を設定します。

《交換計画》

駅名	分岐器No.	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
上永谷	36・37SC		交 換 (262,766)			
新横浜	22					
	21イ					

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道土木実施基準、軌道整備心得、線路検査心得

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費	172,647	262,766				800,935
債務負担設定	156,811					

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：岡田

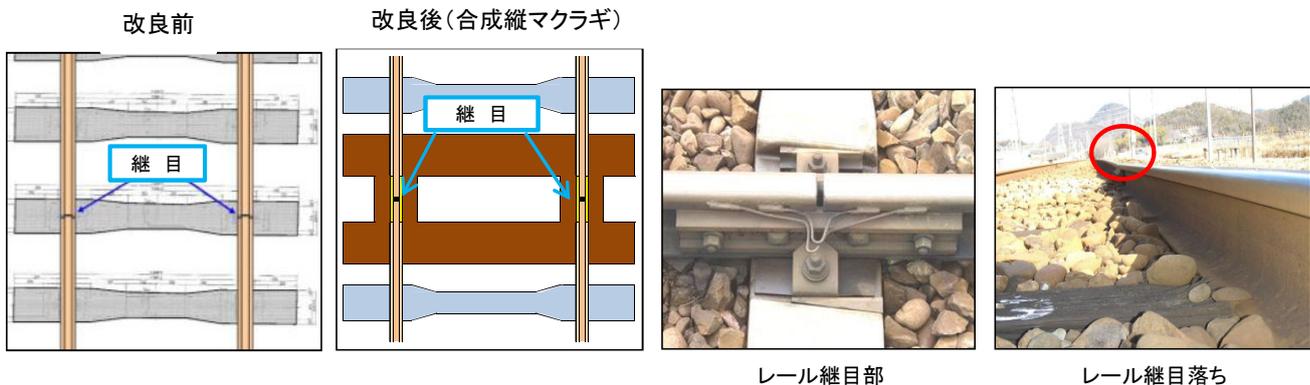
(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
13 継目部改良工事	

(1 事業目的・内容)

軌道は、通常1本あたり25mのレールを継目板によって繋ぎ合わせており、繋ぎ目の部分をレール継目部といいます。継目部は、列車の通過による衝撃が大きいため、継目板の切損や継目落ちが発生しやすく、これが増大すると列車の上下動が大きくなることで軌道破壊につながり、安全な列車の運行ができなくなります。また、振動、騒音が発生しているため、常に直営又は外注工事にて補修を行っています。

本工事は、継目落ち対策として、既存のマクラギを合成縦マクラギへ交換するもので、平成22年度より試験施工を行い、その後の経過観察において、継目落ちの解消が確認されていることから、平成25年度から計画的に継目落ちの著しい箇所の改良を行っています。来年度は現場調査の結果優先的に行うべきと判断された2か所の継目部改良を行います。



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費	20,667					108,219
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：岡田

(単位：千円)

【事業内容】	7年度予算額
14 工事用車両新規購入及び更新	63,000

(1 事業目的・内容)

現在1・3号線では保守作業用の「A型軌道モーターカー」を3台所有しておりますが、使用年数が32年を迎え、今後の故障に対応する部品等の手配が不可能になるため、更新を行います。

A型軌道モーターカー更新計画

車番	使用年数	R5	R6	R7	R8
A-6	32	契約 →	更新		
A-7	32		契約 →	更新	
A-10	1	更新済			



写真1: 既存の軌道モーターカー 外形



写真2: 新規購入予定の軌道モーターカー 外形

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有
- 無

(5 補助対象の有無)

- 有
- 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費	42,482	63,000				105,482
債務負担設定	60,500					60,500

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：岡田

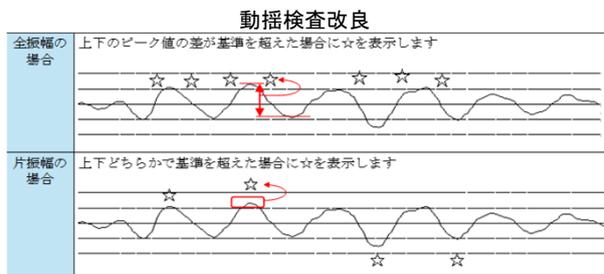
(単位：千円)

【事業内容】	7年度予算額
--------	--------

15 軌道管理システム改良

(1 事業目的・内容)

軌道管理システム内の動揺検査にて、実際の運用とは異なる出力をしているため、改良を行います。
また、台帳システムの交換機能に対し、一括入力機能の改良を行います。



表示例

現在は、「規定値を超えた全振幅の、始端ピークから終端ピーク」を出力。
これを「規定値を超えた片振幅の開始～終了のキロ程およびピークキロ程」に変更。

一括入力システム



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)
土木実施基準

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総額
事業費						21,363
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：岡田

(単位：千円)

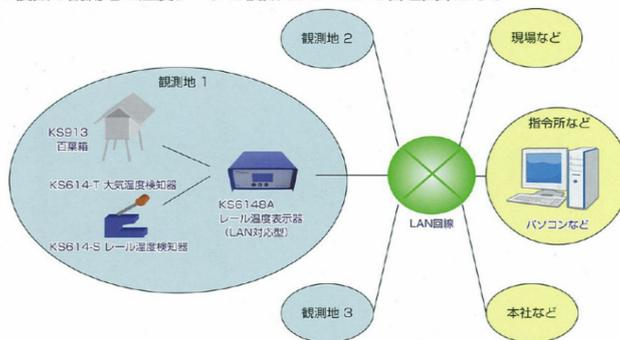
【事業内容】	7年度予算額
--------	--------

16 無線式レール温度計

(1 事業目的・内容)

レール温度の上昇は、乗り心地悪化や列車の脱線に繋がるレールの座屈・張出し等の現象の原因になります。昨今の地球温暖化による気温の上昇等もあり、一昨年には、新羽仲町台間で張出しによる徐行運転をするなどの対応を行いました。レール温度の測定は、軌道管理において、重要な管理項目であり、当局では1・3・4号線でそれぞれレール温度及び気温を測定しています。現在、新羽車両基地で使用しているレール温度計は、Windows7対応のものであり、対応するPCがなくデータ保存ができないため、非常時や日常的な管理において、過去の計測データの確認ができないため、データが残せるものに更新します。今回購入予定の機器は、既の上永谷車両基地及び川和車両基地で導入済みです。

構成例①：ネットワークを利用してパソコンで温度を表示・記録する構成
特長：複数の観測地の温度データを複数のパソコンで管理出来ます。



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：岡田

(単位：千円)

【事業内容】	7年度予算額
17 フォークリフト更新 (1 事業目的・内容) フォークリフトは、直営作業で日々の資機材整理や運搬時に使用しています。 上永谷施設区で使用しているフォークリフトは、平成10年度に購入したもので、老朽化が著しく故障が頻発しています。 また、古いもののため、シートベルト及び速度計が未設置で、安全作業にも支障するため、新しいものに更新します。 (2 前年度から変更・見直した点) (3 根拠法令・規程、現場の意見等) (4 除却資産の有無) (5 補助対象の有無) ■ 有 □ 有 □ 無 ■ 無	

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：岡田

(単位：千円)

【事業内容】	7年度予算額
18 5tトロ購入	

(1 事業目的・内容)

5tトロは、上永谷施設区の直営作業時に材料運搬等で使用しています。
 新羽施設区で使用している5tトロは、平成31年度に更新しましたが、上永谷施設区・川和施設区では、現在も木製のトロを使用しています。
 上永谷施設区で使用しているトロは、平成18年度に購入したもので、直営で木枠部分の細かい修理を行い使用しています。
 しかし、18年間の使用により、車軸が歪んでしまい、走行が不安定になっていますが、車軸の修理は不可能です。
 安全に作業を行うため、新羽施設区と同型のトロに更新します。



【上永谷】木製5tトロ(現在使用)



【新羽】5tトロ(平成31年度に木製トロの更新で購入)

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：岩澤、滝沢

(単位：千円)

【事業内容】	7年度予算額
<p>19 上永谷車両基地侵入防止対策システム更新</p> <p>(1 事業目的・内容) 上永谷車両基地では、令和元年度から同2年度にかけ「車両基地侵入防止対策システム」を構築し、運用しています。本システム運用にあたり、令和元年度に設置した「周辺機器」について、更新時期になるため、更新します。 なお、総合司令所に設置している機器については、契約業者の推奨は令和7年度更新となっておりますが、故障時に更新することとします。</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p>(4 除却資産の有無) <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p> <p>(5 補助対象の有無) <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>	

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：岩澤、滝沢

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
20 川和車両基地侵入防止対策	

(1 事業目的・内容)

川和車両基地では、セキュリティ対策としてセキュリティカメラを試験導入しています。検知能力の検証や設置位置等の検討を継続して行い、令和7年度は検証結果を基に車両基地全体の侵入者を検知するためのセキュリティカメラを必要台数追加導入します。



(2 前年度から変更・見直した点)

川和車両基地の夜間留置箇所を監視するため、必要台数を追加導入します。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：岩澤、滝沢

(単位：千円)

【事業内容】	7年度予算額
21 作業管理システム構築	0

(1 事業目的・内容)
【線閉登録システム(帳票)について】
 ・列車等の運転に支障を及ぼす恐れのある工事等を行う場合は、関係する区間に列車又は車両(工事列車及び試運転列車を除く。)を進入させない線路閉鎖の措置をとる必要があります。特に夜間(終車後～始発までの間)の線路閉鎖作業は短く、また、限られた線路(上下線)内で軌道・土木・電気・建築など工事が輻輳する中、作業を安全・確実に実施するためには、全体作業計画を効率的かつ確実なものとするのが重要です。
 ・線閉登録システム(帳票)は、各工事担当者が入力した地下鉄営業線内での全夜間作業を集約し、一覧化するシステムです。
 ・このシステムにより、横浜市高速鉄道線路閉鎖取扱規程に基づく「線路閉鎖作業」(線閉)の管理や、保守用車両使用要領に基づく保守用車両の運行の調整が行われており、効率的な工事計画の策定と安全な工事の実施に不可欠なものとなっています。
 ・仮に現行システムが不具合により停止した場合、各担当の連絡・調整は完全な手作業となり、限られた夜間の作業時間内における安全な工事の実施が困難となるほか、工事間調整などの確認ミス等があれば保守用車両同士の事故にも繋がりがかねず、今後も引き続きシステムの安定的な機能維持が必要不可欠です。
 ・また、現行システムには以下に掲げるような課題があり、システム更新による対策が必要です。

【現状の課題】
 ①夜間作業・工事の安全性向上
 現行のシステムは交通局職員のみ使用可能で、入力した帳票については施工業者等へFAX送付等により連絡を行っており、情報伝達の確実性や、安全性、責任の所在等に課題があります。
 ②夜間作業開始の連絡の確実性向上
 現行のシステムでは、作業開始及び終了連絡を行う際、システムとは切り離れ、駅での放送や司令への電話連絡により行っている状況です。このため、作業前連絡では電話回線が混雑し、作業開始時間が遅れたり、口頭連絡による情報伝達の不確実性も課題となっています。
 ③昼間作業と夜間作業の運用方法の統一によるヒューマンエラーの防止
 FAX送信による情報受伝達のため、誤認や確認漏れ等のヒューマンエラーにより、システム入力漏れが発生している状況です。
 ④システムの継続性
 現行システムは職員の自作システムであり、不具合発生時や改修時は当該職員のみしか作業ができないという脆弱性の課題があります。

【対策】
 現在使用しているシステムと同等の機能に加え、主に以下の機能を追加した作業管理システムを業務委託によりクラウド上に構築します。
 ①施工業者のシステムへのアクセス及び帳票の入力・出力を可能にすることで安全性の向上及び責任所在の明確化を行います。
 ②システム上で電停止確認を行うことで、駅放送の聞き逃しや聞き間違いを防止するとともに、確実な情報伝達を可能にします。
 ③昼間作業と夜間作業の運用方法をシステムで統一し、施工業者の作業の確実性を図ります。
 ④システム作成後は、受託事業者により、保守メンテナンスと改修を実施し、システムの脆弱性を改善します。 **【線閉登録システム(帳票)】**

(2 前年度から変更・見直した点)
 新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)
 ・横浜市高速鉄道線路閉鎖取扱規程への適用
 ・保守用車両使用要領への適用

(4 除却資産の有無) (5 補助対象の有無)
 有 有
 無 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：田中、三宅、佐藤、長谷川、坂田

(単位:千円)

	7年度 A	6年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	3,496,620	2,081,859	1,414,761

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
1 上永谷駅改良工事	131,010

(1 事業目的・内容)

「市営交通 中期経営計画2023-2026」の中で、まちの玄関口である駅を計画的にリニューアルすることを掲げており、上永谷駅においても改良工事を実施します。
本事業では、施設の老朽化対策や各設備の更新に合わせ、コンコース、旅客用トイレ、駅務・乗務施設、職員用施設、ホーム屋根等を含む改修を行い、お客様への快適な駅空間の提供や職員の執務環境の改善を図ります。

(単位:千円)

工種	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
		基本計画							
		基本設計							
			実施設計						
					工事				
予算	63,397	11,974							
基本計画	0	47,047							47,047
基本設計									
実施設計									
工事(建築、電気、機械)									
計	0	47,047	131,010						

※実績 ※決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事 業 費	11,974	131,010				
債務負担設定	45,910					

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：田中、三宅、佐藤、長谷川、坂田

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
2 桜木町駅出入口上屋改修工事	

(1 事業目的・内容)

桜木町駅の出入口1では、屋根の腐食が見られるため、改修を行います。

現状写真	仮設天井
	

令和5~6年度	設計
令和7年度	工事

(2 前年度から変更・見直した点)

ここまでの実施設計を元に工事費を見直すとともに予定年次を変更しています。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費	13,975					
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：田中、三宅、佐藤、長谷川、坂田

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
3 戸塚駅改良工事	

(1 事業目的・内容)

「市営交通 中期経営計画2023-2026」の中で、まちの玄関口である駅を計画的にリニューアルすることを掲げており、戸塚駅においても改良工事を実施します。
本事業では、施設の老朽化対策や各設備の更新に合わせ、駅務施設やコンコース等の改修を行い、お客様への快適な駅空間の提供や職員の執務環境の改善を図ります。

R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
基本計画							
	基本設計						
		実施設計					
					工事		

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：田中、三宅、佐藤、長谷川、坂田

(単位：千円)

【事業内容】	7年度予算額
4 ミツ沢下町駅改良工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

ミツ沢下町駅では、施設や設備の老朽化が進んでいます。また、トイレがバリアフリーに未対応であり、女性職員用施設も未整備です。令和8年度の工事着手に向けて、令和7～8年度に基本設計と実施設計を行います。

年度	R7	R8	R9	R10	備考
ミツ沢下町駅改良工事	基本・実施設計		工事		

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：田中、三宅、佐藤、長谷川、坂田

(単位：千円)

【事業内容】	7年度予算額
5 新羽駅改良工事	

(1 事業目的・内容)

新羽駅は女性職員用施設の不足や、旅客用トイレ等の老朽化が課題です。
本事業では、旅客用トイレや乗務管理所施設等の改修を行い、お客様への快適な駅空間の提供や職員の執務環境の改善を図ります。

	R6	R7	R8	R9	R10	R11
旅客用トイレ 女性用エリア	設計 →	→ 工事				
	139,847					
男性用エリア 職員用仮眠室	設計 →			→ 工事		
乗務管理所	設計 →		→ 工事			
工事費	139,847		435,562	452,367	287,577	

※決算見込

R6は「職員用施設改修工事」に計上

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費			435,562	452,367		1,340,687
債務負担設定						678,550

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：田中、三宅、佐藤、長谷川、坂田

(単位：千円)

【事業内容】	7年度予算額
6 職員用施設改修工事	460,296

(1 事業目的・内容)

乗務管理所等において、職員用施設整備計画に基づき、女性職員用施設(仮眠室、手洗所、ロッカー室、シャワー室等)の整備をはじめとした職員用施設の改修工事を行います。

令和7年度は、上永谷信号扱所、川和乗務管理所において工事に着手します。

	R5	R6	R7	R8	R9
上永谷 信号扱所		設計	→	工事	
川和 乗務管理所		設計	→	工事	
新羽保守管理所・ 新羽信号扱所・総 合司令所		設計	→	工事	
工事費			460,296	690,445	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費	97,650	460,296	690,445			1,248,391
債務負担設定	683,591	690,445				1,374,036

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：田中、三宅、佐藤、長谷川、坂田

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
7 職員用施設改修工事(設計)	48,789

(1 事業目的・内容)

乗務管理所等において、職員用施設整備計画に基づき、女性職員用施設(仮眠室、手洗所、ロッカー室、シャワー室等)の整備をはじめとした職員用施設の改修工事を行います。
令和7年度は、令和6年度に引き続き、上永谷信号扱所、川和乗務管理所、新羽保守管理所等の設計を行います。

	R5	R6	R7	R8	R9
上永谷 信号扱所		設計	工事		
		0	14,740		
川和 乗務管理所		設計	工事		
		5,422	12,651		
新羽保守管理所・ 新羽信号扱所・総 合司令所		設計	工事		
		9,171	21,398		
委託費		14,593	48,789		

※決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費	37,866	48,789				86,655
債務負担設定	30,553					30,553

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：田中、三宅、佐藤、長谷川、坂田

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
8 ブルーラインホーム改良工事	115,294

(1 事業目的・内容)

現在、ブルーラインはプラットホームと車両床面との間に段差・隙間があり、車椅子利用等のお客様がご乗車される際は、駅職員の介助が必要となっています。

令和元年10月にバリアフリー整備ガイドラインが改正され、段差・隙間の目安値が示されたことで、全国的に段差・隙間縮小に向けた動きが活発化しており、当局では令和8年度までにブルーライン32駅(各番線1号車1番扉・6号車3番扉)の段差・隙間縮小工事を実施することとしています。

令和7年度は6年度に発注した工事の完成払い及び新たに発注する工事費を計上します。



新横浜駅施工状況(R4施工)

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費	116,366	115,294				
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：田中、三宅、佐藤、長谷川、坂田

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
9 ガラス垂壁改修工事	50,031

(1 事業目的・内容)

令和3年6月に発生した蒔田駅ホーム天井部の防煙垂れ壁の落下を受け、当該垂れ壁の設置方法を見直す必要があることから、全面改修を行います。また、ホーム部に同様のガラス製垂れ壁が設置されている4駅(横浜駅、戸塚駅、立場駅、吉野町駅)のうち、横浜駅、戸塚駅、立場駅の補強工事を行います。
なお、吉野町駅については、現在、軌道内対向壁解体工事に伴い仮設列車誘導無線が垂れ壁近接部に設置されているため、当該無線の撤去時期にあわせて補強工事を行います。

(単位:千円)

駅名	R5	R6	R7	R8	R9	R10
対象5駅		調査・設計 11,000				
蒔田駅			改修工事	改修工事		
横浜駅 戸塚駅 立場駅			補強工事	補強工事		
吉野町駅					補強工事	
計	0	11,000	50,031	75,048		0

※決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費	55,140	50,031	75,048			
債務負担設定	66,243	75,048				141,291

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：田中、三宅、佐藤、長谷川、坂田

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
10 屋上防水更新工事	302,382

(1) 事業目的・内容

近年、地下鉄駅舎、保守用施設の漏水の発生件数が増加しています。駅舎部での漏水の発生は、お客様にご迷惑をおかけする恐れがあるとともに、転倒などのリスクもあります。また、保守用施設における漏水の発生により、施設内の機器の故障や、運行に必要な保守点検業務に影響が出ている状態です。

施設の長寿命化に加え、お客様に快適な駅空間を提供できるよう、計画的な屋上防水の更新を進めます。

(1)現況



立場駅 駅舎コンコースで、漏水発生
(ひび割れをしている部分から漏水が発生)

(2)事業スケジュール

現況で漏水が頻発している施設より改修を進める。

実施場所(内容)	R6	R7	R8	R9
日吉本町駅(駅舎 屋上防水)	設計・工事			
立場駅(駅舎・避難階段 屋上防水)	設計	工事		
新羽保守管理所(検車庫・事務所棟 屋上防水)	設計	工事	工事	
上永谷保守管理所(安全教育センター・修繕工場 屋上防水)		設計	工事	工事

(2) 前年度から変更・見直した点

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等

(4) 除却資産の有無

有
 無

(5) 補助対象の有無

有
 無

(6) 年次表

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費	119,222	302,382				
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：田中、三宅、佐藤、長谷川、坂田

(単位：千円)

【事業内容】

7年度予算額

11 屋上防水更新工事(設計)

(1) 事業目的・内容

上永谷基地修繕工場他は、長年漏水に悩まされ、補修工事を行っていますが、抜本的な解決にはならず、漏水が続いています。漏水の発生により、施設内の機器の故障や、運行に必要な保守点検業務に影響が出ている状態です。施設の長寿命化を行うため、外壁・屋根を更新するなどの改修工事を行い漏水を解消します。

また、工場内に鳩が滞在し糞が落ちるなど、鳥害が深刻化しています。そのため、屋内に防鳥ネットを設置する対策工事を行います。その他、安全教育センターについて、更衣室等の整備工事を行います。

本年度は、上記改修工事の設計委託を行います。

事業スケジュール

現況で漏水が頻発している施設より改修を進める。

実施場所(内容)	R6	R7	R8	R9
日吉本町駅(駅舎 屋上防水)	設計・工事			
立場駅(駅舎・避難階段 屋上防水)	設計	工事		
新羽保守管理所(検車庫・事務所棟 屋上防水)	設計	工事	工事	
上永谷保守管理所(安全教育センター・修繕工場 屋上防水)		設計	工事	工事

(2) 前年度から変更・見直した点

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等

(4) 除却資産の有無

有
 無

(5) 補助対象の有無

有
 無

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：田中、三宅、佐藤、長谷川、坂田

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
12 下飯田駅改良工事	

(1 事業目的・内容)

下飯田駅周辺で進行中の土地区画整理事業により、乗降客数の増加や駅を利用するお客様の動線の変化に対応するため、駅舎の改修を行い、魅力アップを図ります。令和6年度上半期には、基本設計、実施設計を行い、令和6年度下半期から令和7年度にかけて、改修工事を行います。

(事業スケジュール)

年度	R5	R6	R7	R8	備考
下飯田駅改良工事	基本・実施設計	工事			



下飯田駅(駅舎)



下飯田駅(外構)

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費	36,740					
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：田中、三宅、佐藤、長谷川、坂田

(単位：千円)

【事業内容】	7年度予算額
13 シャッター駆動装置等更新その他工事	
(1 事業目的・内容)	
<p>駅構内に設置している防煙・防火及び管理シャッターについて、更新が必要な不具合が見られる開閉機(モーターを含む駆動に係る装置一式)の更新工事を行います。 また、建築基準法施行令の改正により、危害防止機構の設置が義務付けられましたので、併せて新設、更新を行います。</p>	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無)	
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
(5 補助対象の有無)	
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：田中、三宅、佐藤、長谷川、坂田

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
14 軌道内対向壁解体工事	

(1 事業目的・内容)

一・二次開業駅(上永谷駅～横浜駅)の塩害区間のうち老朽化が進んでいる駅において、対向壁のリニューアルに向けて計画的に解体を行います。

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
調査	高島町 長者町							
設計		吉野町(解体)			長者町(解体)		桜木町(解体)	横浜(解体) 吉野町(新設)
工事		※1上大岡(解体) ※1関内(新設)	※1上大岡(新設) 吉野町(解体)			※2長者町(解体)		桜木町(解体)
		※1 阪東橋(新設)						

※1改良工事にて実施
※2 構築補修工事にて実施

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：田中、三宅、佐藤、長谷川、坂田

(単位：千円)

【事業内容】	7年度予算額
15 軌道内対向壁解体工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

一・二次開業駅(上永谷駅～横浜駅)の塩害区間のうち老朽化が進んでいる駅において、対向壁のリニューアルに向けて計画的に解体を行います。

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
調査	高島町 長者町							
設計		吉野町(解体)			長者町(解体)		桜木町(解体)	横浜(解体) 吉野町(新設)
工事		*1上大岡(解体) *1関内(新設)	*1上大岡(新設) 吉野町(解体)			*2長者町(解体)		桜木町(解体)

*1改良工事にて実施
*2構築補修工事にて実施

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総額
事業費	3,080					
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：田中、三宅、佐藤、長谷川、坂田

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
16 伊勢佐木長者町駅改良工事	45,519

(1 事業目的・内容)

伊勢佐木長者町駅は建設から年数が経過し、施設や設備の老朽化が進んでいます。ホームや出入口等の天井から漏水が多数発生するなど、お客様の利用環境にも影響が及んでおり、更新時期を迎えた施設・設備機器の不具合等への対策も合わせ、駅全体の改良工事が必要です。令和7年度は漏水対策のための調査に必要な天井解体工事を行い、令和9～10年度の改良工事実施に向けた設計を行います。

令和7年度	天井解体工事、調査・設計
令和8年度	調査・設計
令和9-10年度	改良工事(漏水対策含む)



(天井からの漏水、応急処置状況)

(4 除却資産の有無)

- 有
- 無

(5 補助対象の有無)

- 有
- 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事 業 費		45,519				
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：田中、三宅、佐藤、長谷川、坂田

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
17 新羽駅対向壁改修工事	

(1 事業目的・内容)

新羽駅ではホーム向かいに設置されている対向壁に劣化が見られるため、耐久性を高める改修を行います。
また、ホーム上屋から結露による水滴が滴下しお客様に影響が出ているため、結露対策を実施するとともに鉄部の塗替えも行います。

	R6	R7	R8
新羽駅 ホーム階	R5~R6 設計		
新羽駅 ホーム階		R7~R8 工事	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：田中、三宅、佐藤、長谷川、坂田

(単位：千円)

【事業内容】	7年度予算額
18 駅諸室改修その他工事	
(1 事業目的・内容)	
<p>ブルーライン及びグリーンラインで発生している不具合について、令和7年度に設計を行い、一部は7年度に工事発注し、そのほかは8年度に工事を発注します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中山駅地上案内サインの新設：エレベーター乗り場を案内するため、自立型シンボルサインを新設します。(R7工事予定) ・都筑ふれあいの丘駅お客様サービスコーナーの改修：案内所業務と定期券発売業務を同一の場所で行っており狭隘であるため、お客様サービスコーナーにカウンター及び駅事務室への扉を新設します。 ・都筑ふれあいの丘駅ラチ外コンコース第1出入口側の床面滞水の対応：排水処理できるように床面を改修します。 ・高田駅第3出入口止水板の改修：軽量の止水板に改修します。 ・阪東橋駅ラチ内コンコース多目的トイレ前床面湧水の対応：近傍に排水側溝を設けることができないため、躯体を貫通させて下階への排水経路を新設します。 ・上大岡駅ラチ外コンコースの改修：第4出入口の床面湧水対策のため、二重壁内の排水経路を改修します。また、改良工事で第1出入口に新設した自販機コーナーの美観向上のため、造作の一部を改修します。 ・あざみ野駅有人改札窓口の改修：接客機器が防火シャッター降下に支障しているため、接客カウンターを拡大します。 ・新横浜駅タイル壁の改修：タイル壁面の劣化調査を行い、必要に応じて改修を行います。 	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無)	
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
(5 補助対象の有無)	
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：田中、三宅、佐藤、長谷川、坂田

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
19 サイン改修工事設計(設計)	

(1 事業目的・内容)

現状の駅案内サインの基本的な考えは、平成3年のあざみ野線開業時に策定されたもので、高齢化が進むにつれお客様のニーズに対応できなくなっています。特に一次開業駅は当時の筐体の表示面が小さく、情報量も多いため、文字が小さく読みにくい状況です。そこで、平成25年度、お客様により分かりやすく利用しやすい駅へと整備することを目的として、駅案内サインの基準となるサインマニュアルを見直し、全面改定しました。新たなサインマニュアルに基づき改修することで駅利用者の利便性向上を図ります。改修にあたっては、令和9年の蛍光ランプの製造および輸出入の廃止もふまえ、案内サインのLED化や無灯化に向けた検討を行います。

【対象駅】

中川駅、仲町台駅、岸根公園駅、片倉町駅

R7	R8	R9
	設計	
		工事

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：田中、三宅、佐藤、長谷川、坂田

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
20 エスカレーターのリニューアル	

(1 事業目的・内容)

お客様に安全かつ快適な設備をご利用していただくため、設置後長期間(30年)経過したブルーラインのエスカレーターを計画的に更新・リニューアルします。

現在、ブルーラインには稼働年数30年を超えるエスカレーターが81台あります。

これらのエスカレーターは、今後、経年劣化によって機能が低下し、さらに老朽化していく状況にあります。機能維持に要する保守部品の確保も困難になることが予想されるため、各駅各機種に応じた設備機能の改善とバリアフリー対応機能を付加したエスカレーターへのリニューアルを実施し、安全性や快適性・省エネ性を向上させます。

エスカレーターリニューアル計画

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
三ツ沢上町	契約	工事(4台)	工事(4台)	
片倉町		契約	工事(1台)	工事(4台)

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有 (三ツ沢上町4台)
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費	159,720					
債務負担設定	522,940					

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：田中、三宅、佐藤、長谷川、坂田

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】 7年度予算額

21 エレベーターのリニューアル

(1 事業目的・内容)

お客様に、より安全・安心かつ快適な設備をご利用いただくため、改正されている建築基準法の適合化を含め、計画的なエレベーターの更新を行います。

■エレベーターリニューアル計画

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
中川(3基)	工事				
桜木町(1基)	工事				
北新横浜(1基)	設計	工事			
下飯田(1基)		設計	工事		
立場(1基)		設計	工事		
踊場(3基)		設計		工事	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有 (中川EV1基、桜木町1基)
 無

(5 補助対象の有無)

- 有 (JRA事業補助)
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事 業 費	150,532					
債務負担設定	100,356					

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：田中、三宅、佐藤、長谷川、坂田

(単位:千円)

【事業内容】 7年度予算額
22 エレベーターのリニューアル(設計)

(1 事業目的・内容)

お客様に、より安全・安心かつ快適な設備をご利用いただくため、改正されている建築基準法の適合化を含め、計画的なエレベーターの更新を行います。

■エレベーターリニューアル計画

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
中川(3基)	工事				
桜木町(1基)	工事				
北新横浜(1基)	設計	工事			
下飯田(1基)		設計	工事		
立場(1基)		設計	工事		
踊場(3基)		設計		工事	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費	1,595					
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：田中、三宅、佐藤、長谷川、坂田

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
23 動力監視盤改修工事	

(1 事業目的・内容)

地下鉄各駅及び車両基地には、換気空調設備・給排水消火設備・昇降機設備の運転・故障状況の管理監視、また各設備のスケジュール自動運転を行うための、動力監視盤を設置しています。特に平成11年8月に開業した湘南台線各駅等に設置した監視盤では、稼働年数の経過による劣化が進行しており、部品供給も困難となるなど、復旧に遅れが生じ、監視機能を維持できなくなる可能性があります。この状態を放置し、監視盤が起動しなくなった場合、特にエレベーター・エスカレーター監視や空調スケジュール運転ができないなど、駅業務等に多大な支障を及ぼすため、計画的な更新を行います。
また、改修工事に合わせて、新羽車両基地から駅換気送風機等の遠方操作(効率管理)を行うための、遠隔システムを整備します。

実施駅 (予定)	R6	R7 (予定)	R8 (予定)	R9 (予定)
下飯田	●工事			
立場				
中田				
伊勢佐木長者町	●工事			
新羽車両基地	◎工事	●工事		
仲町台				
都筑ふれあいの丘			□設計	●工事
北山田		□設計	●工事	
東山田		□設計	●工事	
高田	□設計	●工事		
日吉本町	□設計	●工事		
日吉			□設計	●工事

◎遠隔システムの整備

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総額
事業費	81,647					
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：田中、三宅、佐藤、長谷川、坂田

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
24 動力監視盤改修工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

地下鉄各駅及び車両基地には、換気空調設備・給排水消火設備・昇降機設備の運転・故障状況の管理監視また各設備のスケジュール自動運転を行うための、動力監視盤を設置しています。特に平成11年8月に開業した湘南台線各駅等に設置した監視盤では、稼働年数の経過による劣化が進行しており、部品供給も困難となるなど、復旧に遅れが生じ、監視機能を維持できなくなる可能性があります。この状態を放置し、監視盤が起動しなくなった場合、特にエレベーター・エスカレーター監視や空調スケジュール運転ができないなど、駅業務等に多大な支障を及ぼすため、計画的な更新を行います。

また、改修工事に合わせて、新羽車両基地から駅換気送風機等の遠方操作(効率管理)を行うための、遠隔システムを整備します。

実施駅 (予定)	R6	R7 (予定)	R8 (予定)	R9 (予定)
下飯田	●工事			
立場				
中田				
伊勢佐木長者町	●工事			
新羽車両基地	◎工事	●工事		
仲町台				
都筑ふれあいの丘			□設計	●工事
北山田		□設計	●工事	
東山田		□設計	●工事	
高田	□設計	●工事		
日吉本町	□設計	●工事		
日吉			□設計	●工事

◎遠隔システムの整備

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費	2,816					
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：田中、三宅、佐藤、長谷川、坂田

(単位：千円)

【事業内容】	7年度予算額
25 排水ポンプほか更新工事	

(1 事業目的・内容)

駅には、給水用、汚水用、中水(トイレ洗浄)用、またトンネル勾配に合わせ設置する排水(湧水)用ポンプがあり、各ポンプは設置から10年～40年以上が経過し、ポンプ本体及び配管・付属装置が老朽化しています。排水ポンプの突発的な故障は、湧水の排出ができなくなり列車の運行に支障を来す恐れがあります。また給水、汚水、中水ポンプの故障により、駅機能(主にトイレの使用不可)が低下するため、各ポンプが必要な機能を発揮できる状態に維持するため、ポンプ及び付属装置の更新工事を行います。

場所	対象機器	令和6年度	令和7年度	令和8年度
湘南台駅	①②	工事		
広町中間	①	工事		
中田駅	①②	工事		
下飯田駅	②④	工事		
新横浜駅	③④⑤	工事	工事	
新横浜第2中間	①⑤	工事	工事	
鶴見川第1・第2	①⑤	工事	工事	
長島中間	①⑤	工事	工事	
吉田町中間	⑤		工事	
	①③	工事		
矢沢中間	①	設計	工事	工事
舞岡駅	②④	設計	工事	工事
踊場駅	②	設計	工事	工事
戸塚駅	②③	設計	工事	工事
港南中央駅	②⑤		設計	設計
関の下中間	①⑤		設計	設計
最戸橋中間	①⑤		設計	設計
弘明寺駅	①②⑤		設計	設計
和泉町中間	①⑤		設計	設計
上永谷車両基地(検車区)	⑥		設計	設計
踊場駅	乗務Wc		設計	設計

①:排水ポンプ、②:汚水ポンプ、③:中水ポンプ、④:攪拌機、⑤:制御盤、⑥給水ポンプ

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費	155,295					
債務負担設定	71,548					

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：田中、三宅、佐藤、長谷川、坂田

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
--------	--------

26 排水ポンプほか更新工事(設計)

(1 事業目的・内容)

駅には、給水用、汚水用、中水(トイレ洗浄)用、またトンネル勾配に合わせ設置する排水(湧水)用ポンプがあり、各ポンプは設置から10年～40年以上が経過し、ポンプ本体及び配管・付属装置が老朽化しています。排水ポンプの突発的な故障は、湧水の排出ができなくなり列車の運行に支障を来す恐れがあります。また給水、汚水、中水ポンプの故障により、駅機能(主にトイレの使用不可)が低下するため、各ポンプが必要な機能を発揮できる状態に維持するため、ポンプ及び付属装置の更新工事を行います。

場所	対象機器	令和6年度	令和7年度	令和8年度
湘南台駅	①②	工事		
広町中間	①	工事		
中田駅	①②	工事		
下飯田駅	②④	工事		
新横浜駅	③④⑤	工事	工事	
新横浜第2中間	①⑤	工事	工事	
鶴見川第1・第2	①⑤	工事	工事	
長島中間	①⑤	工事	工事	
吉田町中間	⑤		工事	
	①③	工事		
矢沢中間	①	設計	工事	工事
舞岡駅	②④	設計	工事	工事
踊場駅	②	設計	工事	工事
戸塚駅	②③	設計	工事	工事
港南中央駅	②⑤		設計	設計
関の下中間	①⑤		設計	設計
最戸橋中間	①⑤		設計	設計
弘明寺駅	①②⑤		設計	設計
和泉町中間	①⑤		設計	設計
上永谷車両基地(検車区)	⑥		設計	設計
踊場駅	乗務Wc		設計	設計

①:排水ポンプ、②:汚水ポンプ、③:中水ポンプ、④:攪拌機、⑤:制御盤、⑥:給水ポンプ

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

 有
 無

 有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総額
事業費	4,840					
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：田中、三宅、佐藤、長谷川、坂田

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
27 排水メーター更新	

(1 事業目的・内容)

駅及び中間ポンプ所の各ポンプ(中水(トイレ洗浄)、排水(湧水)ポンプ)には正確な送水量を計測するため、排水メーター(電磁式積算流量計)が設置されています。(※河川放流をのぞく)排水メーターは計量法により、8年ごとの交換が定められています。法令順守および正確な送水量を計測するため、計画的な交換を行います。

■ 排水メーター更新予定

年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
施工場所	港南区庁舎ほか 3か所 9個	三ツ沢下町駅ほか 4か所 9個	阪東駅ほか 3か所 7個

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費	9,680					
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：田中、三宅、佐藤、長谷川、坂田

(単位：千円)

【事業内容】	7年度予算額
28 防災設備更新工事	

(1 事業目的・内容)

地下鉄駅舎間のトンネル内には、火災の発生時に消火活動を行うため、駅間において500mを超える場合に連結送水管が設置されていますが、トンネル内の漏水や経年劣化により配管の損傷が著しい状況です。よって、防災設備の機能維持のため更新工事を行います。

場所名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
桜木町駅から花咲中間ポンプ場間		工事		
横浜駅から沢渡中間ポンプ場間	設計		工事	工事
笹下変電所から日野ずい道間			設計	設計

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費	105,600					
債務負担設定	63,360					

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：田中、三宅、佐藤、長谷川、坂田

(単位：千円)

【事業内容】	7年度予算額
29 防災設備更新工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

地下鉄駅舎間のトンネル内には、火災の発生時に消火活動を行うため、駅間において500mを超える場合に連結送水管が設置されていますが、トンネル内の漏水や経年劣化により配管の損傷が著しい状況です。よって、防災設備の機能維持のため更新工事を行います。

場所名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
桜木町駅から花咲中間ポンプ場間		工事		
横浜駅から沢渡中間ポンプ場間	設計		工事	工事
笹下変電所から日野ずい道間			設計	設計

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総額
事業費	2,032					
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：田中、三宅、佐藤、長谷川、坂田

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
30 ずい道換気送風機更新工事(中間換気所・駅)	

(1 事業目的・内容)

ずい道換気送風機は、ずい道(トンネル)内に滞留する列車排熱や粉じん等の除去など地下空間の環境を維持するほか、列車火災発生時には排煙設備として、屋外に煙を排出するための設備です。
 本設備は、昭和50年のブルーライン横浜・上永谷延伸以降の駅間の換気設備として、9か所の中間換気所とトンネルに接続される25駅に設備され、現在、羽根車やケーシング等本体の腐食、またモーター及び軸受けの消耗により絶縁が低下傾向にあるなど老朽化が進んでいます。
 良好な地下空間の環境を維持し、確実な排煙機能を確保するため更新工事を行います。

		R5	R6	R7	備考
設 計	対象	横浜駅	岸根中間	三ツ沢上町駅	
	台数・総出力	5台・175kW	4台・148kW	4台・220kW	
工 事	対象	高島町駅(R5-R6)	横浜駅	岸根中間(R7-R8)	※ALL夜間工事
	更新内容	部分更新	部分更新	部分更新 ※	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費	163,512					
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：田中、三宅、佐藤、長谷川、坂田

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
31 ずい道換気送風機更新工事(中間換気所・駅)(設計)	

(1 事業目的・内容)

ずい道換気送風機は、ずい道(トンネル)内に滞留する列車排熱や粉じん等の除去など地下空間の環境を維持するほか、列車火災発生時には排煙設備として、屋外に煙を排出するための設備です。
本設備は、昭和50年のブルーライン横浜・上永谷延伸以降の駅間の換気設備として、9か所の中間換気所とトンネルに接続される25駅に設備され、現在、羽根車やケーシング等本体の腐食、またモーター及び軸受けの消耗により絶縁が低下傾向にあるなど老朽化が進んでいます。
良好な地下空間の環境を維持し、確実な排煙機能を確保するため更新工事の設計を行います。

		R5	R6	R7	備考
設 計	対象	横浜駅	岸根中間	三ツ沢上町駅 ※	※消音装置改修含む
	台数・総出力	5台・175kW	4台・148kW	4台・220kW	
工 事	対象	高島町駅(R5-R6)	横浜駅	岸根中間(R7-R8)	
	更新内容	部分更新	部分更新	部分更新	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費	9,653					
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：田中、三宅、佐藤、長谷川、坂田

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
32 エアフィルター更新工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

地下駅には、良好な駅環境を維持するため、外気取り入れ口にエアフィルター設備を設置しています。エアフィルター設備は、設置から長期間、使用し続け、著しい汚れの付着による目詰まりが頻繁に発生し、捕集した粉じん等を取り除く真空掃除機に負荷が掛かりモーター不良や捕集口の脱落故障につながり、都度修理を重ねている状況です。

現在、低下してきている捕集性能を改善し、良好な駅環境を維持するため、計画的な更新を行います。

		R5	R6	R7	備考
設 計	1号線	湘南台、矢沢中間	—	吉野町	
	3号線	—	—	高島町	
工 事	1号線	—	湘南台、矢沢中間	—	
	3号線	—	—	—	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：田中、三宅、佐藤、長谷川、坂田

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
33 空調機更新工事	

(1 事業目的・内容)

駅などの空調は、事務室・仮眠室・券売機室・電気諸室及びホーム(駅冷房)といった使用用途によってゾーニングしており、各系統ごと施設の規模や特性に見合う空調方式にて冷暖房装置を設置しています。
各駅・関連施設の空調機は、設置から15年以上経過し、冷暖房能力が低下している機器が点在している状況です。また、各空調機に使用されている冷媒ガスは、オゾン層を破壊しないものの、温室効果が高い代替フロンであり、フロン排出規制法など、冷媒に対する規制が強化される中、より環境負荷の低いフロンへの転換が求められています。
空調機の老朽化に伴う装置の停止によるお客様サービスの低下を防ぐため、施設単位での計画的な更新工事を行います。

	年式	R5	R6	R7	R8
新羽車両基地(主配電盤室・電源室)、片倉町		工事(R4-R5)			
新羽車両基地(総司令所)、日吉本町(サーキュレータ)	H14	工事			
新羽車両基地(データ集計室、会議室)	H5	工事			
安全教育センター	H12	工事			
三ツ沢下町駅	H14		工事		
三ツ沢上町駅・岸根公園駅	H15・H15		工事		
舞岡駅・高島町駅	H14・H16	設計	工事		
高田駅・踊場駅(排熱改善)	H19		設計	工事(7-R8)	
吉野町駅・日吉駅・新羽検車庫	H16・H19・H27			設計(7-R8)	工事(R8-R9)
【駅冷房】湘南台駅・横浜駅	H10・H10		設計	工事(7-R8)	
5 新羽駅改良工事	H17・H27	港南中央駅・上永谷保守管理所			
6 職員用施設改修工事	R2	設計	新羽駅・乗務管理所(~R10)		
7 職員用施設改修工事(設計)	R3		設計	上永谷信号扱所	
	H19		設計(R6-R7)	川和町駅・乗務管理所	
電気課【変電所冷房】下飯田・和泉・踊場	H11			設計(R7-R8)	3変電所(~R9)

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費	144,917					
債務負担設定	111,121					

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：田中、三宅、佐藤、長谷川、坂田

(単位：千円)

【事業内容】	7年度予算額
34 空調機更新工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

駅などの空調は、事務室・仮眠室・券売機室・電気諸室及びホーム(駅冷房)といった使用用途によってゾーニングしており、各系統ごと施設の規模や特性に見合う空調方式にて冷暖房装置を設置しています。
各駅・関連施設の空調機は、設置から15年以上経過し、冷暖房能力が低下している機器が点在している状況です。また、各空調機に使用されている冷媒ガスは、オゾン層を破壊しないものの、温室効果が高い代替フロンであり、フロン排出規制法など、冷媒に対する規制が強化される中、より環境負荷の低いフロンへの転換が求められています。
空調機の老朽化に伴う装置の停止によるお客様サービスの低下を防ぐため、施設単位での計画的な更新工事の設計を行います。

	年式	R5	R6	R7	R8
新羽車両基地(主配電盤室・電源室)、片倉町		工事(R4-R5)			
新羽車両基地(総合司令所)、日吉本町(サーキュレータ)	H14	工事			
新羽車両基地(データ集計室、会議室)	H5	工事			
安全教育センター	H12	工事			
三ツ沢下町駅	H14		工事		
三ツ沢上町駅・岸根公園駅	H15・H15		工事		
舞岡駅・高島町駅	H14・H16	設計	工事		
高田駅・踊場駅(排熱改善)	H19		設計	工事(7-R8)	
吉野町駅・日吉駅・新羽検車庫	H16・H19・H27			設計(7-R8)	工事(R8-R9)
【駅冷房】湘南台駅・横浜駅	H10・H10		設計	工事(7-R8)	
5 新羽駅改良工事	H17・H27	港南中央駅・上永谷保守管理所			
6 職員用施設改修工事	R2	設計	新羽駅・乗務管理所(~R10)		
7 職員用施設改修工事(設計)	R3		設計	上永谷信号扱所	
	H19		設計(R6-R7)	川和町駅・乗務管理所	
電気課【変電所冷房】下飯田・和泉・踊場	H11			設計(R7-R8)	3変電所(~R9)

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費	7,656					
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：田中、三宅、佐藤、長谷川、坂田

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
--------	--------

36 気象観測装置更新工事

(1 事業目的・内容)

気象観測装置は、市営地下鉄風水害対策設備のひとつであり、地震・風向風速・雨量及び温湿度の計測をリアルタイムで行っています。異常気象時には、運行を司る総合司令所へ警報を出力し、地下鉄の安全運行を確保する重要な役割を担っています。当該設備は、感震器、発信器、変換器、制御盤といった主要機器を中心に構成され、制御・演算システムは、メーカー独自の技術が蓄積された設備となっています。現在は、メーカーの耐用年数が経過しており、不具合箇所が発生しています。よって、更新工事を行います。

駅名	6年度	7年度	8年度	9年度		備考
川和町駅・総合司令所	工事	工事				本庁含
下飯田駅・上永谷駅		工事	工事			
新羽駅・中川駅			工事	工事		

※ 各駅更新機器：風向風速計、地震計、雨量計、温湿度計、変換器、制御盤

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総額
事業費	5,960					
債務負担設定	8,940					

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：田中、三宅、佐藤、長谷川、坂田

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
37 除害施設更新工事	

(1 事業目的・内容)

新羽車両基地、上永谷車両基地検車区および、修繕工場に設置してある除害施設は鉄道車体及び台車洗浄後の汚水を下水に流せる水質にするため、物理的・化学的に処理をしています。

除害施設は設置から30年以上が経過し、老朽化が進んでいます。修理を行いながら運用してきましたが、交換修理をするための部品の入手性も悪くなっていることから、更新を行います。

R6-R7年度に新羽車両基地、R7-R8年度に上永谷車両基地上永谷検車区、R8-R9年度に上永谷車両基地修繕工場の除害施設をそれぞれ更新します。

	工程				
	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
新羽車両基地	設計	発注・工事			
上永谷車両基地 上永谷検車区	設計		発注・工事		
上永谷車両基地 修繕工場	設計			発注・工事	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有 2015-20-00121
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費	40,832					
債務負担設定	61,248					

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：田中、三宅、佐藤、長谷川、坂田

(単位：千円)

【事業内容】	7年度予算額
38 換気塔消音装置改修工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

駅には1～2か所の換気塔を設け、新鮮な外気を導入し、コンコースやホームの換気を行っています。また、トンネル内の環境を維持するため、駅部より外気を導入し、駅間の中間部に設けた中間換気所から排出しています。

駅換気塔及び中間換気所は、換気送風機からの騒音を抑えるため、必要な大きさを確保し、周辺的环境基準に見合う消音装置を設置していますが、消音装置は各開業当初に設置されたもので老朽化が進み、一部脱落など著しい劣化状態にあり、部分的な補修での性能を維持することが困難なため、計画的に改修工事を行います。

	年式	R7	R8	R9	備考
片倉町駅	S59	設計	工事		
三ツ沢上町駅 ※ずい道換気送風機更新工事	S59	設計	工事		

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：田中、三宅、佐藤、長谷川、坂田

(単位：千円)

【事業内容】	7年度予算額
39 中水配管更新工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

地下鉄駅舎間のトンネル内には、湧水を利用して駅のトイレで再利用するための中水配管が設置されています。しかしながら、トンネル内の漏水や経年劣化により配管の損傷が著しい状況です。現在のところ、列車の運行を支障となるような漏水は発生していませんが、今後の漏水箇所によってはその恐れがあります。また、これまでに十数か所の補修を行ってきましたが、根本的な改善が必要です。
したがって、機能維持のため更新工事を行います。

場所名	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
上大岡駅から大谷中間ポンプ場	設計	設計		
		工事	工事	



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：田中、三宅、佐藤、長谷川、坂田

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
40 給水配管更新工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

上永谷車両基地は、検車庫ほか車両検査業務を行う建物や洗車装置など、広大な敷地内に点在した箇所に水道を配水しております。
各建物内の配管は設備改修時に更新していますが、水道本管からの引込み、基地内各所へ配水している配管は、昭和52年の完成当時のもので、近年水道管に使用されている管材に比べると腐食性に劣る管が敷設されています。
ここ数年で、管の老朽化による部分的な漏水の発生が確認され、今後、さびによる赤水の発生や大規模な破裂のおそれがあるため、耐食性のある配管に引き換える改修を行います。

	年 式	R7	R8	R9	備 考
上永谷車両基地	S51	設 計	工 事		

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：田中、三宅、佐藤、長谷川、坂田

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
41 新横浜駅の駅施設整備	

- (1 事業目的・内容)
新横浜駅第9出入口上部に職員用施設を整備します。



- (2 前年度から変更・見直した点)

- (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- (4 除却資産の有無)

有
 無

- (5 補助対象の有無)

有
 無

- (6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：田中、三宅、佐藤、長谷川、坂田

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
42 横浜駅浴室改修工事	

(1 事業目的・内容)

横浜駅は開業から50年以上経過し、施設の各所が老朽化しています。特に職員用の浴室及び脱衣室は長年の使用と湿気により著しい劣化が生じているため、令和5年度の実施設計を基に、浴室のシャワーユニットへの改修及び脱衣室の改修、これらに伴う設備の改修工事を行います。



横浜駅 浴室(左)及び脱衣室(右)の現況

令和5年度	令和6年度	令和7年度
設計	工事	

(2 前年度から変更・見直した点)

令和6年度前半に予定していた工事契約が不調となり、今後の契約からの工事期間は令和6年度から7年度までかかる状況のため予定年次を変更しています。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
43 建具更新工事	

(1 事業目的・内容)

建具更新工事は、各駅その他施設に設置している扉や窓について、腐食の進行や老朽化により、修理対応では調整が不可能となった箇所の更新を行うものです。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：田中、三宅、佐藤、長谷川、坂田

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	7年度予算額
44 関内駅漏水対策工事	

(1 事業目的・内容)

関内駅では、コンコースやホーム、職員用施設など天井からの漏水が多数発生しており、お客様に多大なご迷惑おかけしている状態です。また、漏水箇所には仮の受樋を設置するなど、応急処置を施していますが、現状のままでは天井内の下地や機械設備、電気設備の不具合・腐食が発生するため、恒久的な処置として天井内での漏水対策が必要です。

令和7年度は、令和5年度に行っている設計委託に基づき、漏水受樋の設置工事および解体天井材の復旧工事を行います。



ホーム階天井からの漏水



出入口改札間 通路天井からの漏水

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	6年度予算	7年度予算	8年度予定	9年度予定	10年度以降	総 額
事業費	87,090					
債務負担設定						

令和7年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建設改良課 担当者名：菊池

(単位:千円)

	7年度 A	6年度 B	増△減(A-B)
予 算 額		80,400	

(単位:千円)

【事業内容】	7年度予算額
--------	--------

1 関内駅前港町地区第一種市街地再開発事業に伴う関内駅第1出入口移設

(1 事業目的・内容)

「関内駅前港町地区第一種市街地再開発事業」が令和6年5月に都市計画決定され、再開発事業により交通広場が整備される予定です。そのため、現在の市営地下鉄関内駅第1出入口及び換気塔の再配置が求められています。再配置に伴う費用は事業者が負担することとなりますが、諸施設の機能増強分に係わる費用については交通局が負担することとなるため、その必要な費用を予算計上するものです。



関内駅前港町地区第一種市街地再開発事業の整備イメージ

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

